満洲日報

十月八日發行

從來の主張を强調し 堂々の陣を張る
意見書の根本方針決定

【東京八日發】リツトン報告書に對する帝國政府の意見書を作成する外務、陸軍、海軍三省聯合委員會第一回會議は七日午後七時より外務次官邸で開會外務省より松岡洋右、谷アジア局長、守島アジア局第一課長、柳井同第三課長、陸軍省より山岡軍務局長、鈴木、原兩中佐本間新聞班長、參謀本部より永田第二部長、松本歐米課長、大木戸支那班長、武藤第四班長、海軍省より寺島軍務局長、豐田海軍軍事部長、島田軍令部第三班長等參集、先づリツトン報告書意見書起草に關する三省の方針案に基き意見書の骨組を如何なる方法で起草するやの根本方針につき審議の結果、三省の持寄案は大體意見一致してたので意見書は左の根本方針に基き作成する事に決定した

リツトン報告書に對する意見書は從來帝國政府が内外に主張してたものを更に强調し最後まで邁進奮鬪する方針で進むが之に對しては飽迄大國の襟度を示し全體的に正々堂々の陣を張つて姑息の態度は執らず世界の何國にせよ若し彼等が我國の立場に置かれたる場合は眞にその軌を一にするものにして從來我國の取りつゝあつた態度は妥當公正なるものにして致し方ないであらうと云ふことを認識せしめる

に決定し午後十時三十分散會、なほ次回會合は各省で材料を蒐集整備する關係上十二日開會する豫定である

全般的部分起草着手

【東京八日發】我意見書作成に關しては外務省亞細亞局守島第一課長が起草主任となり軍事行動以外の部分で外務のみで作成出來る部分については既に起草を始めてゐるが七日の聯合協議會で軍部側の意向が決定したので、直に意見書の全般的部分に亘り亞細亞局員の手で起草を進むる事となつたが、尚今後軍部側と連絡を取り極力起草を急ぐ事となつた

満洲問題よりも 内政統制が急務
蔣介石の時局方針

【漢口七日發】蔣介石は元外交部長王正廷を招きリツトン報告書に關し王の意見を徵したが、來るべき國民政府改造に當り王が外交部長に返り咲きする説が有力となつた、蔣と會談後王は語る

滿洲問題に關する今後の對策に關し孫科はロシアとの連繫を主張してゐるがそれは考へものである、支那の信頼する國は英、米を措いて他に無い、何れにせよ國難來の際國民は先づ第一に内亂を終熄して然る後滿洲問題に取りかゝるべきである、支那は今は滿洲問題をまともに全力を擧げて當り得ぬやうな國内事情に在る事を國民は自覺せねばならぬ、空理空論を廢し支那の生存を最も眞面目に考慮する事が必要である、滿洲を放棄せよとはいはぬが兎に角一切を後廻しにしなければ支那は自滅の外はない

聯盟は饒舌の出店だ
丁士源氏語る

【東京八日發】聯盟總會を前にして滿洲國の力強き存在を列國に認識せしむべく渡歐せんとする滿洲國外交部顧問丁士源氏は目下日本朝野方面の諒解打合せに奔走中だが十四日愈々離京シベリア經由出發する、氏は語る

聯盟は饒舌の出店に過ぎない乙な演劇に考へる必要はない自分は今度の旅行では大國よりは寧ろラトヴイヤ、エストニア、スイスの各政府と會見し滿洲國存立の意義を説明諒解を求め反省を促したいと考へてゐる

十河滿鐵理事 けふ海路東上

日滿經濟統制問題その他につき政府當局と種々打合せの爲八日飛行機にて上京の豫定であつた滿鐵理事十河信二氏は豫定を變更し八日出帆うすりい丸で急いで内地へ向つた、埠頭には山崎理事等滿鐵社員多數の見送りがあつたが、船中簡單に左の如く語る

日滿經濟統制や商事部關係の手で中央當局と種々打合せたい事があるし、外に少しでも早く上京したい事があるので飛行機で行く筈だつたが工合が惡いので船にしたのだ、所用を果したら廿五日迄には歸りたいと思つてゐる

鮑觀澄代表 明治神宮に參拜

【東京八日發】滿洲國駐日使節鮑觀澄氏は八日午前十時隨員を伴ひ明治神宮、靖國神社に參拜滿洲事變に犧牲となつた我軍將士の靈を弔つた後愈々公式の活動を始める筈

増税問題でけふ 三相重要會合
軍部の意見に基いて

【東京八日發】來年度豫算は我國財政上未曾有の大豫算となるべく豫想され公債發行のみでは到底困難なりとして荒木陸相は七日の閣議後三土鐵相と會見增税斷行を力説、鐵相は八日午後目下葉山に靜養中の高橋藏相を訪問する事になつたが、八日岡田海相も海軍豫算に關し齋藤首相に諒解を求めるところあつたので首相も八日午後葉山に赴き首相、藏相、鐵相との間に來年度豫算特に增税問題に關し重要會合が行はれることになつた

軍部の財政計畫

【東京八日發】現時非常時財政々策の根幹を爲すものは實質的インフレーションを約束する公債政策一點張りであることは明瞭な事實であるが

一、赤字公債の三億二千萬圓
一、滿洲事變費の二億五千八百萬圓
一、非常時豫算としての陸軍及び海軍の八年度豫算各五億圓
一、赤字公債利拂ひの三千萬圓
一、昭和七年度の公債發行額八億圓

等の實情より見る時、最早公債政策を以て國家財政の整調を期待すること絶對に不可能の狀態に陷つてゐる事は明瞭であるからとの見解に基き七日の定例閣議後、荒木陸相の非常時財政計畫樹立提唱となつたのであるが、その具體的提唱として陸軍側では左の如き考慮材料を整備してゐる

一、現今の社會情勢に鑑みて有産富豪階級に對する增税
一、決算剩餘金の不當濫費防止
一、日銀引受公債利拂の廢止(能はずんば最高三分迄承認)
一、官營事業の擴大强化に依る國庫增收の實施
一、保險の國營
一、電力國營
一、日滿經濟統制
一、行政費の合理的節約

大體以上の如くであるが、本問題の中心は軍部が自ら信ずる非常時の實相に徵し國家救濟の一念に危き高綱を排して邁進せんとするところにある

増税は控へたい
高橋藏相葉山で語る

【東京八日發】明年度豫算編成に關し不足歲入の補充を赤字公債でするに政府の方針は大體決定したが、一方時局に鑑み軍部その他の方面に增税の主張が傳へられてゐるのに對し從來屢々增税政策の意思なきを表明した高橋藏相は七日午後葉山の別莊で往訪の記者に左の如く語つた

軍部方面で增税の主張が取沙汰されてゐるが、自分は未だ非公式にも相談を受けてゐない、時節柄とて直接税殊に所得税や相續税の税率引上げについては考慮してゐるが所得税半額五萬圓以上の負擔者は極めて限られてゐる、それ以下の中産者は打續く不況のため擔税能力が薄いから增税實施は控へねばならぬ、政府の低金利政策とも矛盾する臨時議會を開いて國民に非常匡救せねばならぬ際過重な負擔をさせる事は意味を爲さぬ、明年度軍事豫算が尨大なる額に達してゐるとは聞いてゐるが、國際情勢が昨今の通りだから國防の充實は必要で豫算編成上充分考慮する、こんな形態では誰が財政の衝に當つても公債によるの外あるまい

マック首相等の復黨排擊

【レスター(イギリス)七日發】勞働黨は本日年次大會を開催し席上マック英首相、スノーデン前國璽尚書、トマス自治領相その他嘗て勞働黨に離反して擧國内閣に投じた舊勞働黨員を總じ此等舊勞働黨員の復黨を絶對に排擊し彼等が勞働黨の爲に行動してゐるとの主張を拒否する旨の決議を可決した

馮玉祥再起か 泰山から愈よ北上

【天津特電七日發】泰山に隱遁中の馮玉祥は再起の望みありと見て愈々北上に決し韓復榘、石友三等の見送りを受けその乘用列車は七日濟南を發したと、而して馮の代表は七日北平軍事分會委員その他と面會してゐるが、馮玉祥が何處に落ちつくか目下のところ不明で察哈爾主席、宋哲元の許に乘込むのではないかと觀られてゐる(寫眞は馮玉祥)

一時隱遁の目的か

【上海八日發】馮玉祥は謠言盛んなる折柄一時世間の注意を避けて身を隱し徐ろに出馬の期を俟つとの消息がある、なほ馮の北上については既に韓復榘、學良間に充分打合せあり韓より手切金を與へてこれを歡送したもので學良も亦平綏鐵路局に命じて萬端の便宜を圖らしめて居る

張家口へ向ふ

【北平八日發】今朝着平せる馮玉祥は當地に下車せず直に平綏線に乘換へて張家口に向つた、なほ王以哲學良代表その他の見送りを受けた

武力を以て失地回復
馮玉祥車中談

【天津特電八日發】馮玉祥は七日午後十時五分于學忠、王一民その他舊部下の出迎へ裡に到着約一時間に亘り各方面と挨拶し十一時十五分專用列車で北平へ向つた、馮は車中で語る

今回の北上は別に政治的意味は無い山東の事變は意外だ、國内不統一の原因は兩實力者の對峙の結果に依るものであるリットン報告書に國民は特に注意しなければならぬが中國を救ふ唯一の途は武力を以て失地を回復するにある

なほ馮は張家口に留まると云つてゐるが、更に察哈爾に赴く模樣である

軍警合同警備會議
けふ奉天ヤマトホテルで開き 武藤軍司令官訓示

在滿機關統一後最初の軍警合同の警備會議は八日午前十時から奉天ヤマトホテルにおいて開催された關東軍より武藤軍司令官、小磯參謀長、岡村參謀副長、憲兵司令部より橋本司令官以下、關東廳より林警務局長、森本警務課長、立川奉天署長、全權部から川越首席、總領事館より森島總領事代理等總て二十名出席の上滿洲の治安維持に關する具體的審議をなすところあつたが、開會に先だつて武藤軍司令官は一同に對し左の訓辭をなした

茲に我全滿警備機關の首腦を召集し本會議を開催するに當り本職の所懷を開示して諸官執務の準據ならしめんとす、諸官は共に等しく異境にあつて困難なる警務の職を掌理し、特に昨秋事變以來日夜奮闘努力多大の犧牲と幾多の苦難とを忍び、よくその任務を達成しつゝあるは寔に感謝に堪へないところである、滿洲の現狀は將來職を警務に奉ずるものゝ奮闘にまつところ益々多く、特に國家の任務たる治安回復の要務において然り、然るに治安回復は言ふに易く行ふに一大難事である、茲において治安警察に對しては三警務機關の渾然一致一體的機構の下に統制し諸活動悉く一定の方針で發現する如く規正するの要極めて大なるものあるを痛感す、思ふに三警務機關の隷屬職域は自ら定まる所ありと雖も現下滿洲における治安はなほ未だ武力の背景に俟らざるべからざるの實狀にあるを以つて警務機關の行動も亦當分の間軍の治安維持の方針を規準としこれに即應せしむべきは論を俟たざるところである、新興滿洲國の警務機關は未だ萌芽の時期にあり、これが健全なる發達に直接間接我警務上の貢獻に影響するところ多きにこれを想到し一定の方針の下にこれが接觸を親密にしこれが指導を無爲ならしむること切なるものあり、以上本職の述べる所は在滿の帝國軍部機構を統一せしめられたる中央政府の方針を事實において貢獻すべき重要事項たるは勿論諸官も亦齊しく本職とその見を同じくするところなるべきを確認す、その詳細に至りては軍參謀長をして會議を主宰し討議せしむ、諸官よろしく本職の意のあるところを體して愼重審議如上の目的達成に遺憾なきやう期せられよ【奉天電話】

滿鐵側の市議立候補懇談

滿鐵社員會が中心となつて八日午後三時から社員俱樂部集會室で大連市議選擧に關する滿鐵側候補者選出についての社員有志懇談會を催すこととなつた

あめりか丸船客

【門司特電八日發】十日大連入港豫定のあめりか丸の主なる船客諸氏

城嘉平、竹島草一、阿部…

聯盟最惡の場合の 我海軍の方策 (1)
海軍大佐 中村重一氏講演

七日協和會館において開催した「講演と映畫の夕」に軍艦艦長中村重一大佐の爲せる「來る國際聯盟總會において最惡の場合(想像する)我海軍の方策」と題する講演要旨は左の如くである(文責在記者)

唯今御紹介下さいました中村海軍大佐であります。私は唯今艦長の稽古を命ぜられまして軍艦に乘艦御當地方面に御滯留して居るものであります、從つて艦長といふものは御承知の通り夜は艦の保安の爲に艦橋に居りますし晝でも相當に忙しい仕事がありまする、上陸を致しますと歡迎會とか色々な御馳走がありますから已むなく之も艦長の稽古だと思ひまして料理屋に參つたりします。

その上に私が御當地のこの御催しについて何か話をするやうにといふ事を艦長からいはれましたのは、私が東京を發つて來ました九月二十八日の日でありますが、その艦橋から艦が出ましたので一般準備等もありませんし若しかういふ御企てがあり又皆さんの御承知の通りのやうな感激について何か申上げるといふことになりますれば、東京で夫々有數の方にでも御會ひして、さうして具體的の事柄を承つて來て御傳へすると非常に良かつたと思ひますが、無線電信で滿洲日報社から「帝國海軍の方策についての質問があつたが、どうやりますか」と海軍大臣に御尋ねする譯にも行きません、已むを得ず甚だ御不滿足とは思ひますが私の個人的私見、之を今晩は申上げて御許しを願ひたいと思ひます、今夕は偶々雨が降りまして非常に出惡い折柄斯く多數御來會下さつて而も私のやうな貧弱な者が御話を汚すといふ事は非常に感激の至りに堪へないと共に誠に恐縮の至りであります

實は斯にもや、航海の退屈な折に何か案を樹てゝ見やうと思ひまして書いて見ましたのでありますが誠に支離滅裂順序も立つて居りません、今日入港後閑を得てもう一遍讀んでさうして訂正をしやうと思ひましたが知人その他の御來訪もありましたし、多少疲れもありましたので充分にこの原稿も整へて居りません、今新聞社の方が速記をして下さつて居るやうでありますが、前申上げましたやうな實狀で誠に紗チキリンなお話になるかも知れませんが豫じめ御承知を願ひます。

實は問題が甚だ難しいのでありまして誠に羊頭狗肉のやうな感がされるだらうと思ひますが、現に國際聯盟の總會ももう二ケ月の先に迫つて居ります。リツトン報告も既に皆さん御承知の通り却々苦手のやうでありますからして相當の紛糾、相當の困難は素より吾々の豫期する處であります。

處が帝國海軍と致しましてはリツトンの報告が何であらうがアメリカがどういふ風にいふて來やうが、斯ういふ場合、即ち最も最惡なる場合戰爭でもやらなければならないといふやうな時の事は平素から考へて居りますので、平時と戰時の別こそあれ、吾々の常に目標として居ります處のものは有事の際、帝國の國防の安固を十全にし我國家の永遠の發展を所期してゐるのであります(拍手)でありますからして、今更最惡の場合の方策如何といふ御質問を受けましても特別に申上げる事は無いやうに考へますが現在は平時であります、而も帝國海軍と致しましては昨次の軍縮會議によつてその兵力が極められて居ります、從つてこの極められました所謂基準兵力以上には軍艦を建造し或は種々の防備施設を規定外の處に行ふといふ事は出來ないのであります。

然らば如何にすれば可いかといふことになりますが、之は戰時に必要とする所定の兵力があります、平時は又所要の兵力があります、平時で平時に是非なければならぬ處の兵力があります、その平時の是非所要兵力といふものを出來るだけ充實して萬一の場合に備へるより外にありませぬ、然らば平時の所要兵力とはどういふものかといふことになりますと、戰時の兵備所要兵力から戰時に急造し急設し得るものを引いた殘りであります。然らばその殘りはどんなものかといふことになりますと、皆さんが百も御承知のロンドン會議において我帝國海軍乃至全權が極力主張を行ひました處の兵力であります。

内地人の對滿洲 認識は未だ不足
貴族院議員倉知氏談

貴族院同和會の倉知鐵吉氏は日露協會主事關根齊一氏と共に八日朝入港ばいかる丸にて來連したが氏は毎年一回位は來滿し貴族院における滿蒙通として知られてゐるが氏は語る

貴院の調査團が來滿するが私は殆んど毎年滿洲に來てゐるし一行と一しよだとどうも自分の見たい處、調べたい事も充分にその自由をもたぬので別に來た、然し滿洲事變後の滿洲は知らぬので

滿洲問題 の喧ましい時に事變後の事を知らぬでは相濟まぬと思つてゐる、私は滿洲の事情をよく知つてゐるだけに今内地で徒らに滿蒙熱に煽られてゐる連中から見ると悲觀論者であるといつても遊覽旅行者の傳へる樂觀説には首肯出來ない、要するに滿洲に對する認識がまだ〳〵内地の人々は不足で例へば移民にしても武裝移民の如く試驗的なものは先づよいとして徒らに内地農村の疲弊の救濟策として直ちに滿蒙移民を奬勵し兼ねる、もつと〳〵研究の餘地があり、充分の特殊な事情の認識を得てからでなければならぬ兎も角決して將來を悲觀する事はないが現在内地人の考へてゐる事は

尚早論て あると思ふ、リツトン卿等報告書に對する日本の態度は朝野一致した强硬論でその力强さを嬉しく思ふが聯盟調査團の報告は餘りに英國々々し過ぎて日本の考へてゐた事とは餘りに掛け離れてゐるだけに問題にならない、滿洲を小さな國と一緒に考へてゐる處に大きな誤謬がある、恐らくわが政界人の何れもが餘りの英國々々しさに呆れてゐるであらう、明年度豫算が二十四億に達し新規事業であつて軍備費と雖も充分折合ひがつくと思ふ、陸海軍の要求は從來練磨されてゐた軍備を短年月の中に完成したいといふのだからその點周圍の事情、

對外的の 情勢に依り概略し得るものもあらうから相當妥協點は見出し得ると考へられる

なほ同氏等は大連ヤマトホテルに二泊の後今月一杯各地を視察の筈【寫眞は倉知氏】

竹田篤吉、齋藤國松、吉村英吉、阪神電急重役同喜太郎、佐野紫…

人事

▲豐田久二氏(千葉醫大教授)八日午前七時入港ばいかる丸にて着連
▲西川重吉氏(西川甚五郎商店々長)同上
▲堤光芳氏(國政研究會主事)同上
▲倉知鐵吉氏(貴族院議員)同上
▲小野諒兄氏(札幌帝大教授)同上
▲關根齊一氏(日露協會主事)同上
▲國貿至氏(兵庫縣參事會員)同上
▲大久保直次郎氏(同上)同上
▲藤木守雄氏(同上)同上
▲加藤德雄氏(日清製粉重役)同上
▲遠藤濟雄氏(帝國在鄉軍人會本部員砲兵大佐)外武裝移民團一行四百十六名同上
▲埼玉縣教育視察團一行二十名は八日午前十時うすりい丸にて歸
▲大阪淀川區小學校長視察團一行五名 同上
▲十河信二氏(滿鐵理事)八日午前十時出帆うすりい丸にて内地へ
▲安宅武氏(特産協會々員)同上

歸國
▲後藤一郎氏(同上)同上
▲濱尾保氏(日本海員組合大連支部長)同上
▲根橋禎二氏(滿鐵技術局次長)病氣のため八日自宅引籠中

蛇足

◇所澤飛行學校の新京往復滿洲國訪問飛行、九機翼を並べて八日朝出發、十日新京到着の壯觀想ふ可し。

◇馮玉祥、張家口に引込むとか、張宗昌の二の舞をやつてはたまらぬと考へた。

◇その馮玉祥、中國を救ふ途は唯武力を以てする失地回復あるのみといふ、失地回復出來れば、支那滅亡との結論になる。

◇ロンドン四國會議に、ドイツは無條件參加を回答した、いつまでだゞをこねてもよくあるまいと考へた。

◇赤字の補塡、公債か、增税か、高橋藏相と軍部と、此處一寸睨み合。

滿蒙の戰慄 (121)
直木三十五作 淺枝次朗畫

鬪爭(四ノ九)

酒場の中も、外の街も、もう何事も無いやうに、賑やかであり、靜かであつた。麗は、コック部屋の横から、外へ出ると

(もしか、春木が)

と、思つて、左右を眺めた。だが、誰も立つては居なかつた。

(大丈夫)

と、そう思つた時、西城が

「麗ちやん」

「え、、本當に──」

「生きるか、死ぬか──殺すか、殺されるかつて、さつき云つたゞらう」

「え、」

「わかるかい?」

麗は、頷く、默つて歩いてゐたが

「わかるやうな──貴下が、そう

決心なさいましたの?」

「ちがふ」

麗は、春木に對して、鬪爭を挑むときに、西城が、そう云つたのを、悲壯に感じたが、ちがふと云はれると

(妾のことかしら?)

と、思つたが、自分の、それが決心だとすれば、何ういふとか?

「ぢや──」

西城に、愚鈍な女に思はれたくないと、思ひながら、そう云つて暫くしてから

「死をもつて、貞操を守れ、と、いふことでせうか?」

と、訊いた。

「そうだ。そういふことだ」

麗は、西城のその言葉に、すぐ

「え、、守りますわ、きつと、守りますわ」

と、強く、早く、云つた。

「死をもつて守る──そういふ消極的なことぢやないんだ。こつちから攻撃するんだ。あんな下等でも、女が、必死になつて、例へば、ピン一つでも、いゝ、それをもつて戰ふとき、男は必ず敗北するよ。君は、春木を恐れるからいけないんだ。怖れていて、男の暴力の前には、女も弱いかも知れぬ。しかし、その外觀の前には、女が弱くて、暴行されるよりも勝利だよ。女を傷けるやうな奴は、麗ちやん。先天的犯罪人か、全然無智な兇漢の外にはないよ。山猫とか、人の居ない闇の野原とか、そんな所は、女が通るのが惡いのだ。それ以外の所で、女が、男と格鬪して、女が負けるつてことはないんだ。女が、死をもつて、男と爭はないからだよ。女が、決死で爭ふ時、男は、必ず、みじめに敗北するよ今、君が、あの時、必死の抵抗をしたなら、春木だつて、何うにもできやしないよ。一つ二つ殴るか蹴るか、それ以上のことは、できないよ。僕は、愛する君の爲に、男にさへ、春木は、この程度にしか、やれないつてことを、見せてみたんだ──僕は、君が好きだから、假令、僕がもつと、大きくやられても、それが、君の爲になり、それで君が助かりや、それでいゝと思つたんだ」

麗子は、立ちどまつた。そして

「西城さん」

と、云つて、顔を見上げた。

「妾──今、あなた──愛するつて、仰しやいましたわ」

「何んだい」

「妾──」

「あゝ」

「本當でございませうか」

「本當だ。愛しない女の爲めに、傷をうけるやうな──」

麗は、唇を噛んで、泣きぢやくりしながら

「妾──」

と、いふと、西城の胸へ、手をあてゝ、うつむいた。西城は、しづかに、その手を上から押へた。

「妾、何んなことでも──何んでも、きゝますわ」

麗は、低く、だが強く云つた。

國家茲に確認せられ 王道の精神發揚

滿洲國承認慶祝當日發せられた溥儀執政教書及び鄭國務總理訓示左の如し

執政教書

我が新國家創建せられて茲に數月、日本帝國は卒先是が承認をなし我が國民の意志たる獨立國家自由成立を確認せるは世界國家團體間に於ける一新紀元を開きたるものにして是我が國人の正に慶幸とすべき所なり、我が滿洲は山川形勝にして物產豐饒、屹然として亞洲の東北大部に據る、今我三千萬民衆の體質智力を以て奮發經營するに於ては洵に以て樂土を建設するに足る、惟ふに是創始の際經緯萬端而して憂患の紛糺、禍牙の環伏正に困心衡慮し邁進の精神に本づき以て我王道の趣旨を發揮すべし、庶くは日本帝國親善の期望に負かざらん事を、願はくば我國人は共に是を勉めよ

大同元年十月八日

執政

總理訓示

古來士冠の禮あり、男子歲二十に達せば賓客を招じて加冠の儀を行ふ、其禮甚だ重なり、未冠是を童子と言ひ既冠是を成人と言ふ、而して祝辭に曰く、爾幼志を捨て爾の徳に順へと即ち道德を養成し賓客に應接し家事を治め今日成人を以て遇せらるゝが故なり、國家も亦建國の當初は丁年に達せる男子の如く紀綱やゝ定まり規模粗立し是より列國の間に伍し交際をなす事を得若し其れ人事行政百般の政務者々共の成果を收むるに於ては友邦より一層愛され世界にその名を顯はし得べく將來にその功績を垂るゝ事を得べし、滿洲國は建國以來半年に過ぎず一切未だ完備せざるもの多し、大日本帝國は各國に先んじ我國を承認し全權を派遣し京に來りて約を定む是實に日本の義擧なり、世界各國は未だ是に對し信つくさずと雖も久しからずして必ず是を信ずるの時來るべきを確信す、然れども他國の信ずると信ぜざるとはその虛名にあるにあらずしてその事實にあり、日本が滿洲國に對し義俠を示し將來共必ず利を爭ふが如き事なきは吾人の深く信ずる所なり、若しそれ我滿洲國國家が王道を實行し種族の別なく國際の爭ひなく人民を保護し事業を發展せしめ門戶開放と機會均等なる先の宣言を悉く實現せんには今後多端なる國家の前途を治むるには一に國內より人物の出でゝ是が提倡にあたられん事を希ふ斯くして全國民舉國一致奮勵努力し從來の惡習を掃除し悉く新國家の人物となるを得れば滿洲國の名聲を全世界に發揚する事を得べく是吾人の深く期待する所のものなり、現在滿洲國家は即ち已冠の男子にして發刺たる精神と強健なる肉體を具備する前途汪洋たる青年なり、願はくば國民たるもの人後に落つる事なく努力せよ、今日慶祝の盛儀に當り深く是を肝に銘し忘るゝ事なく是をそれ勉めよ

大同元年十月八日

國務總理　鄭孝胥

けふ重陽節に 全滿洲を掩ふ瑞雲

承認慶祝大會の盛況

生れ出づべき瑞祥の下に輝かしくも建滿國を告げた滿洲國その承認のトップを切つた日本の承認を滿洲國三千萬民衆に意識せしめ、同時にこれを歷史的永久の記念として祝賀する「承認慶祝大會」は、けふの重陽節を下して全滿一斉に行はれた、この日全滿各地いづれも朝來ごんよりとして新京、奉天その他多くは小雨をさへ催したが、多年暴虐なる東北舊軍閥の搾取誅求の苛政より今や完全に解放され王道に基く理想樂土建設と前途に洋々たる希望を約束されて獨立せる滿洲國に對する日本の承認はやがて世界各國の承認を誘導するものとしてさすがに包みきれぬ喜びは滿洲國の天地を揺り撼ふた

歡喜みなぎる 首都新京

慶祝の歌も高らかに

前夜來の雨は朝になつても止まずしとしとと降り續いて居る、然し今日は嬉しい承認慶祝大會日、會場民政部前の廣場は朝早くから準備員と整理委員のいそがしさうな姿が見え器具を運ぶ馬車と自動車が會場の前を往來した、正門は綺麗な花アーチを以て飾られ

☆滿洲國の大國旗が折からの朝風に舞つてゐる、承認慶祝大會々場と記された條を近所の子供達がポカンとしてながめてゐるのものどかな一風景、爆竹が盛んに天空をふるはす暴虐なる軍閥の下にある事廿年、滿洲國成立以來半ケ年、この間の忍苦と苦痛を今日の一日に過去の思ひ出として語り新興滿洲國の熱と意氣とを完成す慶祝會、定刻三十分前には會場は既に全く立錐の餘地もない、スマートな自動車で大官連が詰めかける、委員の聲と觀衆のわめきとがしつきりなしに起り

☆爆竹の物すごい二聲の音が其の間をぬふて起る、午前九時開會を前に鳴りしづめた會場の中からはおごそかな樂が奏られ大滿洲國旗は音もなくスルスルと中天に掲揚された、國旗掲揚に鈴ふる群衆の目は歡喜の涙に濕つた、盲從の日から自由の世界へ、平和への邁進、志を遂げ得た者のみが知るあの喜び、それは單なる喜びではない、熱い血が一時に胸にのみ集まつたかと思はれる張りさけるばかりの熱が國旗に集ひ寄つた群衆を沈默の世界におし込めてしまつたのだ、嚴肅な空氣が國旗に對してなされる、金新京特別市長の

☆開會の辭にプログラム通り進行滿洲國の萬歲を三唱して閉會、直に大旗行列にうつりた滿洲國官吏、各公共團體、長春縣四鄕代表、各公私立學校生徒、軍人、一般市民等參集者約二萬人、美々しく着飾つた馬上の軍政部員の指揮の下に整列、先頭には滿洲國軍樂隊が立ち列び日本側よりも各學校生徒、一般市民等參集、賑やかな樂隊の下に手に手に國旗をふりかざし慶祝の歌を高らかに唱ひながら行列は會場より大經路を通つて西公園へ、中央通り、長春驛前、日本橋通りと長蛇の如き行列は國務院執政府と豫定通り進行再び民政部前廣場に歸り萬歲を三唱して散會した、この日た

☆祝福する 爲め午後二時よりは西公園陸上運動場に於て金市長主催の慶祝宴が張られ滿洲各部總長大官要人等出席餘興として手踊り奇術等に打ち興じた、參車總計六臺は一日中町の中をねり歩き馬車や人力車には慶祝の二字のかゝれたポスターが貼付され馬車の背中には滿洲國旗がかざられてゐる、家々には國旗が出され今日一日を完全に休み承認を慶祝する

☆新京の 町は初冬の陰鬱さも吹き拂はれた、午後六時よりは新京大戲院、慈善茶園等において演劇が催され高腳會、早船會等を始め午後七時よりは提燈會、活動寫眞等の催し物あり又その光景をラヂオで放送した

三千萬民衆の熱望達成す

奉天官民のよろこび

奉天は豫定通り午前九時半より十王亭式場に於て日滿官民參集裡に盛大に擧行された、式に先だち會場附近には「一步一步平和境の建設へ」「東亞の建設に新紀元を劃す」など、の宣傳ビラを撒き又紅白の龍の舞などあり朝來の雨にも拘らずいやが上にも祝典氣分を唆つてゐた、かくて定刻奏樂裡に開會ある滿洲國國旗は空高く揭げられ一同敬禮の後臧奉天省長代理として趙民政廳長執政の敎書を奉讀し章敎育廳長の總理の訓示あり終つて日本側より武藤全權、森島總領事代理、滿鐵、居留民會、各代表の祝辭、協和會々員の演說あり後左の如き決議を行ひ英、米、佛、伊、獨、蘇、國外十八國國元に打電した

決議

今次日本の滿洲國承認により我が民衆多年の熱望は達せられ平和安土確立への道は拓かれたり本日本會に參集せる市民は仁愛深き統治者により王道精神に基づける國民精神を以て誓つて將來の發展を期す、本會は貴國官民諸氏が我れらの高遠なる大義に對し切に御援助を祈る

奉天滿洲國承認慶祝

大會委員會

宛日本の齋藤首相、內田外相、永井拓相、荒木陸相等に對し左の祝電を發した

滿洲國は貴國の偉大なる御援力に依り滿洲國下の承認を得るの榮に浴するを得なり、三千萬民衆の喜び何物かこれに若かず、吾人は將來誓つて盟邦の期待に反かざらん事を期す、本日承認の祝典式を擧ぐるに當つて遙かに感謝の意を表す、今後尙多端なり愈々御援助を祈る

斯くて式は午前十時半終了直に祝宴に移つた【奉天電話】

生れる子の爲め 「憎い男を許す」

人情味ある法廷哀話

「子供のために許してやります」と母性愛から暴行を加へた憎むべき相手の罪を許し、强姦の告訴を取下げた人情哀話がある――八日午前十時ごろ大連地方法院第四號室でうら若き女性がはにかみながら高井檢察官の取調べを受けてゐた、この女性は叔父に當る市內濱町某藥店に身を寄せてゐる伊藤敏子（二）といひ過ぐる昭和四年八月十日午後一時ごろ市內山縣通長戶今朝夫（三）＝何れも假名＝方に遊びに行つてゐた際妻子ある長戶のため遂に暴力をもつて處女の尊さを奪はれて終つた、それからは男の脅迫と世間へ知れる恐ろしさの餘り長戶との關係を續けてゐたが、運命の神の惡戯か彼女は不義の種を宿した、そのころ事業に失敗、生活にも窮してゐた長戶は敏子の姙娠を知つて驚き、彼女を棄て鼷の如く寒て新鮮へ夜逃げした、男の無情を恨んだ敏子は市內西公園町に住む父に相談し色魔長戶を相手取り强姦の告訴を地方檢察局に提出、目下取調中であつたが八日彼女は高井檢察官の取調に對し生長してゆく子供の將來を思へば例へ憎むべき男でも子供に取つてはたつた一人の父親です、それを獄に投ずるのは子供のために忍びないことです【以下略】と述べ、母性愛から遂に意を決し男の過去の罪を一切許してやつたのであつた敏子の父も「縁さへそんな氣なら異存はありません」と老の眼に淚さへたゝへて檢察廷を立ち去つた

吉岡西田の兩選手

全米大會へ

【東京八日發】今夏ロサンゼルスで活躍しスポーツ日本の偉力を世界に轟かした短距離の吉岡、棒高跳の西田兩選手が來年二月ニューヨークに開かれる全米陸上選手權大會に招聘したいとの嬉しい手紙が來た

執政夫人の誕生祝賀

十月七日は執政夫人の滿洲國成立以來第一回の誕生日に當るが時節柄盛大なる儀式は取止め執政府內において執政を始めおそば附文武官のみでさゝやかに祝典を擧行した【新京電話】

傳家の名刀を腰に 揃ひの軍服、軍帽で

憧れの夢は新しい開拓地へ 武裝移民の一行來る

開拓者の先鋒として最も統制ある組織のもとに固められた長野、新潟、群馬を境に北へ十一縣、選拔された拓務省所屬の第一武裝移民團が雄々しく八日入港ばいかる丸で目差す滿洲に第一歩を印した、總指揮者步兵中佐市川益平氏、農業指導の國民高等學校長加藤完治氏、外軍幹部五名、更に東北十一縣より人選に當つた豫備步兵大佐遠藤三郎氏が後見役としてついてゐる、武裝移民は文字通りカーキ色の軍服に軍帽、揃ひのリウクサックに傳家の名刀を仕込んだ物々しい姿だ、すべて指揮號令はラッパによつて示され、航海中も新らしい開拓地佳木斯へ若人の憧れの夢が飛ぶ……一行は着岸と共に大連在鄕軍人團の出迎へを受けこの行を壯にされ、關東廳派遣の活動寫眞班のカメラが一行の一擧一動をクランクする、かくてこの選ばれた光榮ある武裝移民團は待合所內に小憩の後準備整へしの列車に搭乘、午前九時五十分大連驛を發ち勇ましく鹿島立ちの途に上つた、奉天に二泊、ハルピンに二泊、かくてあの松花江の流れを船便によつて佳木斯に向ふのである

大きな理想へ向ひ驀進するのだ

滿洲に力強い第一步を印して 市川總指揮官語る

總指揮官市川益平中佐は毅然たる態度で滿洲へ最初の第一步を下すにあたり左の如く語る

どんなになつても構はない、大きな理想へ驀進するのだ、選ばれたものは東北十一縣、身體強健、思想堅固、成績優秀、農業經驗者、そして三十歲迄の獨身（幹部は三十五歲迄）と云ふ意味から在鄕軍人中から一縣四十名宛を選んだ、東京出發以來、明治神宮、伊勢大廟、湊川神社を參拜し只今當地に第一步を印したのだが幸ひ好天に恵まれ一行の團結は愈々堅固である、奉天で北大營にある國民高等學校の指導移民百名と合して堂々五百が目的地に向ふのだ、そして凝氷期を前に佳木斯の耕地二萬町步の開墾に着手する

元氣一杯の賴母しい養子

……と遠藤大佐の談

武裝移民團の人選に當つた在鄕軍人本部附の遠藤三郎大佐は語る

僕は滿洲は古いよ、大正元年から二十年、滿州、蒙古と轉々南北滿洲を步き廻つたものだ今度は拓務省が本腰で移民をやるについて人を選んでくれと賴まれたので自分の方から御世話した一行四百十六名、元氣一杯のもので換言すれば養子を送り込みに來た養父と云ふ形さ、豫備教育としては鶉殿來山形縣大高根自治講習所、岩手縣六原青年修養道場、茨城縣支部國民高等學校で農業指導については各專門家について實地に指導され訓練を經たもの許りだ、從つて一行中には加藤國民高等學校長や農業技師一名技手二名がついて來てゐる、これから北上して奉天北大營に先發の同志と共に佳木斯に向ふが自分は養子を送つたらしばらくして歸る、とにかく今後は日滿共存共榮のモットーのもとに一生懸命やる氣で居る

結氷期前に鍬を下す

考へても愉快

武裝移民團の農業指導の責任を負はされた加藤國民高等學校長は語る

大きな試練です、大丈夫やり遂げる自信があります、自分達の同志が奉天で既に早くからやつて來て仕事にたづさわつてゐるが同行して佳木斯に行きます、自分としてすつとあちらに居りたいがいづれにしても行つて見た上の事だ、結氷期を前に控へて北滿に鍬を下す、考へて見るも愉快だ、選ばれた一行は既に大體の基礎教育を經へたもの許りである【寫眞は武裝移民團】

滿鐵が無電の大規模な設備

八日許可となる

滿鐵ではかねて學術研究および機械實驗用として私設無線電信施設の許可を關東廳に申請中であつたが八日附で以て正式認可の旨關東廳報において發表された、今回滿鐵が認可の指令を受けた無電機は沙河口鐵道工場および中央試驗所沙河口研究所內に設置され、目的は研究實驗用であるがそのうち沙河口工場に設けられるものは五百ワットの滿鐵が持つ最强力のものので特別有事の際には滿洲各地との通信も可能とされる大規模なものである、而して兩無電機は既に內地に注文すみで何れも本年中には設備を終る豫定であるが、滿鐵々道部ではこれ等の設備の完備と共に一方沿線および滿洲各地派遣員駐在箇所にも無電の完備を急ぎつゝあり、しかも現在派遣員が駐在する主要箇所には本月初め海倫に送附した無電を最後として殆ど全部の配布を見たのでこゝに滿洲の空を通じて通信網も大體の完成を見ることゝなり派遣員はもとより業務連絡の上に非常な便利を與へることゝなつた、なほ滿鐵としては今後の事業の擴張その他に伴つて無電の設備改善、增設につとめることゝなつてゐるが、かくして今回大連の二箇所に試驗研究用に設けられる無電は今後大きな役割を演ずることゝなつた

先驅列車に無電裝置

運行の安全を圖るため

滿鐵々道部電氣課では列車運行の安全を圖るうへから先驅列車に無電裝置を施すことゝなり、かねてこれが注文を內地に發してゐたが本月中には注文品も到着の豫定である、而して滿鐵としては最初先驅列車全部に無電裝置を施す豫定であつたが、その後奧地派遣員の駐在箇所その他にも緊急に無電裝置を施すべき箇所が增加したゝめ今回の注文を以て先驅列車全部に無電機を取付けることは困難な事情にあるため取敢ず最も重要と見られるもののみに取付ける筈で、何れ次回の注文によつて漸次充實をはかる筈

第六回全滿小銃射擊大會

九日午前八時春日池市民射擊會射場で

駿臺俱樂部對稻門俱樂部 定期野珠戰

九日午後二時滿俱球場で

國難日本刀（118）

高桑義生作　京極佳夕畫

不幸・幸福（四）

一寸づゝ延びて行く小松のはかない命である。

その翌日、接待第一流の藝人、田中平八の使が、五十鈴樓に來た。平八は、みづから天下の糸平と稱した男、新しくひらかれた外國貿易で、生糸成金の筆頭にかぞへられた一代の豪商だ。

で、使の口上は——豪奢な西國の大商人が、一日ゆつくり遊びたいから、よろしく願む、是非小松をさ——名ざしだつた。

大切な客筋からの紹介だから、五十鈴樓では勿論承知の旨をこたへた。

さ、まもなく、その客——西國の大商人は、供もつれずにたゞ一人で來た。

新造はまだ睡りたりない眞蒼だつた。

五十鈴では、鄭重に扱つた。

——が、雇人のかげ口は、

「をかしな客ぢやないか。あれで商人……」

佳夕畫　西國の大商人

「お侍みたいだれ。物言ひだつて、態度のこなしだつて、あたし達の眼から見りやあ、ひと目でわかるんだから……」

「さうだよ、あのお客は西國のお侍さ」

「そしていふ事が……金はいくらでも費ふけれど、くだらないほかの女どもは御免だつて、小松さん一人を相手に、ゆつくり飲みたいつて……嬉しいもんだれ」

「でも、金ばなれは綺麗だれ。あんたも貰つたらう、一兩小判……」

「そりやお貰つたけれど、西の方のお侍は、妙によけいな警戒をつけるから」

「いゝぢやないの、お金にさへなりや……」

武士が町人にばけて登樓するのは、有がちの事だつた。

さて、この注意人物——西國の大商人は、新造を相手に靜かに飲んで、小松の來るのを待つてゐた。

かれは三十前後の壯年で、日焼けのした顔は、りゝしい眼鼻だちだつた。そして服装格好は町人でも、豪壯な、爭へない侍らしさを見せてゐた。

外は、ひつそりと暮れた秋、港の鐘の音がカンカンと冴えてゐた。

衣ずれの音がして——

「それ、お待ちかねのお成りです」

と新造はいつた。

「ウム……」

ぱッと、小松のはでな衣裳が、結びあげたばかりのつやゝかな髷が、そして花のやうな顔が……しづかに、

「[illegible]なはりまして……」

と、つゝましく挨拶した。

西國の大商人は、瞬きもせず、小松の姿を見つめてゐた。

小松は顔もあげられなかつた。

「や、御苦勞、御苦勞……」

やゝしばらくたつてから、西國の大商人は、氣輕にいつた。

「まあ、おほゝゝ……」

新造はをかしさうに、口を蔽うた。

「なるほど美人ぢや。聞きしにまさる……東國一の名も嘘ではない。なかなか見られぬといふ話だが、わしはたゞの一度で逢へた。まことに光榮のいたりぢや」

「旦那さまの、お上手なこと」

と新造が調子をあはせた。

「いや、その通り、糸平の名もばかにはならぬわい。あツはゝゝ……」

ほがらな笑ひ、屈託も、遠慮も吹き飛ばしてしまふ笑ひだつた。小松も、釣込まれてほゝ笑んだ。

「さあ、酌をしてくれ。大に飲まう」

で、新造がお銚子を取ると、

「お前ではない」

「まあ、取つてお上げしようと思ひましたに……」

新造がそのお銚子を小松に渡すと、小松はすゝみ出て、酌をする。

「殿方は現金ですこと、取りわけ旦那さまは……美しい人が來るとすぐわたしを袖にするのですから」

「はゝ……怒るな。怒るさ、あたらお多福が臉からでもなめたやうになる」

「あらッ」

宮川左近　今夜初日

待望久しかりし浪界随一の美音家宮川左近一行は八日入港の香港丸で華々しく來連した、埠頭には各關係筋の出迎へあり自動車を連ねて大連劇場へ乘り込み今夕より向ふ五日間初御目見得するが入場料は特等一圓八十錢、一等一圓五十錢、二等一圓で市内蓄音器店に前賣引券がある

新四谷怪談
松竹蒲田現代劇　中央映書館上映

これは新興による四谷怪談の時代劇映畫でない、瀬戸英一原作の現代劇でストオリは柳橋の名妓峰吉（八雲惠美子）が二枚目役者仙十郎（岡讓二）の演劇さにほだされて旅興行に出た仙十郎の許に走るが、病氣になると共に男に新しい女お富（筑波雪子）が出來て遂に自殺するまでを旅興行が上演する四谷怪談を使つて例の戸板流しの死體を巧に活かして峰吉がお化けのやうな顔になるところを物凄く描き、役者と藝者を中心とした物語で所謂花柳映畫の一種である

監督の野村芳亭は流石に手に入つたもので前半の華やかさから後半の凄慘な怪談への芝居を運んで得意の腕を揮つてゐるし、前半の良さなどは蒲田物として初めて見られる味である

俳優では仙十郎の岡讓二がよく役どころをこなしてゐる、斷然光つてゐるのは峰吉の八雲惠美子が前半の板についた名妓ぶりでお富の筑波雪子も適役で監督と俳優の意氣が合つてメロドラマ新四谷怪談を鮮やかにそして凄慘につくりあげてゐる、長井信一のカメラもいゝ、和樂を主とした伴奏も注目されやう【寫眞は岡と八雲】

岡田時彦は十一日入港の船に來れそうになく結局十四日に來連し▲同日から映樂館で「モダン聖書」を封切上映して出演することに日取りが決るらしい▲こちらにしても中旬の映畫街は果然近來にない混戰で帝國館の「嵐は青空」と中央映書館の「憎人」▲この日活、松竹陣へ時彦が飛び込んでその後へは新興の超特作品「滿蒙建國の黎明」▲うづらが食膳に上るやうに漸くシーズンらしい匂ひが漲つて來た▲ゆふべ中央映書館の「憎人」の試寫で支那稅關人に小林十九二が要西々とやるので集つた連中▲わが意を得たりと許り大喜び、これもトーキーの功徳か▲協和會館の映出も絶對的なものとして信用してはならないことがトーキーによつて現はれて來た▲再生效果が悪い場合プリントに罪を負はして涼しい顔をされてはファンこそいゝ面の皮だ。

女性の權利擴張

◆…司法省では現行の辯護士法は辯護士の地位向上その他の理由に立脚して、是非とも改正を加へる必要があるといふ見解の下に、改正辯護士法をこの次の通常議會に提案しやうといふ方針に省議が決定し、目下改正案の作成を急いでゐます

◆…この改正案には婦人も辯護士として法廷に立つことが出來るやうになつてゐます、つまりこの改正案の議院通過は現代婦人の新登龍門を開くこととなるのですがこれは單に新らしき職業が婦人のために作られたといふ意味ばかりではなく、全婦人の權利擁護のために眞に喜ばしいことであります

◆…從來婦人の被告事件に關しても、他の事件と同樣男の辯護士によつて辯護が行はれてゐました、それが今度からは女性の心理をよく辨へた同性の辯護士によつて辯論されることになれば女性被告にとつて非常に有利有効な辯論が行はれることとなり、同時に民事の場合などは優しい女辯護士の居中調停によつて圓滿に解決がつく場合が多いことゝ思はれます

◆…更にゆくゆくはかうした女子職業の第一線より女權尊重が叫ばれ、女性の權利が法律的に解放されるものと思はれます、婦人辯護士の出現はこれらの點より大いに祝福すべきものと考へられます

冬の婦人コート
柄や色合ひは全體的に派手　曲線美を發揮させる

冬の婦人コートといへば從來は純然たる防寒用として着られたために殆ど無地物のなるべくボツテリしたものが歡迎されてゐましたが近年一般婦人の服飾に關する鑑賞眼が高くなるに從つて冬のコートも防寒用としての外に服飾品の一つとして見られるやうになり昨年あたりから目立つて柄や生地の上に或は型の上に留意されるやうになつて來ました

先づ柄、色合の方面から見ますと全體に派手なものが出て來た事です、といつても決してケバケバしたものでなく明朗な色合に柄は井桁目の縞柄などを基調としてこれに斜の縞柄を交錯させたものも相當見えます、色調は冬のものですから勿論暖色が大部分で紺、茶の系統が多く同じ濃茶の柄でも濃茶一點張でなくて赤黑、焦茶、橙それにグリーンといつたものを織り交ぜて濃茶の調子を出すといふやうな調子です、ですから全體的には明朗な派手な色調であつても近くで見るほど渋くて深みがあり着て着飽きのしないものが歡迎されてゐるのです

地質は厚く堅い物より薄く軟かなものでよしんば厚手のものであつても必ず軟かなやうに組織の上で苦心されてあるやうです、つまりコートが婦人服飾美の一要素をなすやうになつて來て必然的に色調や柄が華美になると共に着た時の容姿の如何が問題になり地を薄くやはらかにして成るべく曲線美を現して從來のコートの不恰好なずんどう型から…せて和服のみが持つ裾さばきの美をも遺憾なく發揮しやうさいふわけです、しかし薄いといつても嚴冬の時季に着るものですから滿洲では矢張り純毛でせう、最近綿だけで織つたのや綿毛交織のコート地も隨分立派なのがありますが綿が交つてゐますとどうしてもよごれ易くもちもわるく見た感じもシヤリシヤリして到底滿洲の冬のものではありません

今年の流行地は軟かさと見た感じの上品な點などからスコツチがそれに類した生地が全盛を來すでせう、型は肩の線をやはらかく見せる爲に洋服の型をとり入れたラグラン型が壓倒的な勢力を來しました、コートの中で最も凝り甲斐のあるのは何といつても襟の形で日本髪にふさはしい道行襟、千代田襟、都ぶり襟等の他今年は思ひ切つて新しいへちま襟など洋服の型をそつくりそのもの或は襟の部分にラビツトか何かの毛皮をつけて寒い時には立て、首筋で留めるやうな型のものも若いハイカラな方に歡迎されませう

しかしどんな柄も色合も型もすべての婦人に似合ふといふものはありませんから新調なさる場合には個人個人の身長、肉附、肌色等それぞれその人に應じて選ばねばなりません、一般に色の白い背のすらりとした方ならば青系統のものも引立ちますが肥つた方には赤か橙系の地色が無難です、單にいゝ柄とかいゝ色合とか品物ばかりに惚れ込まずその生地で作つたコートが果して自分によく似合ふかどうかを充分お考へになつて新調される事が何より大切です

最後に今年の大體の相場を申しますと絞パレス總裏附仕立上りがスコツチキードで二十五圓から五十圓、ベロアコーディング地が二十圓から四十五圓、ウールオールセツク地が二十圓から四十圓、ラクダ地、シール地、シホン地は共に五十圓から八十圓見當です(勝又洋服店調べ)

—寫眞は今年の新しいコート—

家庭顧問
四つの男兒ですが夜眠つてゐて鼻血を出す

【問】今年四歳の男兒ですが昨年あたりから何もしないのに時々鼻血を出します、最近は夜眠つてゐる間に鼻血を流してゐる事も度々あります、何か病氣でもあるのでせうか、適當な療法をお教へ下さい(八重子)

幼兒の鼻血を出す原因は多い、早く治療なさい
森本辨之助

【答】三四歳の幼兒によくあることで、これにはいろいろな原因があります、アデノイド(腺樣增殖症)がもとで鼻の入口(鼻前庭)に炎症を起しますとその部分がたゞれたり、切れたり、かさぶたが出來たりして痒かつたり緊張感があつたり、鼻がつまつて呼吸が苦るしかつたりして不快なため子供が始終鼻をこすつたり指をつゝこんだりして鼻血を出すのです、殊に夜睡眠時には鼻の入口が乾燥が甚だしいので眠つてゐて知らず知らず鼻をいぢつたりかさぶたをはいだりして血を出すことが多いのです、幼時には又紙片だのゴムだのを鼻の中に入れて鼻腔内を傷つけ出血することもあります、この場合に鼻の中が非常に臭いから注意してゐればわかります、この外ヂフテリーが鼻について出血することもあります、これは咽喉とちがつて一二日輕い熱が出る位であとは水ばなが出て時々血が混じり、慢性になると恰度鼻前庭と同じ樣な病狀を現はし何事もつゞいてよく血の混じつた鼻汁を出すのです、これ等の病氣はあまり再々出血するやうでしたら放つておけばいろんな害があります、ことにヂフテリー性のものですと他に傳染しますし、若し咽喉にでも來ますと咽喉ヂフテリーとして生命をおびやかすこともありますから油斷出來ません、この他急性傳染病や心臟や血管やのぼせ性や便秘する子供、又衣服の襟が窮屈だつたりかたくて高かつたりするために頭部に鬱血を來し鼻血を出すこともあります、で外から見て鼻に故障のある人は耳鼻科に、原因がわからなければ小兒科醫に診て貰つて早期に適當な治療法をお受けなさい

秋の食慾を唆る乾魚や鹽物
これだけ覺えて求めれば間違ひありません

フグの乾魚が夜寒の露店にお目見得するけふこのごろ、なんとなく乾魚や鹽魚に食慾を唆られますがこれから市場に出盛る美味しくいたゞける數々のお魚をご紹介いたしませう

◇

最近鮮にウルメの丸干が多く出ました、それに櫻干、小鯛の開きにカマスの乾物、開き鰈といふのが自然に多くでますが乾魚の中でもサヨリ、フグといつたお魚は上等の方です、鹽ものとしては鮭、紅鮭、鱒、新卷鮭、ブリ、サンマといつたものが出ますが鹽物で美味しいものは何といつても北海道北見の新卷鮭でせう、そのほか燒アニが出ますがこれは一度燒直して三杯酢に浸けますと美味しく戴けます

◇

でこれら乾魚、鹽魚なども充分注意なして求めませんと古いのをつかまされます、これはまづい許りでなく場合によつては中毒することさへありますから素人の方は次の樣なことを覺えてもさめましたら間違ひありません

◇

新鮮な魚を乾し又鹽したものは魚全體に生々した艶を持つてゐるもので古いものには艶がありません次に油がまはつて色がついたものは日數を經たものです、それにカビが生じてゐるものは勿論いけません、特に鹽物で肉が硬くなつたものは日數を經たものです(古くなるほど肉は硬くなるのです)肉は柔かく脊が丸く肥えてゐるのがおいしく、鱗はキラキラ光つて鰓が黄色に變色せず白色をなしてゐるものがよく、又食べて見て舌を刺すものはよくありません、鹽は適度的にあま鹽の方がよいのです(信濃町京和洋行調べ)

腰線美も鮮か
チヨツキそつくりの半コート

セントルマンのズボンがダブダブのセーラーパンツになるかと思ふと、おしとやかなレデイがシングルカツトにピヂヤマの裾をヘラヘラと翻して大道を濶歩する今日です。男子の服飾が婦人に近づくにつれて、女子もまた遠慮なく男子の服裝の城を冒さうとします。平凡に飽きて何かしら新しきものをと追求する婦人方に男子の三揃ひのチヨツキにそつくりのこのハーフコートは如何でせうか、生地は今秋あちらで壓倒的な流行を見せてゐる黒のベルベツト、腰を思ひ切りキユツと締めて腰線美を遺憾なく發揮しやうといふのです、ドレスで稍肌寒いし外套も重たいしといふこのごろのプロムネードに格好でせう(中山婦人子供洋服店調べ)

滿洲婦人歌壇

山崎かすみ

○
灯を下げて玻璃戸にうつる自が影にほゆる小犬を抱き上げにけり
○
ひそり言いひつつ人の過ぎゆけり路地には宵の灯小暗し
○
降りやまぬ永き一日や藤棚の實さや毛深くぬれそぼち居り
○
森下の夏草早やも伸びたりてみのりゆたかに打ちなびきたり
○
思ひ寝の夢に來りてもの言はぬ吾子は幼なきままにそありける

ポンタ (14)

急性トラホーム
最近兒童の間に流行　早く手當すれば治りやすい

このごろ兒童の間に急性トラホームが增えて各校とも衞生婦は洗眼に大童ですが、なぜ急性トラホームが流行し出したか、その手當はどうすればよいか、左に安富醫師のお話をお傳へしませう

最近兒童の間に急性トラホームが流行してゐるといふのは、もともと病原菌をもつてゐたところに運動會やその他のスポーツによつて塵埃が入り、それを擦つて刺戟した爲めそれが誘因となつたものが多い樣です、これも手當さへ早ければ治りやすいのですからそれと判つたら速かに醫師の手當を受けることです

これはまた非常に傳染力が強いのですから患者の使用した物は絶對に區別して置く必要があり患者はもちろん看護者なものでも患者の物に觸れたら必ず手を消毒することです、消毒液は昇汞水でもリゾール液でも差支へありませんが、これで一寸洗つた位では不完全ですから面倒でもその後で叮嚀に手を石鹸で洗ふ必要があります、そして患者は醫師の命令に絶對服從して五十倍のホーサン水で一日に何回となく洗眼することです

高砂會秋季謠會

高砂會では來る九日午前九時から「ほてい」で秋季謠會を開催するが、番組左の如くである

▲素謠　三輪、清經、野宮、松虫、花筐、俊寛、定家、景清、砧、遊行柳、葵上▲仕舞　鳥追船、玉の段、山姥、弱法師、松風、忠度、女郎花▲獨吟

ホルモンの歴史

科學の人生に對する關係は、多くの人にとつて正確に且深刻には解せられてゐないのです。科學研究者は科學研究そのものを知つてゐても、人生の實態を無視する樣な傾向に陥り易いのであります。又其外の人間は科學其物を理解しないで、徒らに之を自分達の人生に役立たせ樣とのみ要求しそれが出來ないと急に之を批難し樣とさへします。

大地震の災害を經驗した人達は地震に對してかなり神經過敏になつてゐます。既に相當な時日を經過しながら、尚度々の餘震に出會ふと、何だか薄氣味惡くなつて、又大きな地震が來るんぢやないかと心配します。そして色々な僅かばかりな變化が氣になります。かくの如く今日の地震學が地震を豫言することの出來ない點や、氣象學が明日の天候を正しく豫報することの不十分であることや、醫學が總ての病氣を治癒することの出來ない故を以て、それ等の學者を批難する如きことがあつたら

それは自らを侮辱するよりも甚だしい無知でなければなりません。私達は何故に科學が人生に存するかに就いて、今少し深い思慮を用意しておくべき筈ではありますまいか。

卽ち植物體から動物體に移る差異は偉大的進化的である樣に見えますが、自ら欲して營養食餌を求め、自ら欲して運動々作をなすと云ふ樣なことは、果して偉大的に生ずるものであるか、又は新な要素の附加に依つて發然と起るものであるかを明かにすることは、やがて精神現象の本體を知るために極めて大切な事柄であります。

宗教に於いて假定せられる靈魂なるものに至つては、それが超現實的なる性質によつて、科學から全く離れたものです。科學上から見て靈魂が本當に存在するものであらうかなどと、能く尋ねる人もありますが、それは科學を理解しないと同時に靈魂をも正しく考へてゐない人であります。若し靈魂

篠塚氏のホルモン公開講演

ホルモン灸治を受ける人々

篠塚式「若返り法」公開

人生の不老不死と云ひかへますと無病で何時までも若々しく活動出來ることとは誰人も思はぬ者はありませんでせう、この無病で何時までも若々しく生活することこそ人生として最大の幸福でありますと倶に最大の樂しみであらねばなりません、故に不老不死で暮すことには出來得る限り多方面に渉つて研究して來ましたことでせう、古い傳說又は歷史を見聞しても明かであります、つきましては世界中で一番早く開けたと稱せられる支那方面に付いて研究したことを話の順として申しませう。

今から四千年前の黃帝時代から研究して居つたことを大別致しまして申しますと「自力法」と「他力法」との二方法に別れて居ります。「他力法」と申しましては藥を服ひ藥を飮めるもの、卽ちを申します「自力法」と申しまして精神修養に依つて日常の起居動作を生理學的の法則に順應せしめて一種の觀念を修得する方法と身を鍛べて身を練る呼吸心法と、體を動かして血を循らす運動體操と

があつたのであります、此の外に「內外二藥說」と云ふ方法もありました、これは藥が體內と體外との兩方面に在ると云ふ意で自己丹田內に或る無形の靈藥（ホルモン）がありまして、その靈藥を呼吸と觀念との力に依つて、全身に流布せしめる練丹法（自力法）だけに依りましても、完全に成績を擧げ得るにはそれに適した天賦の體質を有してゐなくてはなりません。

然るに世の大部分の人々は、そんな體質を持ち合さず先天の不足か、後天の（自分の）不攝生のために內臟に缺陷を生じてゐましたり、體內に邪氣毒液を蓄積してゐましたり致しますので、先づ其缺陷や、邪氣を外に在る藥、卽ち普通の藥餌の力を藉りて補填又は排泄致しませねば、內にある藥、卽ち體內無形の靈藥も効を奏さぬものであります、それ故精神修養と併せて藥をも使用せねばなりませぬとの二說になります。

以上は支那に於ける若返り法で言ひかへますと歐米にならぬ以前の方法でありまして、此の方法は我國でも古くから應用せられて居つた

人の幸福とはどんなことか？

滿日各地版

不眠不休活動した赤十字救護班凱旋

看護された將士延人員約三萬人

【遼陽】滿洲事變に關し日本赤十字社では陸軍大臣の命により客年十一月下旬傷病兵救護班を編成その第一班が滿洲委員部で編成され同月廿八日左記の如く班長以下看護婦が遼陽衛戍病院に到着、爾來戰傷凍傷患者が多數あつたので殆ど不眠不休任務に從事した、その功績は誠に偉大なるものがあつた、この間懇切な看護を受けた將士の數は二萬九千九百八十人の延人員となつたといふ事である、然るに今回救護班の任務を解かれ近く凱旋する事になつたが藤城班長や石森書記の語る處によれば救護班として來遼した人達は軍律嚴しき中に然も酷寒と炎熱と鬪ひながら一人の事故者もなく健康で勤務を續けて來たが愈々近く凱旋することになつた、班員中には應召時產後二十餘日にして產褥に在つた者が乳兒を親に託して來たもの人知れず乳汁を搾りながら勤務したのや實父命旦夕にありたるも私情を捨てゝ應召終に勤務中死去の悲報に接した者其の他骨肉の死去に遭はざりし者等あるが何れ近く凱旋してその墓前に報告し或は愛兒に一年振りに見ゆる等胸中を察する時萬感胸に迫るものがあります

なほ凱旋する一團は

班長藤城菊次、書記石森義助、婦長吉田なか、看護婦宮崎つた、山田はま子、高橋まさの、今かつ永安とみ子、多田たゑよ、稗野龜野、櫻井きよ、久保すい、永浦しげる、木村こと、糸山みつ小西君江、溝口濱子、石川しず宗蓮愛、宮島ちの、長田きみよ百武しずゑ、田中敏枝、使丁下村醇

張競渡歸順

【チチハル】黑龍江省景示根にある張競渡は部下八百名と共に歸順し將來は滿洲國政府に忠誠を誓つた

長春附近の匪賊討伐

【新京】長春附近を中心として匪賊の大討伐に努力してゐた鐵血騎兵大集團及野砲、步兵その他の大部隊は某方面より大々的討伐を開始すべく六日夜より七日にかけ續々と出動したが、その快報に接するのも遠くなからうと市民は非常に期待してゐる

激戰八時間

大刀匪擊滅さる

奉山線閔家店子で

【錦州】過日北鎭（奉山線北方約八キロ）の我が守備隊及び同部落を襲擊したる匪賊等は又々再度襲擊すべく北鎭北方二邦里の閔家店子附近にて匪首全勝、東匪治宋、梁國臣と之等の部下千餘に大刀會匪二百名も混じり集合しつゝ有りとの情報に我が滿軍子步兵〇〇隊主力〇〇隊は永濱〇隊長の指揮の下に二日夜中午前一時突如この討伐に出動したが果して午前六時閔家店子附近にて賊團と出會猛烈なる攻擊を加へたが敵も又頑强に抵抗し激戰八時間の後愈々耐かれ次第に十字溝馬家屯方面に向け退却した、折柄我が機銃機は敵の背後に現はれ盛んに爆擊し退路を斷つた爲め殆ど全滅的に敗戰し四散してしまつたが敵の損害は甚大なもので遺棄死體三百三十五、馬匹死體三百五十、鹵獲馬四十頭と言ふ近來稀な大勝利にて引揚げた尙生き殘りし匪賊共も大半は負傷してる模樣にて之が爲め黑山より同地一帶の匪賊は殆ど再起する事は當分なきものと見られて居る

三勝愈よ歸順か

劉二堡で彼我會見

【鞍山】匪賊頭目三勝の歸順は久しく問題とされてゐたが軍部及び滿洲國の認容に依つて愈々具體化したもの〻如く、之れが特命を帶びて六日來鞍近江屋ホテルに一泊せる奉天省情報處長、同省治安維持會委員專務、全省剿匪事宣撫顧問于治功ほか安川松五郞、佐奈木十郞、凌世垣、王紹武等十名は七日午前十一時數臺の自動車に分乘して劉二堡に到り三勝と會見し此處に於て正式の歸順が成立する模樣であるが、なほ三勝は今明日中に一行と共に來鞍し奉天に赴く豫定であるが劉二堡部落民は三勝の歸順を喜び奉天よりの交涉委員の來劉を歡迎すべく準備を整へ歡喜に充ちて居ると

部下を糾合して大砲の製造

李子榮司令官氣取り

女房女は司令と號す

【安東】四日鳳城縣第六區方面よりの情報に依れば匪首李子榮は最近東邊道一帶より馬隊四百餘名、大刀會匪四百餘名、步兵五六百名を合體せしめて同區四家子村に駐在する部下一千餘に併合し同村誌三餘堂及徽李家村の二ケ所に司令部を設置した上四家堡村に兵工廠を設け大砲の製造に着手中で一方王某は大刀匪多數を率ゐて八ケ所に分駐、李子榮の妻は自ら女司令となつて多數の婦女子を募集し各所の宣傳に從事してゐる、近く大孤山を攻擊した上安東附屬地を攻擊すると揚言してゐる

撫順方面の高粱十日までに刈取

匪賊大討伐の準備

【撫順】關東軍は近く大軍を以て通化興京を中心に東邊道一帶に蟠踞せる總數三萬餘の匪賊團を徹底的に討伐する筈であるが撫順縣公署は四日布告を發して縣下大東州東社營盤、下哈達、馬牛莊子、第二區全般にわたり本月十日迄に高粱刈取を命じた

官民を利用一稼ぎ

【奉天】文官屯西方廿五支里にある上蒲河屯に居住の一滿洲人が「同地に數名の日滿人が來り奉天總領事館警察の内野巡查の名刺を振り廻しては稅金を强徵中である」と奉天署に屆け出たので奉天署では六日平川警部補以下警官隊を現場に派し取調べの結果、無智の住民をよいことに官名を利用し金錢を奪はんとしたインチキであることが判明した

課て上蒲河屯では三、四年前から千三百天地の畑を中心に同村小作人十數名と白某とがその所有權につき何回となく爭つてゐたのであるが、その後訴訟沙汰となり裁判結果、小作人の勝訴として所有權は小作人に歸してゐた、然るにこの訴訟に敗訴となつた白某はどうしても忘れられず滿洲事變勃發を機として又も之を奪還しやうと考へ之を鮮人と邦人に話したところ、何れも承諾したので玆に計畫を進めることゝなり邦人上堂圓政吉を始め鮮人滿人を加へ十五名は官名を利用して徵稅を迫り且つ現場には堂々たる三菱農場出張所と大書せる立札を樹てかくて前記千三百天地の土地を奪還せんと試みたのである、尙この事件の内容は種々複雜な事情があるものらしく奉天署では關係者十數名を召喚し引續き眞相を取調中である

屑物商が火藥密送

發見取押へらる

【奉天】蓋平縣土門子梁家屯大西關小什字街屑物商滿洲婦人梁苗子（□）は奉山線の屑物商と取引あるを奇貨として去る一日滿洲人史某より火藥二十四貫、小銃雷管五萬發を買ひ受け之を滿帮子に密送、べく運送店に發送方依賴したる處を發見され六日商埠地憲兵分隊のため逮捕され取調べの上身柄は瀋陽縣警察に引渡された

……要がある」と稱して將に屋内に入り込まんとする時、訪問中であつた坂本某はこの三名に向ひ「あなたは實業廳長徐昭霖氏の宅と知つて來られたのでありますか」と突然詰問されたので見破られたと知つた彼等はその返事に困り「いや實は財政廳長の宅と間違へてやつて來ました」と曖昧な事を云ふてそのまゝ出て行つた後になつて憲兵隊に聞いて見るとかゝるものを出した覺えはないとの事で全く偽憲兵であつた事が判り屆出により奉天署では目下搜查中であるが前したルンペンの所爲に相違なく尙ルンペンばかりでなく近頃行商人の押賣りや强制的な寄附募集者が市内を橫行するので奉天署ではルンペン並にこれ等不良分子の嚴重取締りに着手した

偽憲兵の化の皮を剝ぎ逃走

【奉天】憲兵に化け家宅捜査をやらんとした三名のルンペン…去る三日のことである午後二時頃市内稻葉町十八番地奉天實業廳長徐昭霖氏の自宅に多田某と稱する者の外二名の私服憲兵が來り留守居中の夫人に對し「自分は商埠地の憲兵隊のものであるが家宅捜査の必……

警官派出所の硝子破らる

【新京】六日午後六時五分頃長春朝日通り派出所では窓ガラス一枚を銃彈で破壞されたので長春署では時節柄匪賊か便衣隊の仕業ではないかと睨み非常召集を行ひ犯人搜査に努めたが遂に逮捕するに至らなかつた、銃彈は多分獵銃だらうと見られてゐる

火事騷ぎ二件

【奉天】六日午後十時頃市内藤栄町四番地仁合永方に二階に引越して來たばかりの滿洲人蔡東が蠟燭に火をつけたまゝ外出したところその火は夜具に引火して忽ち燃え擴がり、二室の内部は全燒して十時半頃鎭火した、この火事騷ぎが濟むか濟まぬといふ午後十一時頃千代田通り七番地飮食店義生德方二階より出火し熟睡してゐた飮食店の主人張倫（□）は下半身と頭部に大火傷を負ふたので直に滿鐵大醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが生命危篤である、目下損害取調中であるが原因はオンドルの火を不始末にしてゐたゝめ夜具に引火したものである

期待される警備會議

【奉天】林警務局長は七日午後五時半安奉線の視察を了へ歸奉、九日急行で歸旅の由、局長の沿線各地巡視と八、九の兩日ヤマトホテルにおいて開催される軍司令部、關東廳、憲兵隊本部、總領事館の各關係官廳首腦者會議の結果により今後の警備方針は決定される筈であるが、關東廳としては憲兵隊と事務的及警備上における連絡を一層圓滑にせしめ、附屬地は警察官をもつて、總領事館管下は外務省派遣警察官と憲兵隊をもつて邦……

馮涵清氏ら近く赴日

治外法權撤廢の重大使命

【新京】滿洲國政府司法部總長馮涵清氏及び同總務司長阿比留乾二氏は近く赴日することに決定を見たが、その要務は治外法權撤廢の重大使命を帶びるもので兩氏は赴日前武藤全權に會見のうへ協議の必要あるため十一日新京發赴奉、一旦歸京の上赴日の途につくことゝなつてゐる

猪島實地檢證

【旅順】猪島における海賊天下好一味の事件のため七日午前十時旅……

滿鮮市場聯合會通常總會

【奉天】滿鮮市場聯合會では來る十日から三日間奉天ヤマトホテルに於て通常總會を開催する由

店頭裝飾競技審查の結果

同業國境每日の主催

【安東】全市民より絕大の期待を以て迎へられてゐた國境每日新聞社主催第三回店頭裝飾競技會は三日終了、審查員五氏（東京電氣技師柴隈榮氏、多田安東地方事務所長、荒次氏、滿電計畫係長中村榮川商議會頭、石井輸入組合理事）の嚴正なる鑑賞の結果に基き五日午前官憲立會の下に開函、合計した結果左記の五店入選したが、採點は各審查が百點を滿點として合計五百點滿點となるもので一等の滿電支店は八十五點（百點滿點に於て）以上となつてゐる譯である

一等滿電安東支店四二七・三點
二等北角時計店三九三
三等橫　濱　堂三八六・五
四等菊屋洋品店三五五
五等武藤商店三五一・五
等外五新安東支店三四一・五
同　北田商店　三三一
同滿洲屋吳服店三二八
同　中原吳服店三二七
同　中島吳服店三一六・五
同松屋小供服店三一五・二五
同　坂井屋商店二九八・二五
同川勝小間物店二七三・二五
同　大　山　堂二六九
同　井上洋品店二六三・五
同　平岡時計店二五五・七五

尙全市の興味の中心となつてゐた入選店豫想投票は一千五百餘枚に及んだが一般の眼には北角時計店の一等豫想多く全的中者なく四店的中者一名、三店二十六名、二店百六十九名で次の諸氏抽籤の結果入賞した

▲一等電氣蓄音機　秋本吉三
▲二等電氣按摩機　森隆一
▲三等電氣座蒲團　山田繁春
▲四等合津塗スタンド（絹セード付）　金海清
▲五等カーリングアイロン　小島安治
▲六等電氣アイロン　韓世鎬
▲七等國境每日購讀券（一ケ月分）野田スミ子外二十九名

匪軍の大部分は無智の農民

射殺を恐れて匪賊に

【奉天】李海青匪殘黨三百五十名が官地東方地區に於て我軍に降服した事は既報したが彼等の自白する處によれば兵匪の大部分は無智の農民で彼等は强制的に徵集され逃走すれば射殺されるので匪軍に投降してゐたものであると

鮮農に融通した低資の回收困難

時局の影響を受けて

【撫順】今春の農耕期に當つて當地鮮人金融會が貸出した、縣下の鮮農部落二十六口九百人に對する農務費により低資融通額は合計六萬四千圓に及び本月末が支拂期となつてゐるが、今秋は匪賊橫行のため鮮農の大部分はいまだ作物の刈取出來ず從つて貸償償還の資金なく例年ならば昨今は新穀の出廻り盛んでポツく貸償を返濟する者もあるが本年は右の如き事情で到底圓滿なる回收は出來ぬと憂慮されてゐる

【寫眞說明】長春で捕はれた匪賊頭目天慰一味（上）と副頭目吳景春（左）と王殿一（右）

滿鮮國境の初氷

六日朝の冷氣で

【安東】初氷極寒三十度の國境には珍しくはないが、早くも訪れた冬の表徵だ、秋深む昨今の氣溫は急に低下し平安北道滑原郡柴和面須興洞附近は五日夜來の冷氣に六日午前三時降霜と共に同地營林署作業場附近一帶に降雪あり零下二度の寒さに約三分の薄氷が張り又厚昌郡東興警管内一般に亘り五日夜の降霜に六日早朝は零下六度を示し水溜りには相當厚い氷が張り詰めてゐると

長春輸組業績

【新京】長春輸入組合九月分の業績は左の如くである

▲貸付及回收、貸付額一七七件九萬九千九百二十二圓、回收額一八〇件十萬四千五百四十六圓
▲仕入先、內地一萬九千七百五十三圓十二錢、大連一萬三千六百六十三圓十五錢、滿鮮二千九百圓、現地六萬三千六百五圓七十三錢、合計九萬九千九百二十二圓
▲出資、普通出資拂込額十三萬五千百九十二圓十二錢、特別出資拂込額二萬二千八十二圓十七錢合計十五萬七千二百七十四圓二十九錢

榷運局鹽務使署首腦者決る

【新京】滿洲國吉黑榷運局及營口鹽務使署の組織改正後に於ける官制は既に發表されたが今回その首腦者が左の如く決定した

吉黑榷運局局長　魏宗蓮
同副局長　劉紹一
營口鹽務使署長　黑清
同副局長　森田武夫

旅順市議立候補今の所定員に達せず

【旅順】旅順市議候補中齋藤幸次郞氏は家事多忙のため忠實なる責任を果すや否やを考慮し斷然今回は出馬せざる事となり一般から惜まれてゐるがその代りとして一部では那須梅吉氏を出馬せしめんとしてゐるも、氏は特殊營業の經營者であり事務の多忙はこれを許さゞる事情があるので出馬せず玆においで

現在　立候補決定せる者新舊合して十三名を算し定員十四名に對し尙缺員一名を生ずるに至つた、斯く不振の狀態に立ち至つた事は遠く衞生組合時代においても現れざる次第で寧ろ數年前の方が多大なる活氣を呈した、然るに今や旅順市も多年に亘る滿蒙問題も解決し滿洲國承認さへ目出度く終了し旅順市としても一層更始一新の意氣を以て勇往邁進すべき重大なる

今期　改選期に際し如上の如き定員十四名に滿たざるが如き事は市の體面上將亦旅順市政施行上衷心に堪へざるもので市民は深く此重大性を想ひ蹶然起つて自治精神を發揮する事は市民の責任であり且又一大義務である、依て來る三日中における狀況次第によつては愛市義俠に燃える鬪士の出現を見るやも測り難いので旅順市議戰は今や正に興味百パーセントである

泰克間假營業

【チチハル】齊克鐵道泰安鎭、克山間は二日より假營業を開始し、旅客及貨物の輸送を取扱ふ事となつた

九月中の出炭高

三十萬八千噸

【撫順】九月中撫順炭礦の山元出炭高は左の通り合計三十萬八千噸であつたが十五日以後は匪賊の襲擊をうけた楊柏堡、東ケ岡、老虎臺その他各坑とも圓滿なる作業不能となつた結果前月に比べ九萬噸卽ち約三割の激減を見た

古城子露天掘　一〇二、〇〇〇噸
楊柏堡同　一四、八〇〇同
東ケ岡同　四七、五〇〇同
大山坑　三一、六〇〇同
東鄕坑　二〇、〇〇〇同
老虎臺坑　三三、五〇〇同
萬達屋坑　三五、〇〇〇同
新屯坑　三三、五〇〇同
龍鳳坑　二三、五〇〇同
尙煙臺採炭所は一萬二千五百噸である

醫大記念講演

【奉天】滿洲醫大では八日午後六時半から同大學第五講堂に於て開學記念講演會を開催するが聽講無料で多數來聽を歡迎すると尙演題と講演者は左の如し

一、冬のスポーツと抵抗力について　戶田忠雄
一、外へ、外へ　松岡謙之助
一、學生と競技　稗田憲太郞

救濟金寄附

【奉天】奉天で擧行された競馬二萬圓附の競馬記念競馬大會で當選した遼陽河沿街山本とめは奉天における貧困者救濟金として二百圓を五日奉天署に寄附した

森島總領事代理歸朝

【奉天】森島總領事代理は四日廿一時廿分發列車で新京へ赴いたが五日は飛行機にて吉林往復六日歸奉尙赴京の要件は歸朝に對する事務打合せのためで十一日頃東上の豫定

【奉天】森島總領事代理は十日午後三時二十五分發の安奉線急行にて歸朝する事に決定した

御影池辰雄氏赴奉出發挨拶

【奉天】關東廳地方課長御影池辰雄氏は海外視察留學を命ぜられ十四日頃出發の豫定であるため武藤長官に挨拶のため七日來奉全權部を訪問し折柄歸奉の林局長にも會見し八日歸旅の筈

ミシンを盜出し賣飛ばす

【奉天】滿洲醫大醫院傭人山東省東昌府生れ商埠地居住常義行（□）は去月廿九日正午頃同醫院二階用度室にあつた足踏ミシン價百廿圓を折柄中食のため係員不在中を奇貨として之を新聞に包み盜み出し廊下を運び六病舍裏口から持ち去り、謀て「自分は古いミシンを持つてゐるが之を賣るから」と醫院の構外に連れて來てゐた紙屑行商人に僅か大洋の八元で賣り飛ばしその翌日何喰はぬ顏をして同醫院に出てゐた處を取押へた、彼は頑として自白しなかつたが係官の嚴重な取調べに包み切れず右罪狀を逐一自白するに至つた

尙彼は十年前山東より來り鐵西窯業會社で職工として働いてゐたが、その後行商、洋車夫などをして昭和四年醫院に雇はれたもので本年六月廿二日も婦人科治療室に於て看護人の不在中を幸ひガーゼ一ポール（價格三圓）ベール一枚（五圓）を窃取した事も自白した、因に前記ミシンは賣つた行商人の所在が不明であるため判明しないと

飛下りて卽死

【奉天】五日午前七時五十七分頃皇姑屯居住奉天驛連結方李振東（□）が奉天驛構内三番線で進行中の列車から飛び上りた處轉落して頭部を手酷く粉碎し卽死した

首縊り二件

【金州】△玉皇頂會石城屯一二一許德言（五〇）は四日午後七時頃家出したので部落民總掛りで搜査した處自宅の裏山にて縊死を遂げて居るのを五日朝發見原因不明
△南山會毛家帶子屯四三夏文正（六〇）は老衰の爲五日朝縊死を遂げた

四平街

軟球野球躍進

秋漸く酣となり、幾度かファンの血潮を沸騰させたスポーツシーズンも過般のスポンヂ大會で終末となつた、近年稀なるしく隆盛に赴きつゝあるスポンヂ部は本年更に一段の進を遂げファンの意を强うした、右につきスポンヂ部長田中幸英氏は次の如く語る

後援者各位の御盡を持ちましてスポンヂ部年中行事の春秋リーグ戰も終了し、當市の軟球界が豫想以上に躍進を遂げました事は過日の全滿大會の成績に徵しても明白であり部員一同欣快の至りですが、更に明年は力瘤を入れて强チームを組織し、全滿に覇を唱ふべく努力致しますから向後も絕大の御後援の程をお願ひ致します

警備團員論賞

四平街在鄕軍人分會では鐵嶺支部より今回の滿洲事變に關し當地警備團員中功勞又は奇特の行爲ある者に對し論功行賞の詮議がさるゝので至急資料を上申するやう通牒があつたので目下之が調査に忙殺されてゐる

井上中將赴奉

守備隊司令部と共に曩に當地に滯在せる司令官井上忠也中將は七日午前十時五十一分發十二列車にて副官同伴奉天へ赴いた

開原

慶祝承認大會

開原縣公署は八日卽ち陰曆九月九日の重陽節を卜し滿洲國獨立承認祝賀會を左の如く擧行

午前八時縣城南門外公共體育場に於て國旗に對し敬禮、執政建國宣言捧讀、縣長及來賓演說、祝賀餘興挙行（デモストレーション）

殉職警官遺骨

九月三十日橫道河子附近討匪の際殉職したる故關東廳巡查部長永間文春氏の遺骨は八日午後八時三十分開原發安奉線經由、同巡查池田一二三、永田權太郞、鳳岡警□三氏の遺骨は九日午前八時三十分開原發、何れも官民多數の熱淚に送られて鄕里に歸還

關一信訓導榮轉

開原小學校に久しく教鞭を執りたる訓導關一信氏は今回營口小學校に榮轉の命に接し不日赴任する筈であるが親切周到なる氏の轉任は一般市民の惜む所である

新穀出廻殷盛

開原には昨今一日平均三四百馬車の出廻りあり本年は昨年に比し新穀收穫時の天候に惠まれたると匪賊橫行の爲め出荷を早めたる模樣にて、九月中の出廻り數量は四萬二千六百二石で其内大豆二五、一八五石、高粱七、一二七石、包米一五、七九八石、粟五五六石その他六六三石であるが、前年同期の二千六百二石に比し三萬八千九百六十四石の增加であると

兒童慰安映畫

撫順庶務課主催の兒童慰安活動寫眞會は十日午後六時半より千金校十一日同零時半より新屯校十二日同一時より永安校に於て夫々開催の筈であるが、映寫プログラムは左の通り

△實寫撫順山と猪苗代湖△溫泉體育デー△科學宮殿の話△喜劇無理矢鯉ロッキー捲り△教訓劇ポケット

陸上競技納會

體育協會主催本年度陸上競技納會は九日正午から永安グラウンドに於て開催の筈であるが、今回の納會は段位制式方法に依り興味本位の競技會とすると

江川氏母堂葬儀

撫順驛長江川憲二郞氏母堂ホノ刀自は豫て中風症にて自宅療養中の處六日午後四時長逝、葬儀は七日午後四時半より永安臺一般葬場に於て驛員一同久保次長外在撫官民有志多數參列の上盛大に營まれた

新興學校經費

滿鐵より補助

私立鮮人新興學校維持に就いては予てよりその經營に窮し李校長金氏を攻究してゐたが、地方事務所を通じ滿鐵本社へ補助金下附につき申請中のところ六日いよく認可されることゝなつた

撫順

撫順局の業績

撫順郵便局九月中の業績左の如し

	引受	配達
通常郵便	二〇一、三六	二三、四四
書留	三、〇六	二、二九
價格表記	大	七
小包郵便		
書留	三六	一七
代金引換		

爲替貯金	受入	拂出
爲替	八、四二	三、六三
貯金	四、六九	四、八一
振替貯金	七、六三	三、六三
計	一〇〇、六九	各、一三

簡易生命保險新契約は成人五〇人小兒四三人保險料合計六十八圓五十錢であつた

九月中の犯罪

撫順警察署管内九月中の犯罪發生及び檢擧數は左の通りで五十七件の發生に對し百四件を檢擧し管外事件の檢擧を加へると百三十四件の好成績をあげてゐる、尙殺人事件は北臺町番外地の妻女殺しである

犯罪別	發生數	檢擧數
殺人	一	一
過失致死	一	一
窃盜	五一	九七
强盜	一	一
馬賊	一	三
詐欺	二	一
橫領	―	―
計	五七	一〇四

食客の持逃げ

市内北臺町二丁目六番地三十號滿鐵社宅運輸事務所鐵務員前畑清英（二五）方では六日朝に至り奧四疊半のトランク内に收めてゐた滿鐵新株三十七圓五十錢拂込五十株の株券額面二千五百圓及び印鑑が紛失せることを判明直に撫順警察署に屆出たが、犯人は同家食客の宮崎縣北諸縣郡高樹村金助二男小路口安夫（二〇）にて同人は四日夜家人が當市街に赴くため留守を頼まれたる機會に乘じて承知の前記二品を窃取し五日朝榮生町川崎某宅に行くとて何食はぬ顏で出て奉天に飛ぶべくうち額面五百圓券一枚を永安大街質店安達榮六郞方に金百三十圓にて質入をくらましたが、七日に至り奉天江ノ島町一三番地より實印を添へた來信があつたので、中川刑事は時を移さず奉天に急行した

遼陽

遼陽局の成績

遼陽郵便局に於ける九月中の取扱成績は左の如くである

▲書留通常引受千百五十二件配達千五百五十八件▲價格表記引受六十七件配達二百七十五件▲書留小包引受三百二十六件配達二千二百八十五件▲爲替貯金振出口數二千九百六十五件金額八萬三千四百七十五圓八十六錢拂出口數九百四十八件金額四萬千百九十三圓七十五錢▲簡易保險新加入十二件二千四百九圓七十錢開始以來累計口數三千五百三十七件金額五十九萬三千四百五十七圓九十錢

遺族の謝狀

事變一周年記念日九月十八日に際し安東時局市民會より贈られた慰問狀並に弔慰金に對し左記戰死者の遺族より丁寧なる謝狀を多田市民會長宛に寄せるところあつた

宮崎縣大瀨木村神次郞、福島縣柳田シマ子、山口縣山崎生三郞

兩訓導留學

遼陽小學校の三浦、日野兩訓導は今回滿鐵から六ケ月間東京留學を命ぜられ近日出發する豫定である、三浦訓導は教育學を日野訓導は音樂を專攻すると

販賣主任更迭

滿鐵遼陽販賣所主任吉村毅一氏は奉天販賣事務所事務主任に榮轉後任には商事部庶務課高橋泰彦氏が四日附社報で發表された

若林家不幸

遼陽商業實習所長若林兵吉氏の令息一郞（廿四）君は本春上海東亞同文書院を卒業滿洲國協和會指導員として奉……

安東

徵稅事務引繼

稅捐局で取扱ふ

十月一日より實施の國稅徵收につき安東縣稅捐局では五日財務局より事務の引繼ぎを爲し今後地租、營業稅、仲買稅、買屋稅、家畜稅、屠畜及び酒營業許可稅等の徵收事務を取扱ひ奉天稅務監督署に送致することゝなつた

縣公所組織

中央の命で改造

滿洲國安東縣公署は今般中央政府の命に依り內部組織の改造を爲すことゝなり、從來の參事辦事處は警察縣公署の各課に編入され日滿人渾然一致し更生の意氣を以て縣政の改善、內容の充實に努力邁進することゝなつた

各銀行休業

安東の各銀行では八日は滿洲國承認慶賀大會當日なので同日は臨時休業することゝなつた

鞍山

警備員に同情勞苦を犒ぶ

鞍山警察署では今夏以來匪賊情況に鑑み附屬地東部線附近の要所々々に警備所を設け警官交替にて晝夜の別なく警戒に當つて居るが、警備所では手足も凍る許りである昨今、不完全なる所に警官の勞苦を目の當りに見て大和町に住む中學校教諭赤瀨要雄氏宅では夜中滿茶の饗應をなしたり何かと親切を盡し居るが製鋼所の佐々木案及び柳町奴の東喜代氏等が其の勞苦を犒つて居る由にて警戒員に感謝されて居る

滿洲國人排球大會

鞍山製鐵所勞務係主催の滿洲國人排球秋季大會は九日午前九時から既報の通り鐵西公學校々庭に於て開催せらるゝが、出場チームは十二組にて滿洲人若人達の姸うした團體競技は全く新滿洲國の新興氣分によつて釀成せられたもので滿洲國の前途に燦然たる光輝を放たしむるものであらう

鐵嶺

コレラ終熄

當地のコレラは先月以來新患者發生せず容疑者も殆ど陰性と確定して歸宅を許され最近は患者二名容疑者十三名を隔離してゐたが右十五名も三回の檢鏡によつて全部陰性と決定五日全部歸宅を許されて隔離所には一名の收容者もなくなつた、併し念の爲め隔離所は十五日まで其儘とし若し患者發生せざれば十六日に閉鎖の筈なるが現狀より見て全く終熄したやうであり市民も安堵してゐる

鐵嶺雜聞

▲新任領事館書記生佐藤雄三氏は五日特急で着任したが氏の令兄瀨治氏は大正六年末當地機關區に勤務中死去した人であると
▲地方事務所庶務係長久永重男氏は靜養の爲め內地に歸省する夫人を伴ひ七日朝二十列車で出發
▲小學校中村訓導は今回奉天の加藤粹子嬢と婚約整ひ來る八日華燭の典を擧げ同夜鐵嶺ホテルに於て披露宴を催すと
▲地方事務所工事係深川技術員は朝鮮鐵津水道工事の爲め五日特急で赴鮮した
▲松花ホテルは鐵嶺神社拜殿用の大幕を寄附した

貴族院議員視察團來鞍期

帝國貴族院議員滿洲支那視察團の一行十二名は長春、吉林、ハルビン、奉天、撫順等の視察を終へ十五日來鞍し製鐵所を視察して十六日大連に向ふ豫定である

輪組九月業績

鞍山輸入組合九月業績概要を示せば左の如し

一、持分　組合員數七六名、口數二・七一二口、出資金一三三五・五五〇、拂込高一〇三三・六七六・〇〇
一、貸付

本月貸付件數	一三五件
同貸付高	八七、七四三、〇〇
同回收件數	一五八件
同回收高	九二、六七一、〇〇
同月末現在件數	三四六件
同貸付高	二二九、二四九、〇〇

九月中の魚菜

鞍山市場會社九月中取扱ひの魚菜統計を示せば左の如し

鮮魚	五、一九七、一七
鹽魚	一〇二、一七
製造品	一九七、五〇
菜果	二、六二一、九七
計	八、一一八、八一

郵便局業績

鞍山郵便局九月中取扱郵便物の統計を示めせば左の如し

	引受	配達
書留	一三五八	一二一五
價格表記	二八	四六
計	一三八六	一二六一
小包の部		
書留	三〇四	二、五五二
代引換	七	八〇二
計	三一一	三三三七四

爲替貯金の部		
爲替	三六、三三六、三一	二一、〇〇六、〇〇
貯金	五四、三〇〇、一七	一四、三六〇、〇〇
振替貯金	三六、七七〇、〇一	三三、〇〇八、九〇
計	九〇、一三〇、〇八	五七、三六九、九〇

旅順放送

▲滿鐵旅順販賣所主任備藤亥吉氏は今回營口販賣事務所長に榮轉あり七日後任の三浦一雄氏同道各方面歷訪挨拶した
▲旅順署在勤十年の北澤里郞巡查は今回蘇家屯署へ轉勤
▲德島縣人原田藤七郞（四〇）は洗張職人として大連に稼業中身持ちが惡いので從業中六日午後四時旅順着滿電バスに無賃乘車をして來たので其筋へ突出さる
▲月見町六五久松政雄（三〇）五日死亡

沿線往來

▲下田勝久氏（關東廳衛生課長）七日十一列車で來奉
▲山崎丹吉氏　同上
▲廣本鶴雄氏　同上
▲菅沼勇氏（日吏）七日十二列車來奉
▲勝部兵助氏（商工省官吏）七日同上
▲荒木芳道氏　同上
▲井上守備隊司令官　七日來奉
▲井上匡四郞氏（貴族院議員）七日來奉四日新京へ
▲森公主嶺地方事務所長　七日通過

曙の鐘 (481)

倉田潮　河野■多畫

毒盃（四）

幔幕の下から人の手がのびて、あけみの持つてゐる兇器を奪ひさつたのに、壯三はギヨツとして跳び上つたが、あけみは氷のやうに冷靜だつた。右手をあげて、壯三を制しながら、

「靜かに」と低く云つて、それから輕く幔幕を叩いた「平津さん、もうい、加減で出ていらつしやいよ」

幔幕の下から平津が悠々と這ひ出して來た。彼は署長の機密的同情で再び此の世に出て來ると、その夜の中に例の道具の力をかりて、五階のあけみの部屋に忍びこんで、今まで秘密をあばかうとして待つてゐたのだつた。

壯三は平津の顔を見ると、青くなつて額へ上つたが、あけみは眉毛一つ動かさず、元のまゝ幔幕に縋はつたまゝ、

「平津さん、今差しあげた小箱の中に、一切の秘密が書いてありますよ」と寂しく笑つた「それがあれば今度こそあなたも完全に満足なさるでせう」

「満足します」

と平津は落ちついて側の椅子に腰をおろした。すると、あけみは靜にまた盃を取りあげて、

「私、こんなに早くこの秘密をあなたにもらすつもりではなかつたのですが、この頃急に世の中がいやになつて來ましたのよ。つまり歡樂の罪の厭世を感じて來たのですわれ。で、私、つひ今夜あなたと壯三に秘密を漏らす氣持になつたのです。兄さん、そんなに心配しないでおかけなさいな」

壯三は腰かけたが、まだ十分心が落ちつきかねてソワ〳〵してゐた。あけみは毒藥をついで、

「平津さん、私、自然に死ぬと云ふことは元から大嫌ひなのですわ。自然死には自己の心が少しも働いてゐない。誰にか殺されるも同然ではありませんか。ゲーテはこの地球が生き物であることを信じてゐました。そして、ギリシヤの詩人の中には、宇宙の都は寄生物で、人間を牧畜し老病を與へてこれを殺し、己の體内に埋めさせて體を肥らせるのだと歌つたものもありますのよ。だから西洋人は火葬によつて埋めた塚にして、地球と云ふ生物に食はれないやうに天にあげてしまふと聞いたこともあります。とにかく、私、自然死は自己の意志の全く働いてゐない死に方は嫌ひなのです。ところがこの頃、私、戀を追ひかけ歡樂をつくしてゐながら、ブルジョアのアンニユイからなのでせうが、ほと〳〵世の中に飽きて來ましたのよ。で、自殺……」

と云ふと共に、あけみは盃を手にしたまゝ、白い敷布の上にごつと血を吐いて顫へ初めた。小箱と共に部屋の隅から持ち出して來て飲んだのは毒の盃だつたのだ。

「あけみ」と壯三は飛に取りすがつて「お前、死ぬ氣であんなことを俺に打ちあけたのか。あゝ、何なと云ふことをして……」

「兄さん、靜かになさい」とあけみは落ちつきはらつて口の血をふき取つてから「死は誰にも一度は來るものです。見つともないから騒ぐのはやめて下さい。私は自分の意志に從つて、自分の身體を葬るのです。自然に勝つて死んで行くのです。で、寧ろ私の死に祝盃をあげて下さい」

「さすがにい、覺悟です」と平津は初めてニツコリと笑つた「今迄あなたを讃めなかつた私が、今夜ばかりは一言あなたを讃めて上げませう。たとへ何んな惡いことをして人を苦しめたにしても、あなたのその落ちついた死に方は、實に王者の死と云つてよいです」

「王者、王者、ありがたう。平津さん、私は今迄何事にも王者でなくては氣がすみませんでした。王者、ありがたう、平津さん、私あなたのやうな英雄から王者と云はれたことを最後の、最後の光榮に存じます」

云ひ終るとあけみはガツクリと敷布の上に俯伏して二度目の血を烈しく咏に吐き出した。

滿日俳壇

夜長　島田青峰選

名古屋　伊東蘇左福
水疸の凋る、野や夜の長さ

大連　高木　春葩
長き夜のつれ〴〵にさす詰將棋
讀さる書のつきたる夜長かな
れもごろに文誦めぬ夜の長さ
■刻む時計の音や夜の長さ
寢せつけて裁縫ひふける夜長かな

大連　箕　鳴鹿
長き夜のそばで見てゐる賃仕事
門にまつ車夫物言はぬ夜長かな
長き夜や滿蒙地圖に朱を入れる
一人讀む机に暗し夜長の灯
傳道の太鼓に街の夜長かな

大連　占部　靜閑
留守居していよ〳〵長き夜なりけり
長き夜や更けて明るき空の星

小倉市　中村土太郎
長き夜を針に親しむ眼鏡かな
長き夜の明け待つ始發電車かな
長き夜を夜警の柝に更けにけり

撫順店　川上　君枝
我影の一人きりなる夜長かな
移り來てまだ耳馴れぬ夜長かな

大連　宇都宮鳳翠
長き夜の神棚つたふ鼠かな
長き夜の芭蕉も月に靜まりて

撫順店　邵　■他
長き夜を我物顔や嚢ぶくろ

大連　寺田鵜多樓
雨だれの音間なき長夜かな

撫順店　佐藤　砂雄
長き夜の驟け車を踏みに出し
じやれかゝる猫に夜長の留守居かな

旅順　秀島　柳蛙

奉天　坂口　竹峰
病室の窓に月ある夜長かな

福岡縣　田中悠紀夫
高原の月高うして夜長かな

新刊紹介

▲新撰電氣磁氣測定及測定器（上卷）（河喜多能一矢橋源三共著）本書は著者が廣島高等工業學校において講義せし内容を基礎とし、專門學校、工業學校及び通試受驗用參考書として編纂したもので第一編を電氣磁氣測定、第二編を測定器具として居る、説明は出來るだけ簡單にして要を得てゐる（定價二■■　東京市丸ノ内有樂館工政會出版部發行）

▲マルクスかファッショか（室伏高信著）猶太民族は第二世紀において徹底的に民族生活を破壞され、そして四方に散亂した、主として都市へ散亂し唯物主義に徹底しその現れがマルクス論である、獨逸にしてもイタリアにしてもファッショ思想の根柢はニイチエであるニイチエがショウペンハウアアにつながりショウペンハウアアが印度思想につながつてゐるといふとに我々との接■があるこゝに唯物的、都市的、近代的西歐思想の穢否定が含まれ、こゝにファッショかマルクスかといふことに重大な意味があるのである、對立する世界の改造の二大思想であるのだ、そして西歐文明か東方文明かの一層に根本的な問題が含まれてゐるのである、今川世界は風雲を孕んでゐる、今廣大なる世界の地平線に何ごとか起りつゝある時本書を一讀すれば得るところが多いだらう（定價三十錢、發行所東京市赤坂區青山北町四丁目一〇六番地夜明け社）

けふの放送

大連　JQAK　十月九日

▲午後〇時十分ニユース
▲午後三時三十分ニユース
▲午後五時五十分一、ニユース
▲講演「制海權に就て」香川乘組員海軍少佐山澄貞次郎（以下内地中繼）
▲名■鑑賞（六時三十分）第十四回實演箏曲（一）秋風の曲、光崎檢校作曲（二）八重衣、箏八重崎檢校作曲、三絃石川勾當作曲、箏宮城道雄、同牧瀬喜代子、解説田邊尚雄
▲義太夫（七時三十分）「伽羅先代萩政岡忠義の段」淨瑠璃竹本小土佐、三味線豐澤美佐尾
▲浮世節（八時）（一）小唄、三下り人と契るなら（二）同本調子、晴る月（三）同同いつしかに（四）大津繪田神の御祭禮（五）獅子の曲　立花家橘之助、連彈き同橘次
（以下大連放送局より）
▲ハーモニカ獨奏（八時三十分）（一）ポルテジイの喧嘩（二）ピユーチフルリバー（三）彼女の微笑　杉野孝
▲ニユース
▲氣象通報

孝行美談 勇敢な夫婦

西村久彌

石炭の都撫順に恐ろしい匪賊の襲つたのは十六日の午前零時すぎでした。

大瀧チヱ子さん

親孝行で楊柏堡炭坑のほめ者となつてゐる大瀧正夫（二十八歳）さん一家が大掃除の疲れでグッスリと寝込んでしまつて、あわたゞしい騒ぎ声に目を覚ました時は数百名の匪賊がもう社宅町に近く迫つてゐました。六十五歳になるお母さんのキクさんは足が不自由だし、妻のチヱ子さんは、すぐ赤ン坊が生れるので大きなお腹だし、その上へ人から預つた十七になる娘の子もとまつてゐました。もう一刻もじつとしてはゐられない、次第に銃撃が近づいてくるのです、ピストルを握つてボンヤリと佇んだ夫をみて妻のチヱ子さんも悲壮な覚悟をきめました。

「お母さんと預つた娘は死んでも無事に逃がさう」

二人は血走つた眼で無言のうちに誓ひあひながら表に飛び出しました、不自由なお母さんを肩に、泣きじやくる娘を励まして命限り逃れてゆくチヱ子さんの後から夫の正夫さんは身補となつて応戦しながら守つてゐます、一歩々々迫つてくる賊の姿が中秋の満月に照らされて手にとるやうです。

大瀧正夫さん

ところがどうでせう、お母さんを背負つたチヱ子さんは路傍の深い穴に落ち込んでしまつたのです、もう駄目だ、正夫さんは心の中で「大切なお母さんと妻を守つて僕は死んでやるゾ」こう決心すると少しも恐ろしくなくなりました。

×　×

赤ン坊を抱いた母親、娘の手をひく姉い兄泣き喚めきながら雪崩をうつて逃れてゆく人達のうしろには恐ろしい槍とピストルが迫つてゐます。

「穴があるゾ…穴は落ちるな」

正夫さんは大声で怒鳴りながら賊の前進を喰ひとめるために必死となつてながい間戦ひました

ふと「こんなことをしてゐては穴に落込んだお母さんや妻のことが気づかれやしないか——」と稲妻のやうな閃きが正夫さんの胸をかすめると心残りだが思ひ切つてその場から血路を開きながら退いたのです。

×　×

二人の落ち込んだ背丈よりも深い地獄の穴には敵味方の流れ弾がところきらはず落ちてきます、チヱ子さんは夢中でお母さんのからだにのしかかつて

「お母さんを守つて下さい——」

と力一ぱい抱しめて神さまにこう祈るのでした、小一時間もたつたでせうか、激しい銃撃がヒタリとやんだと思ふと慌たゞしい地ひゞきが近づいてきました、逃げおくれた日本人をまなこになつて捜してゐるのです、チヱ子さんは太い槍の柄で引ッくり返されたり蹴られたりしましたが死んだ真似をして賊のする儘にまかしてゐました、又賊が近づく気配がして闇の中にギラリと光つたものは槍の穂先です、息をころして細目でみてゐたチヱ子さんが

「はッー」

と思ふ瞬間左の手首に近くザクリと差し込んできました、恐ろしさの余りわれを忘れて夢中で槍を掴んでしまひました。

……さあ大変だ——

驚いた賊は穴の周りできりつと身構へました、しかしなんと幸運でせう、その時又もはげしい銃撃が起つていづこともなく賊は逃れてゆきました、そして血にそまつたチヱ子さんの右手は赤い賊の血のついた槍の穂先をしつかりと握つてゐたのです。

すつかり観念してしまつたチヱ子さんの心は不思議なほど落ちついてゐましたがどうしてお母さんを救ひ出すかで一杯でした、僅かの隙をみて穴を抜けだしたチヱ子さんは自警団のところにつくと

「はやくお母さんを、早く——」

といひながらパッタリその場にたふれてしまひました。

×　×

気のついた時は満鉄病院のベットに寝かされ、右手に貫通銃創をうけてゐました。

「お母さんはどうしました——お母さんに逢はせて下さい——」

うわ言のやうに叫びつゞけたチヱ子さんは数日かたつてお母さんの死をきかされた時はどんなに悲しみ落胆したことでせう、心やさしいわが子と嫁が命を投げ出して守つてくれたけれど、年老たお母さんは穴に落ち込むときにはもう賊の槍で腰をつかれて悲しい最期を遂げてゐました。

孝行な二人の身代りになつてお母さんは死んでいつたのでせう、そして正夫さんが穴を守つて奮戦したことは知らないうちに賊の健入を喰ひとめて多くの人々の命を救つてゐたのです、孝行の徳は尊いものです、二人の孝行な決死の行ひは今撫順で評判となつてゐます。

第十五回 こどもの考へもの

この電車はどちらへゆくのか

ポイントの手前で電車がとまりました、サアこの電車はこれからどちらのレールを通つてゆくのでせう？わかつた方はハガキで来る十六日までに大連市東公園町満洲日報社「満日日曜附録係」あてお答へ下さい、いつもの様に二十名にご褒美をあげます

右？

左？

第十三回の答 足が反對

いつもながら皆さんはなかなか考へ上手ですね、第十三回の考へものは足と身体が反対についてゐました、今度は籤を引いた結果左の人々へご褒美をあげます、大連市内の方にはハガキを出しますからそれをもつて本社まで取りにおいで下さい

×　×

なほご褒美の中にある森永のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱は必ずお菓子屋さんにある[illegible]の「慰問兵士を[illegible]りませう」と書いた箱にお入れ下さい

當籤者

▲旅順市伊知地町川谷敏夫▲奉天彌生町有福正人▲撫順山城町吉野芳孝▲[illegible]家屯芝田助則▲營[illegible]店河本千[illegible]▲長春吉野町井手賢一▲營口北本街三辻喜江▲奉天彌生町清水正▲奉天満鐵醫院[illegible]川龍藏▲大連市土佐町岡本キヨ子▲大連市日出町小林ムツ子▲大連市東公園町平野丈夫▲大連市逢坂町江口てい▲大連市柳町奥野尚子▲大連市伏見町片山喬子▲大連市伏見町大木ミツ子▲大連市西公園町中原[illegible]子▲大連市聖徳街[illegible]▲大連市最首敏治▲大連市聖徳街中村彰一

字の讀めぬ大人 アメリカに三百八十萬人

今年の四月の調べによりますと、アメリカの人口のうち、十歳以上のものは九千八百七十二萬三千三十五人ですが、このうち、すこしも字をよむことが出来ない人が四百二十八萬三千五十三人もゐるさうです、しかも、この文字をよむことの出来ない人のうち二十歳以下のものはたつた四十二萬五百三十八人で、あと三百八十六萬三千二百十五人はりつぱな大人ばかりです、アメリカは文明国だといつてゐばつてゐますが、また字の読めない人がこんなにゐるのです、それに、この字のよめない人はほとんど本當のアメリカ人で、外国から行つてゐる人やあいのこは非常に学問があつて、字のよめぬ人は大へん少いさうです

手工 簡單に出來て きれいなカミの袋

けふは図の様な可愛くて綺麗な袋を書用紙で拵へませう、先づ幅四十八糎、高さ二十四糎の書用紙を用意します、そして図のやうに寸法をとつて鋏で切ります、點線のところは背中の方に折り曲げます

そして底の折り曲げた一糎のところにノリをつけて左側の方を中央に折りこのノリのついた底の部に貼りつけます、それから右側も同じ様にして中央に折りノリで綺麗に貼ります、次に紐になる上部を図の様に折ります、そして最後に皆さんの好きな絵をクレイヨンで上手に書いて下さい、それで袋ができ上りました。

ケフノツゲワ

ケフ ハ ミナサン、キレイナ キモノ ヲ キタ ゴム ノ オニンギヨウサン ヲ クレイヨン デ ヌツテ クダサイ ソシテ オメメ ヤ オクチ ヤ オハナ ヲ ツケテ クダサイ

連載漫画

私達が暮すのに大切な鐵の話

世界中でも名高い鞍山にある 製鐵所の紙上見學

日曜附錄のために「鞍山の製鐵所を見てきなさい」といふ命令をうけて記者は或る日の夜急行列車に乘り込みました、この頃の夜汽車は大へんすいてゐて話相手の人もないのでたゞぼんやりと「鐵」のことについて考へてみました。

私の乘つてゐる汽車は鐵でつくつた機關車にひかれて鐵のレールの上を走つてゐる、クッションのバネも鐵なら客車だつて殆ど鐵で出來てゐる――こう考へてゆきますと鍋も釜もさうだし皆さんの住むお家だつて鐵筋コンクリートでなければ釘が澤山打つてある、電車、馬車、人力車、はさみ、庖丁何一つ鐵を使はないものはない、ご本だつて鐵の機械でさちてあるし、下駄の裏にも金具がついてゐるでせう、さうなると鐵をつかはないものを思ひ出すのはなかなかむつかしいことです、たとへ木ばかりで石ばかりで出來たものがあつたとしてもそれをこしらへるまでには、カンナにかけたり、ノミでたたいたりみんな鐵のお世話になつてゐるではありませんか、ズツと大昔、石器時代といつて鐵のあることを知らなかつたころには石の斧や石の刀ですゐ分不自由な生活をしてゐました、今日の世界から鐵をとつてご覽なさい、そうすると文化も文明もみんなこの「鐵」のためだといふことがハッキリわかります

寫眞の說明

(1)ダイナマイトで岩をわる物すごい發破作業

(2)鞍山自慢の還元焙燒爐――手前にうづ高くつまれてゐるのは山から掘出した鑛石

(3)見るからに大仕掛けな第一第二熔鑛爐、これはいづれも一日に三百五十キロトンの銑鐵をつくります

(4)出銑作業――(3)の寫眞の熔鑛爐の下から出てくるまつ赤にとけた銑鐵を鑄型に流し込む仕事です

(5)山と積まれた銑鐵

(6)骸炭工場――熔鑛爐の燃料コークスをつくるところ、一日に千キロトンをつくる

(7)ドロドロに熔けた銑鐵を幾トンも入れて運ぶ大きなバケツ

大連から北に凡そ七時間(三〇〇キロ)汽車にゆられて鞍山驛につきました、怪物のやうに大きな熔鑛爐がドッシリと停車場の西側にま近く聳えてゐます、この附近の山から出る鑛石は貧鑛といつてせいぜい鐵が四〇パーセントくらゐしかもつてゐないので、いろいろ苦心に苦心を重ねて研究したすえ、こゝにしかない還元焙燒法といふ方法で鐵をつくることになつて世界の人々をアッと言はせました鞍山製鐵所は今から二十五年前日本人が鑛區を發見して大正五年に日支合辦事業として初めて出來たもので、まだ漸く二十年にしかなりませんが大正十一年この還元焙燒法となつてからは七億噸からの鞍山貧鑛が一ぺんに立派な富鑛になつたも同樣で原鑛の八割までも外國から買はなければならない鐵の少い日本にさつて非常な力頼みさなりました、それはかりでなくこの大規模な製鐵事業が一から十まで日本人の力で出來あがつて死藏されてゐた寶を世に出してゐることは世界にほこるべき大きなてがらであります

さて皆さんはピアノをひいてボーンと音のする金の絲を知つてゐるでせう、このピアノ・ワイヤトが殆ど純粹の鐵に近いもので、普通一般に鐵といふものにはいろいろな混りものがあります、大きくわけて可鍛鐵(鋼鐵)と銑鐵さなります、庖丁や鉈などの固い鐵には炭素が多くて鋼、釜などの銑鐵には少いのです、これからこの二つの鐵はどうして製造されるかをお話してみませう

山から掘出した鑛石をお餅のやうに小さく砕いて還元焙燒爐でマッ赤に燒くと磁鐵鑛になります、これをボール・ミルといふ機械にかけて砕いたのち電氣磁力選鑛機といふのにかけると磁鐵鑛が集まります、これに石炭などの燃料を混ぜて一しよに燃やすと恰度よく固まつて六〇パーセント位の立派な富鑛が出來あがるのです、こんな面倒をしなくても鐵を半分以上も含んでゐる外國の富鑛は鑛石そのまゝ熔鑛爐に入れると、早速鐵が出來るわけですが、鞍山で前にお話した樣な仕事をするのは結局鑛石が惡いからです

さあこれから熔鑛爐です、鞍山には三百キロトン、三百五十キロトン、五百キロトン(一晝夜に鐵の出來る能力)と三つの熔鑛爐があつて年に四十萬トンの銑鐵が造られてゐます、燃料はすべてコークスでこれに強い風を送つて攝氏千二百度の高熱にするさ爐の底に銑鐵が溜ります、一トンの鐵をとるのに一トンのコークスがいりますので石炭の豐富な撫順をお隣りに控へた鞍山の製鐵所は大變よいわけです、どこに造らうかと永い間迷つてゐた昭和製鋼所もいよいよ鞍山にきまりさうですが、これが出來れば東洋一の鐵の都となるでせう、熔鑛爐から出てきた銑鐵は三尺餘りの太い鐵塊に鑄込んで鑄物やさんに買はれて行きます

内地には有名な八幡製鐵所を初め釜石、輪西、淺野、東洋などの製鐵所がありますが原料鑛石は殆ご南支那と南洋から來ますから自分のところで鐵鑛がとれて自分のところで鐵が出來るのは鞍山ばかりです、日本で一年中に使ふ鐵は百六十萬トンですが、日本では鞍山から三十四萬トン、八幡から六十四萬トン、その他から四十萬トン出來るだけで、あとの不足二十萬トンは外國から買つてゐるのです

滿蒙建國の黎明

「滿蒙建國の黎明」は三上於菟吉、直木三十五兩氏の原作により溝口監督のメガホン、中山技師のキャメラの下に新興キネマ中野英治プロ、入江たか子プロが合同して撮影に當り、百六十日の日數を費して滿洲、支那、日本の三ケ國にわたる大ロケーションを行ひ、滿洲人二千餘、蒙古人一千餘のエキストラを使用して完成された映畫史上に特筆さるべき巨篇である、なほ滿洲ロケーションに際しては關東軍若干部隊を始め、熱安遊擊隊一個中隊二百五十騎、同步兵二個小隊約二百名及び溫都爾王府守大氏の手兵二百名が應援出演をした譯であるが、この映畫の主なる配役左の如し

……キャスト……

役	俳優
彩鳳姫	入江たか子
伊東眞兒	中野英治
大村憲太郎	松本泰輔
黄良惠	瀨良章太郎
小笠原博哉	高島登
李石常	櫛田敏治
チャーリー張	菅井一郎
秋華	桂珠子
春芳	山縣直代

梗概

大清國の光緒十三年、突如捲き起つた革命の嵐に、幼帝宣統氏は位を強奪され、愛新覺羅努爾哈赤以來十二代連綿として絶えざりし大清朝も全く崩壞し、宣統氏の妹彩鳳姫は、日本の志士小笠原博哉に伴はれて日本に亡命した、その後彩鳳姫は彩子と名づけられ、信州の高原に成人したが、彼女の影には小笠原の人格に感化してゐた東大法科生伊東眞兒と豪快な少壯士官大村憲太郎の二人が附添つてゐた、大學を出た眞兒は上海の亞細亞局通信總長として赴任することになつたが出發に先だち彩子、大村と共に將來固く手を握り合ふべく誓つた

☆

時恰も滿洲にあつて虎視眈々滿蒙獨立の機を覘つてゐた蒙古青年黨は雌伏十年、こゝに機熟し、彩鳳姫を擁戴すべく使者李石常を日本に送つた、これに對して小笠原は事を平和裡に解決することこそ日本の欲するところだと諭つたが、兄への思慕と東洋の樂土建設の願望に惱んだ彩鳳姫は終に李石常に伴はれて上海に渡つた、そして國際都市上海の社交界に華と謳はれるやうになつた、彼女は第一回目の仕事として奉天派の頭目龍光將元帥の命を狙つたが、南方政府の間諜チャーリー張によつて妨げられ、男裝して日本に逃れ、再度機を狙つて滿洲に向ふことゝなつた、その間建國の大望のためには死をも怖れぬ姫ではあつたが、唯一の胸の底を離れぬものは、幼馴染の伊東眞兒の面影であつた、姫は滿洲到着後も屢々チャーリー張のために襲はれたが、偶然にも奉天軍々政顧問となつてゐた大村にその都度救ひ出された

☆

その頃上海にゐた眞兒は姫が奉天で何事か計畫してゐる事を知り急遽北上した、二人は奉天で再び固く手を握り合つた、二人は一度逢つて互に力強き何物かを感じ、二度逢つて互の心を知り、三度逢つて強い愛を感じてゐた、而し愛を誓つた直後、姫は大望の前には愛を殺さねばならなかつた、同志たる青年黨のために無限の武力と財產を得る犧牲となつて蒙古王族黄良惠と結婚しなければならなかつた、これを知つた眞兒は怒つて、蒙古に入り、鐵木眞將軍と名乗り滿洲鐵軍と稱する馬賊の頭目となつて蒙古一帶を怪雲の如く荒し廻つた。

☆

恰度姫の嫁入の行列は奉天を發して滿洲鐵軍の勢力範圍の地域を通り黄良惠のゐる巴林王府へと向つて行つた、一行には青年黨の李石常と、チャーリー張の手先が姫の侍女として秋華と名乗つて加つてをり、出發以來絶えず暗闘が行はれたが、終に李は張のために斃され姫の行列は奉天軍のために危く全滅せんとした、その時突然大軍を率ゐて姫を救ひ出したものは外ならぬ鐵木眞將軍——伊東眞兒であつた、彼は姫を憎みつゝも危急を知つては救はずに居られなかつたのだ、彼は奉天軍を蹴散らすと共に張と秋華を斃して又姿を消した姫は黄良惠の王府に無事に到着することが出來たが、黄は奉天派の意向を怖れて姫を迎へた誓りに人質として妹春芳を奉天に送つた姫は黄の意氣地なさに好感を持てなかつた

☆

時に九月十八日の深夜、奉天軍の柳條溝鐵道爆破を導火線として滿洲事變の火蓋は切られた、日本軍は破竹の勢ひで奉天軍を擊破して行く……大村の通知でこの事變を知つた眞兒は武裝滿洲鐵軍を率ゐて巴城に姿を現はした「蒙古王族よ起て、今や全滿蒙は唸りを立てゝ動いてゐる!」この強い叫びを聞いた姫は眞に狼火に點火した、全蒙古軍は一齊に狼火をあげて應へ、奉天軍の背後を衝くべく行動を開始した、そして今までの弱者黄良惠も自ら一兵卒として滿蒙の自由の爲に同志の後を追つた、姫は眞兒に嫁らんとしたが、眞兒は滿蒙の元首となるべき人は宣統氏だと諭り、大村の護衛の下に姫を飛行機で天津へ……全滿蒙の唸りは益々大きく強くなつて來た、かくて輝かしく歷史の一頁を彩る滿蒙建國の偉業は着々と進んで行つた。

× × × × ×

寫眞說明

(1) 入江たか子の彩鳳姫
(2) 中野英治の伊東眞兒と桂珠子の秋華
(3) 中野英治の伊東眞兒と入江たか子の彩鳳姫
(4) 入江たか子の彩鳳姫と瀨良章太郎の黄良惠
(5) 中野英治の伊東眞兒(上)、入江たか子の彩鳳姫(中)と桂珠子の秋華(下)
(6) 山縣直代の春芳(右)桂珠子の秋華(中)菅井一郎のチャーリー張(左)
(7) 中野英治の伊東眞兒と入江たか子の彩鳳姫

× × × × ×

三人の浪人者

魚見崎一尾

こゝ二三日、目立つて秋冷が感じられる。今しも、芝明神の大鳥井をくゞつたのは、三十を大分過ぎた堂々たる骨格ではあるが、見る影もなく、所謂尾羽打ち枯らした一人の浪人者である。

「加藤家二十四將の隨一」を父に持つた加藤觀之助も、かうその日の食にも窮するやうでは溜らない。これと云ふのも狸親父の家康奴が……いや、そんなことよりも、なんとかこの空腹の始末から先につけたいものだわい」

加藤觀之助はかう呟きながら、ぎよろ／＼あたりを睨め廻した「おや、いゝ匂がすると思つたら、おでんだな。あれは大阪では關東煮とか云つたつけ」

彼の足は自然に、そのおでんの屋臺見世の方に近寄つて行つた。

そこでは、町方の子供が大勢集つて、こんにやくだとか豆腐だとかをうまさうに喰べてゐるのだつた。

よく見ると「一串一文」と書いてある。觀之助は今更の如く袂を探つたが、もとより、出て來たものは……ただもくさばかりだつた。

「御同役、あれを御覽じられよ。何處の野良犬かは存ぜぬが、もの欲しさうな顔をしてるでは御座らぬかな」

「左樣々々、飼主に見放された奴は、世にも哀れなもので御座るのう」

この時、不意に、無遠慮極まる聲が聞えて來た。

觀之助が何氣なく傍らを見ると立派な身なりの旗本らしい武士が二人、自分に嘲笑をあびせかけてゐたので、

「己ッ！」

と、怒りは心頭に發した「……何をぬかしやがるんだ。拙者の樣子が可笑しかつたら、四の五の云はないで、一兩ばかり置いて行きやがれ」

そして、魚の腹部のやうに鈍く光る大刀を、頭上高く振り上げた。

太刀筋はなかく天晴れなものである。

「こいつは不可ない、強さうだぞ」

「御同役、どうしやう？」

「もし萬ケ一にも我々の身體に間違ひでもあつたとしたら……」

「それ、貴ち、お前に對して不忠――」

「いつそこの場は……」

「三十六計に決めやうではないか」

驚いた二人の旗本は、尤もらしい理窟をつけると、年長の方が懐中から、一兩と幾らかの小錢まで取出した。

「よろしいか」

「心得てござる」

二人は氣合をあはせると、くるりと後を振り向いて、たたたた……と逃げ出したのである。

「アハハハハ……」

あたりに散らばつたその金銭を觀之助は拾ひながら哄笑した「馬鹿な奴ぢや。だが、これで空腹も凌げると云ふもの。……さうぢや久方ぶりに大家根のとこへでも行つてやれ」

さて、彼氏の目の端に翔つた大家根峰次郎と云ふ浪人は、やはりこれと同じ日の同じ時刻に、家財と云つては何一つない座敷の中央で、目球を剝いて座つてゐた。たつた今、執念く請求した米屋の小僧を、啖でさへ大きなその兩眼をくわッと見開いて、睨み返したところなのである。

「これ、お絹。もう出てもいいぞ！」

彼は押入に向つて聲をかけた。中から恐ろ／＼這ひ出して來たのは妻のお絹である。

と、再び玄關に當つて人の氣配がした。

「あれ？」

お絹は無意識的にまたも頸を縮めた。

「シッ、シッ、靜かに――」

周章て手で制した峰次郎は、しぶ／＼座を立つたのであるが、暫くすると惠比須顔で引返して來て

「女房、喜べ、金策が出來たぞ！然も大枚十兩ぢや！」

と、叫んだ。

「まア、何でございますつて？」

思はず女房も膝せ寄つて來た。良人の手には十枚の小判が、すらりと奉書の上に並んで、内氣相に微笑してゐた。それは峰次郎の兄で、下谷に住む醫師了庵が、寄越したものなのである。尤も無心を云ふことは云つたのであるが、度々のことではあるし、全然當てにしてゐなかつたのに、もうこれきりだぞ、と斷つて、わざ／＼下男に屆けさせて呉れたのだつた。

「さア、お祝ひぢや。酒肴の用意をして呉れ。拙者は加藤と日向に招待狀を書くとしよう」

峰次郎は愉快さうに腹をゆすつた「……だけご苦勞、今日は小判を一枚も崩さないで欲しいのう」

「ハイ」

と、答へた彼女は、いそ／＼と臺所にもぐり込んだ。

「大屋根居るか」

「峰次郎は在宅か」

この時、かう云ひながら這入つて來たのは、觀之助といま一人の武士である。彼もお多聞にもれない浪人者と見えて、素袷一枚に大刀をぶち込んでゐた。羽織を着てゐないどころか、下駄は緒までチビてゐた。何處で觀之助と出逢つたのか知らないが、やはり峰次郎が招待狀を發しようとしたうちの一人――日向孫太郎なのである。

「よう、これはよくこそ――」

料紙や硯が不要になつた主人は心から滿足さうな聲を出した。

そこで、この常日頃仲のいゝ三人の浪人者は、狹い一間に大胡坐をかくと、奥方の心盡しの御馳走に、盃の數を亂し初めたのであるが、一渡り酒が廻つたと見て取ると峰次郎は十枚の小判をずらりと客に並べて。

「各各方、御覽下され、拙者の兄はなかく名醫で御座らうがな」

と、云ひながら、それを二人に披露したのだつた。添書には「金瘡病に特効あり、但し亂用すべからず」と、ものゝ見事に書いてある。云はずと知れた醫師了庵の筆である。

「アハハハハ、成程」

觀之助は哄笑した。

「よき御令兄を持たれてお仕合せ……」

孫太郎も苦笑した。

やがて、夜になつたのに氣が付くと、一座の者は主人の音頭で、千秋樂を唄ひながら、銚子、皿、鹽辛壺などを、順々に手繰りにして、引き下げはじめたのである。

「小判も一先づお揃へ下され」

と、云ふ觀之助の言葉に、峰次郎はそれを掻き集めて、餘の逸興をふるつた奉書に包まうとしたが

「おや、九枚しかない！」

と、思はず叫んだ。

不思議なのは座にゐた二人である立つて見たり、坐つて見たりしたが、見えなくなつた小判は、どこからも出て來ないのだつた。

「いや、小判十枚と申せしは拙者の誤り、さる方へ支拂ひ致し九枚なりしを失念致し……」

捨てても置けないので峰次郎は、かう事もなげに云つて見たが、一座の空氣は少しも輕くならなかつた。

「浮世とは申せ、拙者は今夜この場にて、身を果てやうとは思ひもかけず……なれど拙者、確に小判一枚所持仕る」

不意にかう大聲を出したのは孫太郎である「……いや／＼、金子の出所は惜しうは御座らぬ。拙者の所持致す德乘の小柄を、一兩二歩にて所屋に賣り申した。なれど折が惡う御座つたわ。云ひ解く術の無きこそ無念……」

そして、そろ／＼前をくつろげ初めたのである。

「浪人なりと云へど、小判一枚所持致すまじきものでも御座らぬ。先づお待ち下され」

孫太郎の右手を押へた峰次郎は冗談らしく云ひ續けた「……現に拙者ですら十枚、いや、九枚を所持致してる位では御座らぬか」

「かたじけなし……なれど、ちようど一枚所持致す事こそ因果…」

につこり笑つた孫太郎は、輕く右の手を拂ひ除けると、靜かに小刀を抜き放つた。

先程から觀之助は、この場の有様に、他人事ならず氣をもんでゐたが、焦つたい程いい考へが浮んで來なかつた。もさ／＼紛失した小判一枚、孫太郎の懐中から出た小判一枚、それが解決されない上、どうしたつて治まり様はないんだけど――。

孫太郎は今や正に腹を切らんとした。とたん！觀之助の心に浮んだのは、芝明神の境内に於て、旗本武士からせしめた小判である。

「おや、小判が御座つた！小判一枚！」

觀之助は突立ち上ると、その小判を右手に振りかざして、いきなり叫んだ。いや、叫ばざるを得なかつた。

間一髪、孫太郎は危い所で生命拾ひをしたわけであるが、主人の峰次郎もほつとして、さつそく觀之助から小判を受取ると、大急ぎでそれを片づけてしまつた。

「あの、小判が、お重箱のなかに……」

この時、近所に買物に行つてゐたお絹が、かう云ひながら顔を出した。

「やつ、何と申す？」

峰次郎は事の意外に驚いて、思はず茫然として了つたのだつた。

――以上は、慶安三年の秋、即ち由比正雪一味の謀叛が露見するより、ほんの少し前の江戸世相を片鱗的に示したものなのである。

なんせんするーむ

忠實な下僕

「花子さん、今夜は僕、あなたにお暇乞ひに伺つたのです。僕は僕、今夜突然御縁を決定したものですから」

「さう、それぢやお體に氣をつけてね」

「あ、有難う。そしてですね。僕はたとへあなたの愛を得ることが出來なかつたとしてもですね。常に常にあなたの忠實なしもべとして、何なりとあなたのお役に立ちたいと思つてゐます。どうぞ、必要な場合には、おつしやつて下さい。それでは、お名殘惜いですけれど、これでお別れします。さやうなら」

「ま、ちよつと待つて下さい」

呼び止められた彼氏、緊張な希望の色を浮べて立佇つた。

「何なりと私のためにして下さるといふお言葉に甘へて、済みませんが、戸外へ出たらこの手紙をポストへ入れて下さいませな」

拳闘家の安眠法

近頃日本でもひどく拳闘が盛んになつて皆さんも御存知でせうが、打倒されて一から十まで數へる間に起上れないと、これがノックアウトで、完全なる敗北です。

さて、ある拳闘選手が醫師を訪れて

「この頃どうも僕は不眠症に罹つたやうでなか／＼寢つけないのですが……」

「ははア、それはいかんですな。それなら睡藥よりも寧ろ自己暗示をおすゝめしたいです。不眠症といへば神經的なものですからな」

「で、自己暗示と云ひますと？」

「先づ仰向けに寢て手足を伸ばすです。それから一から十までをゆつくり數へるのですな」

さてはこの醫師、この拳闘選手がしばしばノックアウトされるのを知つてゐると見えるです。

消えぬ燭蠟

ある山奥から都會見物に來た親子があつた夜になつたので宿屋へ着くと、室へ案内した女中が電氣のスヰッチをひねつた。ぱつと電燈がついた。電氣といふものを使用したことのない親子は吃驚して顔を見合せた。

「おい見たか見たか。點いたはいいが消すには容易ぢやあんめえ」

「なアに父さん、心配する事はねえさ」

と息子は頼もしげにいつた「俺は村一番の消防夫で、メダルまで貰つた事があるんだ。俺に委せておきねえ」

やがて寢床に這入ることになつたので、息子は一生懸命電燈を吹き消すために息を吹きかけた「おつそろしい蠟燭もあつたもんだ夜ぢうこんなに點いてゐたんぢや火事が起るにきまつてらア」

そこで息子は部屋にあつた土瓶を探出し、口に一杯水を含むと、夜もすがら電燈に霧をふきかけてまんじりともしなかつた。

献立

	朝	晝	晩
日	味噌汁（豆腐、ねぎ）菠薐草花かつをかけ	トーストパン　林檎　紅茶	サハラのすきやき（サハラ、春菊、松茸、葱）千枚茄餅　奈良漬
月	味噌汁（小松菜）昆布佃煮　たくあん	鹽鮭　大根の一夜漬	御清汁（松茸豆腐）鶉照燒
火	味噌汁（蜆）煮豆	野菜の煮附け（里芋、牛蒡、人參、かんぴよう）たくあん	ほうぼう、もやし、煮附け　白和へ（枝豆、コンニヤク、大根、人參、豆腐）
水	味噌汁（大根、油揚げ）おさし玉子　胡瓜のぬかづけ	秋刀魚の鹽燒　粉ふき芋	すき燒鍋（牛肉、葱、支那素麵、玉葱、もやし、春菊）林檎の黄味酢和へ
木	味噌汁（さつまいも）鯛のでんぶ　白菜柚子漬け	いり卵の花（うの花、油揚、もやし、麻のみ、人參）	御清汁（ほうぼう、豆腐、春菊）野菜のかき揚げ（さつまいも、人參、春菊、松茸）
金	味噌汁（小松菜）海苔の佃煮	味淋ぼし　白菜の柚子漬け	綿牛蒡、鳥の清汁　燒松茸の柚子酢
土	味噌汁（里芋）らつきよう　たくあん	いさご煮（小豆、里芋）南瓜漬物	魚團子の揚物　御清汁（ハンペン、菠薐草）

うづら照燒

うづらを下拵へして二十分位むし、鍋に醤油二、味淋一の割合にした汁の中にむした汁を加へ、先のうづらをその汁の中で充分煮て炭火で一寸あぶり前の煮汁をてりにして一、二回つけてはやく。

鶉のすきやき

すきやき汁で鶉を煮やわらかになつた處に鍋を入れて煮た後松茸春菊などを入れ

……ゆ少々をまぜそれを茄子の間にはさんで衣をつけてラードを溶かした中でからりとあげる、衣は粉子少々とメリケン粉、玉子、鹽少々加へてかきまぜて普通のてんぷらの衣のやうにしておく。

魚團子の揚物

魚のすりみに玉子の白味を割り込み粉子と鹽少々入れてかきまぜ團子にまるめてラードで揚げ、別に醤油、酢、砂糖、だし（甘酢位にして）をまぜて煮立てた中に粉子を少々加へてドロリとした處に前の團子を入れてまぜる。粉子は水溶きにするないときは片栗粉でよろしい。

白菜の柚子漬

白菜と柚子をまぜ鹽をふつて桶つぼ等に輕くおしをしてつけて二、三日後に食する（大連神明高等女學校五年生）

今週の歴史

十月九日……義貞北國を經略す（延元元年）始めて東京に中學校を設く（明治三年）
同　十日……日本銀行創立開業（明治十五年）沙河の合戰（明治二十七年）
同　十一日……アントワープ陷落（大正三年）全國の勞働事業調査を行ふ（大正十五年）
同　十二日……僕人芭蕉歿す（元祿七年）國會開設の詔勅降る（明治十四年）
同　十三日……明治天皇東京遷都（明治元年）戊申詔書降る（明治四十一年）上海副領事清水亨氏自殺す（昭和五年）
同　十四日……後白河法皇義仲に平家を討たしむ（壽永二年）聖上東京物理學校へ五千圓を御下賜遊ばさる（昭和五年）
同　十五日……南洲、月照と海に投ず（安政五年）神奈川堤防竣工式工費六千三百四十萬圓（昭和五年）

十月九日　南支方面の排日態化したゝめ待機中の佐世保所屬艦常磐は森少佐指揮の特別陸戰隊四百名を乘せ午前二時出動命令を受け上海に急航す

十月十日　双十節を期して上海抗日救國會はわが同胞を襲ひ十數名を負傷せしめたが、急報によつて陸戰隊は裝甲車で急行し、暴民を四散せしめた▲吉林各縣長は張學良、張作相の打倒を協議し、若し彼等が歸來するが如き場合には自衛手段を執ると決議す

同十一日　午前十一時四十分大連伏見臺に新築中の羽衣女學校々舍崩壞し、三十餘名が生埋めとなり、壓死しさながら生地獄を現出す▲錦州事件に關し我が陸軍當局は全く自衛上の應戰にして國際法上適法なりと聲明書に說明を發す

同十二日　天津駐屯軍第二團兵舍前は中央停車場附近にて支那兵の衛兵三十名のために包圍され、大暴行を受け、全治二週間を要する負傷を負つた、特に對し我が駐屯軍川本參謀は決死の覺悟を以て側面の鳩を携へて王樹棠と會見し嚴重抗議したところ、案外にも王は直に非違を陳謝し、圓滿解決を願ひ出でた▲蔣介石は國民政府記念週に於て若し日本と戰へば充分に勝算ありと演說す

同十三日　支那一帶の排日運動化以來突軍港は頗る緊張してゐたが俄然第三艦隊に待機命令下り俄に慌たゞしさを増した

同十四日　午後三時頃大連市内惠比須町土木課倉庫に於て姑娘七ケ月の佐藤いその（二）が殺害さる、犯人逮捕されず▲聯盟理事會はいよ／＼ジュネーヴに於て開催されたが、十二ケ國代表出席し、佛代表議長となる日支兩國代表の大論戰は開始された

同十五日　黑龍江軍は平和裡にチチハルに入城す▲東北各省の連繫成つて省統帥機關成立の噂立つ

滿洲日報
十月八日發行
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

從來の主張を強調し堂々の陣を張る
意見書の根本方針決定

【東京八日發】リツトン報告書に對する帝國政府の意見書を作成する外務、陸軍、海軍三省聯合委員會第一回會議は七日午後七時より外務次官官邸で開會外務省より松岡洋右、谷アジア局長、守島アジア局第一課長、柳井同第三課長、陸軍省より山岡軍務局長、鈴木、原兩中佐本間新聞班長、參謀本部より永田第二部長、松本歐米課長、大木戸支那班長、武藤第四班長、海軍省より寺島軍務局長、豐澤軍事部長、島田軍令部第三班長等參集、先づリツトン報告書意見書起草に關する三省の方針案に基き意見書の骨格を如何なる方法で起草するやの根本方針につき審議の結果、三省の折衝案は大體意見一致してたので意見書は左の根本方針に基き作成する事に決定した

リツトン報告書に對する意見書は從來帝國政府が内外に主張してたものを更に強調し最後まで邁進邁進する方針で進むが之に對しては飽迄大國の襟度を示し全體的に正々堂々の陣を張つて姑息の態度は執らず世界の何國にせよ若し彼等が我國の立場に置かれたる場合は眞にその軌を一にするものにして從來我國の取りつゝあつた態度は妥當公正なるものにして致し方ないであらうと云ふことを認識せしめる

に決定し午後十時三十分散會、なほ次回會合は各省で材料を蒐集整備する關係上十二日開會する豫定である

全般的部分起草着手

【東京八日發】我意見書作成に關しては外務省亞細亞局守島第一課長が起草主任となり軍事行動以外の部分で外務のみで作成出來る部分については既に起草を始めてゐるが七日の聯合協議會で軍部側の意向が決定したので、直に意見書の全般的部分に亘り亞細亞局員の手で起草を進むる事となつたが、尚今後軍部側と連絡を取り極力起草を急ぐ事となつた

滿洲問題よりも内政統制が急務
蔣介石の時局方針

【漢口七日發】蔣介石氏は元外交部長王正廷を招きリツトン報告書に關し王の意見を徵したが、來るべき國民政府改造に當り王が外交部長に返り咲きする説が有力となつた、蔣は會談後王に語る

滿洲問題に關する今後の對策に關し採料はロシアとの連繫を主張してゐるがそれは考へものである、支那の信頼する國は英、米を措いて他に無い、何れにせよ國難來の際國民は先づ第一に内亂を終熄して然る後滿洲問題に取りかゝるべきである、支那は今は滿洲問題をまさともに全力を擧げて當り得ぬやうな國内事情に在る事を國民は自覺せねばならぬ、空理空論を喚し支那の生存を最も眞面目に考慮する事が必要である、滿洲を放棄せよとはいはぬが兎に角一切を後廻しにしなければ支那は自滅の外はない

聯盟は饒舌の出店だ
丁士源氏語る

【東京八日發】聯盟總會を前にして滿洲國の力強き存在を列國に認識せしむべく渡歐せんとする滿洲國外交部顧問丁士源氏は目下日本朝野方面の諒解打合せに奔走中だが十四日愈々離京シベリア經由出發する、氏は語る

聯盟は饒舌の出店に過ぎない之を眞劍に考へる必要はない自分は今度の旅行では大國よりは寧ろラトヴイヤ、エストニア、スイスの各政府と會見し滿洲國存立の意義を説明諒解を求め反省を促したいと考へてゐる

鮑觀澄代表
明治神宮に參拜

【東京八日發】滿洲國駐日使節鮑觀澄氏は八日午前十時隨員を伴ひ明治神宮、靖國神社に參拜滿洲事變に犧牲となつた我軍將士の靈を弔つた後愈々公式の活動を始める筈

十河滿鐵理事
けふ海路東上

日滿經濟統制問題その他につき政府當局と種々打合せの爲八日飛行機にて上京の豫定であつた滿鐵理事十河信二氏は豫定を變更し八日出帆うすりい丸で急いで内地へ向つた、埠頭には山崎理事等滿鐵社員多數の見送りがあつたが、船中簡單に左の如く語る

日滿經濟統制や商事部關係の事で中央當局と種々打合せたい事があるし、外に少しでも早く上京したい事があるので飛行機で行く筈だつたが工合が惡いので船にしたのだ、所用を果したら廿五日迄には歸りたいと思つてゐる

增税問題でけふ三相重要會合
軍部の意見に基いて

【東京八日發】來年度豫算は我國財政上未曾有の大豫算となるべく豫想され公債發行のみでは到底困難なりとして荒木陸相は七日の閣議會後三土鐵相と會見增税を力說、鐵相は八日午後目下…

軍部の財政計畫

【東京八日發】現時非常時財政々策の根幹を爲すものは實質的インフレーションを約束する公債政策一點張りであることは明瞭な事實であるが

一、赤字公債の三億二千萬圓
一、滿洲事變費の二億五千八百萬圓
一、非常時豫算としての陸軍及び海軍の八年度豫算各五億圓
一、赤字公債利拂ひの三千萬圓
一、昭和七年度の公債發行額八億圓

等の實情より見る時、最早公債政策を以て國家財政の整調を期待することと絶對に不可能の狀態に陷つてゐる事は明瞭であるからとの見解に基き七日の定例閣議後、荒木陸相の非常時財政計畫樹立提唱となつたのであるが、その具體的提唱として陸軍側では左の如き考慮材料を整備してゐる

一、現今の社會情勢に鑑みて有產階級に對する增税
一、決算剩餘金の不當產貸防止
一、日銀引受公債利拂の廢止（能はずんば最高三分迄承認）
一、官營事業の擴大強化に依る國庫增收の實施
一、保險の國營
一、電力國營
一、日滿經濟統制
一、行政費の合理的節約

大體以上の如くであるが、本問題の中心は軍部が自ら信ずる非常時の實相に鑑し國家救濟の一念に危き高橋を排して邁進せんとするところにある

に評議中の高橋藏相を訪問する事となつたが、八日岡田海相も海軍豫算に關し齋藤首相に諒解を求めるところあつたので首相も八日午後起き首相、藏相、鐵相この間に來年度豫算特に增税問題に關し重要會合が行はれることになつた

增税は控へたい
高橋藏相葉山で語る

【東京八日發】明年度豫算編成に關し不足歲入の補充を赤字公債でするに政府の方針は大體決定したが、一方時局に鑑み軍部その他の方面に增税の主張が傳へられてゐるのに對し從來屢々增税政策の意思なきを表明した高橋藏相は七日午後葉山の別莊で往訪の記者に左の如く語つた

軍部方面で增税の主張が取沙汰されてゐるが、自分は未だ非公式にも相談を受けてゐない、時節柄とて直接税殊に所得税や相續税の税率引上げについては考慮してゐるが所得税中第五萬圓以上の負擔者は極めて限られてゐる、それ以下の中產者は打續く不況のため擔税能力が薄いから增税實施は控へればならぬ、政府の低金利政策とも矛盾する臨時議會を開いて國民に非常匡救せねばならぬ重大な負擔をさせる事は意味を爲さぬ、明年度軍事費豫算が尨大なる額に達してゐるとは聞いてゐるが、國際情勢が時今の通りだから軍備の充實は必要が豫算編成上充分考慮する、こんな形態では誰が財政の衝に當つても公債によるの外あるまい

馮玉祥再起か泰山から愈よ北上
武力を以て失地回復
馮玉祥車中談

【天津特電七日發】泰山に隱遁中の馮玉祥は再起の望みありと見て愈々北上に決し韓復榘、石友三等の見送りを受けその乘用列車は七日朝濟南を發したと、而して馮の代表は七日北平軍事分會委員その他と會見してゐるが、馮玉祥が何處に落ちつくか目下のところ不明であるが宋哲元の許に乘込むのではないかと觀られてゐる

いては既に韓復榘、學良間に充分打合せあり韓より手切金を與へてこれを敬遠したもので學良も亦平綏鐵路局に命じて萬端の便宜を圖らしめて居る

【天津特電八日發】馮玉祥は七日午後十時五分于學忠、王一民その他舊部下の出迎へ裡に到着約一時間に亘り各方面と挨拶し十一時十五分專用列車で北平へ向つた、馮は車中で語る

今回の北上は別に政治的意味は無い山東の事變は意外だ、國内不統一の原因は軍實力者の對峙の結果に依るものであるリツトン報告書に國民は特に注意しなければならぬが中國を救ふ唯一の途は武力を以て失地を回復するにある

なほ馮は張家口に留まると云つてゐるが、更に察哈爾に赴く模樣である

張家口へ向ふ

【北平八日發】今朝着平せる馮玉祥は當地に下車せず直に平綏線に乘換へて張家口に向つた、なほ王以哲學良代表その他の見送りを受けた

一時隱遁の目的か

【天津八日發】馮玉祥は諒言盛んに隱し窃ろに出馬の期を俟つと折柄一時世間の注意を避けて息がある、なほ馮の北上につ…

軍警合同警備會議
けふ奉天ヤマトホテルで開き
武藤軍司令官訓示

在滿機關統一後最初の軍警合同の警備會議は八日午前十時から奉天ヤマトホテルにおいて開催された關東軍より軍司令官、小磯參謀長、岡村參謀副長、憲兵司令部は林警務局長、森本警務課長、立川奉天署長、全機部から川越首席理事等總て二十名出席の上滿洲の治安維持に關する具體的審議をなすところあつたが、開會に先だつて武藤軍司令官は一同に對し左の訓辭をなした

茲に我全滿警備機關の首腦を召集し本會議を開催するに當り本職の所懷の一端を述べ…

内地人の對滿洲認識は未だ不足
貴族院議員倉知氏談

貴族院同和會の倉知鐵吉氏は日滿協會主事關根齊一氏と共に八日入港ばいかる丸にて來連したが氏は毎年一回位は來滿し貴族院における滿蒙通として知られてゐるが氏は語る

貴院の調査團が來滿するが私は殆んど毎年滿洲に來てゐるし一行と一しよだとどうも自分の見たい處、調べたい事も充分にその自由をもたぬので別に來た、然し滿洲事變後の滿洲は知らぬので

滿洲問題　の喧ましい時に事變後の事を知らぬでは相濟まぬ因で一度ゆつくり調べて見たいと思つてゐる、私は滿洲の事情をよく知つてゐるだけに今内地で徒らに滿蒙熱に煽られてゐる連中から見ると悲觀論者であるといつても遊覽旅行者の傳へる悲觀說には首肯出來ない、要するに滿洲に對する認識がまだ〳〵内地の人々は不足で例へば移民にしても武裝移民の如く試驗的なものは先つよいとして、徒らに内地農村の救濟策として直ちに滿蒙移民を獎勵し兼ねる、もつと〳〵研究の餘地があり、充分の特殊な事情の認識を得てからでなければならぬ悲觀する事はないが現在内地人の考へてゐる事は

尚早論で　あると思ふ、リツトン卿等報告書に對する日本の態度は朝野一致した強硬論でその力強さを嬉しく思ふが聯盟調査團の報告は餘りに英國々々しく日本の考へてゐた事とは餘りに掛け離れてゐるだけに問題にならない、滿洲を小さな國と一緒に考へてゐる處に既に大きな誤謬がある、恐らくわが政界人の何れもが餘りの英國々々しさに呆れてゐるであらう、明年度豫算が二十四億に達し新規事業費の要求も各省共に殊に陸海軍の軍備費の要求が莫大な額に上つてゐるが、これは要求額であつて軍備費と雖も充分折合ひがつくと思ふ、陸海軍の要求は從來…されてゐた軍備を短年月の中に完成したいといふのだからその點周圍の事情、

對外的の　…に依り…し得るものもあらうから相當安協點は見出し得ると考へられる

なほ同氏等は大連ヤマトホテルに二泊の後今月一杯各地を視察の筈【寫眞は倉知氏】

マツク首相等の復黨排撃

【レスター（イギリス）七日發】勞働黨は本日年次大會を開催し席上マツク英首相、スノーデン前國璽尚書、トマス自治領相その他議員の復黨を絶對に排撃し彼等が勞働黨の爲に行動してゐるとの主張を拒否する旨の決議を可決した

聯盟最惡の場合の我海軍の方策
（1）
海軍大佐　中村重一氏講演

七日協和會館において開催した「講演と映畫の夕」に軍艦□□艦長中村重一大佐の爲せる「來る國際聯盟總會において最惡の場合（脫退する）我海軍の方策」と題する講演要旨は左の如くである（文責在記者）

唯今御紹介下さいました中村海軍大佐であります。私は唯今艦長の職者を命ぜられまして軍艦□□に乘艦御當地方面に停泊して居つて居るものであります、從つて艦長といふものは御承知の通り夜は艦の保安の爲に艦橋に居りますし晝でも相當に忙しい仕事がありまず、上陸を致しますと歡迎會とか色々な御馳走がありますから巳むなく之も艦長の稽古だと思ひまして料理屋に參つたりします。

その上に私が御當地のこの御催しについて何か話をするやうにといふ事を艦長からいはれましたのは、私が東京を發つて來ました九月二十八日の日でありますが、その整理から艦が出ましたので一向準備等もありません、若しかういふ御企てがあり又皆さんの御承知の通りのやうな實地について何かを申上げるといふことになりますれば、東京邊で夫々有數の方にでも御會ひなして、さうして具體的の事柄を承つて來て御傳へすると非常に良かつたと思ひますが、無線電信で滿洲日報社から「帝國海軍の方策について」の質問があつたが、どうやりますか」と海軍大臣に御尋ねする譯にも行きません、巳むを得ず甚だ御不滿足とは思ひますが私の個人的私見、之を今晩は極簡單に申上げて御許しを願ひたいと思ひます、今夕は態々雨が降りまして非常に出憎い折角斯く多數御來會下さつて而も私の樣な貧弱な者が御演說を汚すと事は非常に恐縮の至りに堪へると共に誠に感銘の至りであります。

…

人事

竹田鶴吉、齋藤國松、吉村英吉阪神電急重役岡宮太郎、佐野家
▲豐田久二氏（千葉醫大教授）八日午前七時入港ばいかる丸にて着連
▲西川軍吉氏（西川甚五郎商店店長）同上
▲堤光芳氏（國政研究會主事）同上
▲倉知鐵吉氏（貴族院議員）同上
▲小野諒兒氏（札幌帝大教授）同上
▲關根齊一氏（日滿協會主事）同上
▲國貫主氏（兵庫縣參事會員）同上
▲大久保直次郎氏（同上）同上
▲藤木守雄氏（同上）同上
▲加藤德雄氏（日滿□□重役）同上
▲遠藤音彌氏（帝國在郷軍人會本部員砲兵大佐）外武裝移民團一行四百十六名同上
▲埼玉縣教育視察團一行二十名は八日午前十時出帆うすりい丸にて…
▲大阪淀川區小學校長視察團一行五名　同上
▲十河信二氏（滿鐵理事）八日午前十時出帆うすりい丸にて内地へ
▲安宅武氏（特產協會々員）同上

蛇の目

所澤飛行學校の新京往復滿洲訪問飛行、九機翼を並べて八日…

滿蒙の戰慄（121）
直木三十五作　淺枝次朗畫

百日咳　小兒咳嗽藥　チミツシン

冬の婦人コート

柄や色合ひは全體的に派手 曲線美を發揮させる

冬 の婦人コートといへば從來は純然たる防寒用として着られたるために殆ど無地物のなるべくボッテリしたものが歡迎されてゐましたが近年一般婦人の服飾に關する鑑賞眼が高くなるに從つて冬のコートも防寒用としての外に服飾品の一つとして見られるやうになり昨年あたりから目立つて柄や生地の上に或は型の上に留意されるやうになつて來ました

先 づ柄、色合の方面から見ますと全體に派手なものが出て來た事です、といつても決してケバケバしたものでなく明朗な色合に柄は碁盤目の縞柄を基調としてこれに斜の縞柄を交錯させたものも相當見えます、色調は冬のものですから勿論暗色が大部分で紺、茶の系統が多く同じ濃茶の柄でも濃茶一點張でなくて赤黑、鶯茶、橙それにグリーンといつたものを織り交ぜて濃茶の調子を出すといふやうな調子です、ですから全體的には明朗な派手な色調であつても近くで見るほど濃くて深みがあり着て落着きのしないものが歡迎されてゐるのです

地 質は厚く堅い物より薄く軟かなものでよろしく、厚手のものであつても必ず軟かなやうに組織の上で苦心されてあるやうです、つまりコートが婦人服飾美の一要素をなすやうになつて來て必然的に色調や柄が華美になると共に着た時の容姿の如何が問題になり地を薄くやはらかにして成るべく曲線美を現して從來のコートの不恰好なずんぐう型から再び併せて和服のみが持つ裾さばきの美をも遺憾なく發揮しやうといふわけです、しかし薄いといつても嚴冬の時季に着るものですから滿洲では矢張り純毛でせう、最近流行だけで織つたのや綾毛の

コート地も隨分立派なのがありますが縞が交つてゐますさうしてもよごれ易くもちもわるく見た感じもシャリシャリして到底滿洲の冬のものではありません

今 年の流行地は軟かさと見た感じの上品な點などからスコッチがそれに類した生地が全盛を來すでせう、型は肩の線をやはらかく見せる爲に洋服の型をとり入れたラグラン型が壓倒的な勢力を來しました、コートの中で最も凝り甲斐のあるのは何といつても襟の形で日本髪にふさはしい瑞穗襟、千代田襟、都ぶり等の他に今年は思ひ切つて新しい劍襟、へちま襟など洋服の型そつくりのもの或は襟の部分にラビットか何かの毛皮をつけて寒い時には立て、首筋で留めるやうな型のものも若いハイカラな方に歡迎されませう

し かしどんな柄も色合も型もすべての婦人に似合ふといふものはありませんから新調なさる場合には個人個人の身長、肉附、肌色等それぞれその人に應じて選ばねばなりません、一般に色の白い背のすらりとした方ならば寄系統のものも引立ちますが肥つた方には茶か橙系の地色が無難です、單にいゝ柄とかいゝ色合とか品物ばかりに惚れ込まずその人の生地で作つたコートが果して自分によく似合ふかどうかを充分お考へになつて新調される事が何より大切です

最 後に今年の大體の相場を申しますと紋バレス總裏附仕立上りがスコッチキードで二十五圓から五十圓、ベロアコーデイング地が二十圓から四十五圓、ウールオールセック地が二十圓から四十圓、ラクダ地、シール地、シホン地は共に五十圓から八十圓見當です(勝又洋服店調べ)—寫眞は今年の新しいコート—

女性の權利擴張

◆…司法省では現行の辯護士法は辯護士の地位向上その他の理由に立脚して、是非とも改正を加へる必要があるといふ見解の下に、改正辯護士法をこの次の通常議會に提案しやうといふ方針に省議が決定し、目下改正案の作成を急いでゐます

◆…この改正案には婦人も辯護士として法廷に立つことが出來るやうになつてゐます、つまりこの改正案の議院通過は現代婦人の新登龍門を開くこととなるのですがこれは單に新らしき職業が婦人のために作られたといふ意味ばかりではなく、全婦人の權利擴張のために眞に喜ばしいことであります

◆…從來婦人の被告事件に關しても、他の事件と同樣男の辯護士によつて辯護が行はれてゐました、それが今度からは女性の心理をよく解へた同性の辯護士によつて辯論されることになれば女性被告にとつて非常に有利有效な辯論が行はれることとなり、同時に民事の場合などは優しい女辯護士の居中調停によつて圓滿に解決がつく場合が多いことゝ思はれます

◆…更にゆくゆくはかうした女子職業の第一線より女權擴張が叫ばれ、女性の權利が法律的に解放されるものと思はれます、婦人辯護士の出現はこれらの點より大いに祝福すべきものと考へられます

家庭顧問

四つの男兒ですが夜眠つてゐて鼻血を出す

【問】今年四歳の男兒ですが昨年あたりから何もしないのに時々鼻血を出します、最近は夜眠つてゐる間に鼻血を流してゐる事も度々あります、何か病氣でもあるのでせうか、適當な療法をお教へ下さい(八重子)

幼兒の鼻血を出す原因は多い、早く治療なさい

森本辨之助

【答】三四歳の幼兒によくあることで、これにはいろいろな原因があります、アデノイド(腺樣增殖症)がもとで鼻の入口(鼻前庭)に炎症を起しますとその部分がたゞれたり、切れたり、かさぶたが出來たりして痒かつたり緊張感があつたり、鼻がつまつて呼吸が苦るしかつたりして不快なため子供が始終鼻をこすつたり指をつゝこんだりして鼻血を出すのです、殊に夜睡眠時には鼻の入口が乾燥甚だしいので睡つてゐる間に知らず知らず鼻をいぢつたりかさぶたをはいだりして血を出すことが多いのです、幼時には又紙片だのゴムだのを鼻の中に入れて鼻腔内を傷つけ出血することもあります、この場合に鼻の中が非常に臭いから注意してゐればわかります、この外ヂフテリーが鼻について出血することもあります、これは咽喉とちがつて一二日輕い熱が出る位であとは水ばなが出て時々血が混じり、慢性になると恰度鼻前庭と同じ樣な病狀を現はし何時までもつゞいてよく血の混じつた鼻汁を出すのです、これ等の病氣はあまり再々出血するやうでしたら放つておけばいろんな害があります、ことにヂフテリー性のものですと他に傳染しますし、若し咽喉にでも來ますと咽喉ヂフテリーとして生命をおびやかすこともありますから油斷出來ません、この他急性傳染病や心臟や血管やのぼせ性や便秘する子供、又衣服の襟が窮屈だつたりかたくて高かつたりするために頭部に鬱血を來し鼻血を出すこともあります、で外から見て鼻に故障のある人は耳鼻科に、原因がわからなければ小兒科醫に診て貰つて早期に適當な治療法をお受けなさい

秋の食慾を唆る乾魚や鹽物

これだけ覺えて求めれば間違ひありません

フグの乾魚が夜寒の露店にお目見得するけふこのごろ、なんとなく乾魚や鹽魚に食慾を唆られますがこれから市場に出盛る美味しくいたゞける數々のお魚をご紹介いたしませう

◇

最近館にウルメの丸干が多く出ました、それに鰈干、小鯛の開き、カマスの乾物、開き鰯といふのが比較的に多くでますが乾魚の中でもサヨリ、フグといつたお魚は上等の方です、鹽ものとしては鱈、紅鮭、鰊、新巻鮭、ブリ、サンマといつたものが出ますが鹽物で美味しいものは何といつても北海道北見の新巻鮭でせう、そのほか燒アユが出ますがこれは一度燒直して三杯酢に浸けますと美味しく頂けます

◇

でこれら乾魚、鹽魚なども充分注意をして求めませんと古いのをつかまされます、これはまづい許りでなく場合によつては中毒することさへありますから素人の方は次の樣なことを覺えてもとめましたら間違ひありません

◇

新鮮な魚を乾し又鹽したものは魚全體に生々した艶を持つてゐるもので古いものには艶がありません、次に油がまはつて色がついたものは日數を經たものです、それにカビが生じてゐるものは勿論いけません、特に鹽物で肉が硬くなつたものは日數を經たものです(古くなるほど肉は硬くなるのです)肉は柔かく脊が丸く肥えてゐるのがおいしく、鱗はキラキラ光つて鹽が黄色に變色せず白色をしてゐるものがよく、又食べて見て舌を刺すものはよくありません、鹽は比較的にあま鹽の方がよいのです(信濃町京和洋行調べ)

滿洲婦人歌壇

山崎かすみ

○ 灯を下げて玻璃戸にうつろ自が影にほゆる小犬を抱き上げにけり

○ ひさり言いひつつ人の過ぎゆけり路地には宵の灯小暗し

○ 降りやまぬ永き一日や籠鳥の貴さや毛深くぬれそばち居り

○ 森下の夏草早や伸びたりてみのりゆたかに打ちなびきたり

○ 思ひ出の夢に來りても言はぬ背子は幼なきままにそありける

腰線美も鮮か

チヨツキそつくりの半コート

ゼントルマンのズボンがダブダブのセーラーパンツになるかと思ふと、おしとやかなレディがシングルカットにヒヂヤマの裾をヘラヘラと翻して大道を濶歩する今日です。男子の服飾が婦人に近づくにつれて、女子もまた遠慮なく男子の服裝の域を冒さうとします。平凡に飽きて何かしら新しきものをと追求する婦人方に男子の三揃ひのチヨッキにそつくりのこのハーフコートは如何でせうか、生地は今秋あちらで壓倒的な流行を見せてゐる黑のベルベット、腰を思ひ切りキユッと締めて腰線美を遺憾なく發揮しやうといふのです、ドレスで稍肌寒いし外套も重たいしといふこのごろのプロムネードに格好でせう(中山婦人子供洋服店調べ)

急性トラホーム

最近兒童の間に流行 早く手當すれば治りやすい

このごろ兒童の間に急性トラホームが增えて各校とも衛生婦は洗眼に大童ですが、なぜ急性トラホームが流行し出したか、その手當はどうすればよいか、左に安倍醫師のお話をお傳へしませう

最近兒童の間に急性トラホームが流行してゐるといふのは、もとく細菌をもつてゐたところに運動會やその他のスポーツによつて塵埃が入り、それが誘因となつたものが多い樣です、これも手當さへ早ければ治りやすいのですからそれと判つたら速かに醫師の手當を受けることです これはまた非常に傳染力が強いのですから患者の使用した物は絶對に區別して置く必要があり患者はもちろん達者なものでも患者の物に觸れたら必ず手を消毒することです、消毒液は昇汞水でもリゾール液でも差支へありませんが、これで一寸洗つた位では不完全ですから面倒でもその後で更に手を石鹸で洗ふ必要があります、そして患者は醫師の命令に絶對服從して五十倍のホーサン水で一日に何回となく洗眼することです

高砂會秋季謡會

高砂會では來る九日午前九時から「ほてい」で秋季謡會を開催するが、番組左の如くである

▲素謡 三輪、清經、野宮、松虫、花筐、俊寛、定家、景清、砧、遊行柳、葵上▲仕舞 鳥追船、玉の段、山姥、松風、忠度、女郎花▲獨吟

曙の鐘（481）

倉田潮　河野想多畫

毒盃（四）

寢臺の下から人の手がのびて、あけみの持つてゐる酒器を奪ひさつたのに、壯三はギヨツとして跳び上つたが、あけみは氷のやうに冷靜だつた。右手をあげて、壯三を制しながら、

「靜かに」と低く云つて、それから輕く寢臺を叩いた「平津さん、もうい〻加減で出ていらつしやいよ」

寢臺の下から平津が悠々と這ひ出して來た。彼は署長の犠牲的同情で再び此の世に出て來ると、その夜の中に例の道具の力をかりて、五階のあけみの部屋に忍びこんで、今まで秘密をあばかうとして待つてゐたのだつた。

壯三は平津の顔を見ると、暫くなつて顔へ上つたが、あけみは眉毛一つ動かさず、元のま〻寢臺に横はつたま〻、

「平津さん、今差しあげた小箱の中に、一切の秘密が書いてありますよ」と寂しく笑つた「それがあれば今度こそあなたも完全に満足なさるでせう」

「満足します」

と平津は落ちついて側の椅子に腰をおろした。すると、あけみは靜かにまた盃を取りあげて、

「私、こんなに早くこの秘密をあなたにもらすつもりではなかつたのですが、この頃急に世の中がいやになつて來ましたのよ。つまり歡樂の涯の厭世を感じて來たのですわれ。で、私、つひ今夜あなたと壯三に秘密を漏らす氣持になつたのです。兄さん、そんなに心配しないでおかけなさいな」

壯三は腰かけたが、まだ十分心が落ちつきかねてソワ／＼してゐた。あけみは言葉をついで、

「平津さん、私、自然に死ぬと云ふことは元から大嫌ひなのですわ。自然死には自己の心が少しも働いてゐない。誰にか殺されるも同然ではありませんか。ゲーテはこの地球が生き物であることを信じてゐました。そして、ギリシヤの詩人の中には、宇宙の星は皆生物で、人間を牧畜し食物を與へてこれを殺し、己の體内に埋めさせて芽を萌らせるのだと歌つたものもありますのよ。だから西洋人は人類によつて地球を郷にして、地球と云ふ生物に食はれないやうに天にあげてしまふと聞いたこともあります。とにかく、私、自然死は自己の意思の全く働いてゐない死に方は嫌ひなのです。ところがこの頃、私、戀を追かけ歡樂をつくしてゐながら、ブルジョアのアンニュイからなのでせうが、ほと／＼世の中に飽きて來ましたのよ。で、自殺……」

と云ふと共に、あけみは盃を手にしたま〻、白い敷布の上にごつと血を吐いて顫え初めた。小箱と共に部屋の隅から持ち出して來て飲んだのは毒の盃だつたのだ。

「あけみ」と壯三は妹に取りすがつて「お前、死ぬ氣であんなことを俺に打ちあけたのか。あ〻、何な」

「兄さん、靜かになさい」とあけみは落ちつきはらつて口の血をふき取つてから「死は誰にも一度はわ來るものです。見つともないから騒ぐのはやめて下さい。私は自分の意思に從つて、自分の身體を自然に勝つて死んで行くのです。で、寧ろ私の死に祝盃をあげて下さい」

「さすがにい〻覺悟です」と平津は初めてニツコリと笑つた「今迄あなたを讃めなかつた私が、今夜ばかりは一言あなたを讃めて上げませう。たとへ何んな惡いことをして人を苦るしめたにしても、あなたのその落ちついた死に方は、實に王者の死と云つてよいです」

「王者、王者、ありがたう、平津さん、私は今迄何事にも王者でなくては氣がすみませんでした。王者、ありがたう、平津さん、私あなたのやうな英雄から王者と云はれたことを最後の、最後の光榮に存じます」

と云ひ終るとあけみはガツクリと敷布の上に俯伏して二度目の血を烈しく牀に吐き出した。

Oyna to iwareta kotowo Saigo no koyei to zonji masuwa!!

滿日俳壇

夜長　島田青峰選

名古屋　伊東淡左楼

大連　高木春蔭

水道の漏る〻音や夜の長さ

長き夜のつれ／＼にさす将棋かな

披露さる〻酔ひつきたる夜長かな

れもごろに文認めぬ夜の長さ

時刻む時計の音や夜の長さ

寢せつけて素縫ひふける夜長かな

大連　寛　鳴鹿

長き夜のそばで見てゐる賃仕事

門にまつ車夫物言はぬ夜長かな

長き夜や滿蒙地圖に朱を入れる

一人讀む机に暗し夜長の灯

傳道の太鼓に街の夜長かな

大連　占部　靜閑

留守居していよ／＼長き夜なりけり

長き夜や更けて明るき空の星

小倉市　中村十太郎

長き夜を針に親しむ眼鏡かな

長き夜の明け待つ始發電車かな

長き夜を夜警の柝に寢ねにけり

普蘭店　川上　野枝

我影の一人きりなる夜長かな

移り來てまだ眠れぬ夜長かな

大連　宇都宮鳳翠

長き夜の神棚つたふ鼠かな

長き夜の芭蕉も月に靜まりて

普蘭店　邵　鶴他

長き夜を我物顔や蚊ぶくろ

大連　寺田鶴多樓

雨だれの音絶間なき夜長かな

普蘭店　佐藤　砂雉

長き夜の露けき草を踏みに出し

旅順　秀島　柳蛙

じやれか〻る猫に夜長の留守居かな

奉天　坂口　竹峰

病室の窓に月ある夜長かな

福岡縣　田中然紀夫

高原の月高うして夜長かな

新刊紹介

▲新撰電氣磁氣測定及測定器（上卷）（河喜多能一・矢幡源三共著）本書は著者が廣島高等工業學校において講義せし內容を基礎とし、專門學校、工業學校及び遞信受驗用參考書として編纂したもので第一編を電磁氣測定、第二編を測定器具として居る。說明は出來るだけ簡單にして要を得てゐる（定價二圓、東京市丸ノ內有樂館工政會出版部發行）

▲マルクスかファッショか（室伏高信著）猶太民族は第二世紀において徹底的に民族生活を破壞され、そして四方に散亂した、主として都市へ散亂し唯物主義に徹底しその現れがマルクス論である、獨逸にしてもイタリアにしてもファッショ思想の根柢はニイチエである ニイチエがショウペンハウアにつながりショウペンハウアが印度思想につながつてゐるといふ點に我々との接觸點があることに唯物的、都市的、近代的西歐思想の拒否定が含まれ、こ〻にファッショかマルクスかといふことに重大な意味があるのである、對立する世界の改造の二大思想であるのだ、そして西歐文明か東方文明かの一層に根本的な問題が含まれてゐるのである、今日世界は風雲を孕んでゐる、今廣大なる世界の地平線に何ごとか起りつ〻ある時本書を一讀すれば得るところが多いだらう（定價三十錢、發行所東京市赤坂區青山北町四丁目一〇六番地夜明け社）

けふの放送

大連　JQAK　十月九日

▲午後〇時十分ニユース

▲午後三時三十分ニユース

▲午後五時五十分一、ニユース

▲講演「制海權に就て」春日乘組員海軍少佐山澄貞次郎（以下內地中繼）

▲名曲鑑賞（六時三十分）第十四回 箏曲(一)秋風の曲、光崎檢校作曲(二)八重衣、箏八重崎檢校作曲、三絃石川勾當作曲、箏宮城道雄、同牧瀬喜代子、解說田邊尚雄

▲義太夫（七時三十分）「伽羅先代萩 政岡忠義の段」淨瑠璃竹本小土佐、三味線豊澤美佐尾

▲浮世節（八時）(一)小唄、三下り人と契るなら(二)同本調子、曇る月(三)同同いつしかに(四)大津繪 明神の御祭禮(五)狸の曲 立花家橘之助、連彈き同橘次（以下大連放送局より）

▲ハーモニカ獨奏（八時三十分）(一)ボルテジイの啞娘(二)ピユーチフルリバー(三)彼女の微笑 杉野孝

▲ニユース

▲氣象通報

孝行美談　勇敢な夫婦

西村久彌

石炭の露天掘に恐ろしい匪賊の襲つたのは十六日の午前零時すぎでした。

親孝行で楊柏堡炭坑のほめ者となつてゐる大瀧正夫（二十八歳）さん一家が大掃除の疲れでグッスリと寝込んでしまつて、あわたゞしい騒ぎ聲に目を覺ました時は數百名の匪賊がもう社宅町に近く迫つてゐました。六十五歳になるお母さんのキクさんは足が不自由だし妻のチエ子さんは、すぐ赤ン坊が生れるので大きなお腹だし、そのうへ人から預つた十七になる娘の子もとまつてゐました。もう一刻もじつとしてはゐられない、次第に銃聲が近づいてくるのです、ピストルを握つてボンヤリと佇んだ夫をみて妻のチエ子さんも悲壯な覺悟をきめました。

「お母さんと預つた娘は死んでも無事に逃がさう」

二人は血走つた眼で無言のうちに誓ひあひながら表に飛び出しました、不自由なお母さんを肩に、泣きじやくる娘を勵まして命限り逃れてゆくチエ子さんの後から夫の正夫さんは身構となつて應戰しながら守つてゐます、一歩々々迫つてくる賊の姿が中秋の満月に照らされて手にとるやうです。ところがどうでせう、お母さんを背負つたチエ子さんは路傍の深い穴に落ち込んでしまつたのです、

大瀧チエ子さん

大瀧正夫さん

もう駄目だ、正夫さんは心の中で

「大切なお母さんと妻を守つて俺は死んでやるゾ」

こう決心すると少しも恐ろしくなくなりました。

×　×

赤ン坊を抱いた母親、妹の手をひく幼い兄、泣き喚きながら雪崩をうつて逃れてゆく人達のうしろには恐ろしい槍とピストルが迫つてゐます。

「穴があるゾ…穴は落ちるな」

正夫さんは大聲で怒鳴りながら賊の前進を喰ひとめるために必死となつてながい間戰ひました。ふと「こんなことをしてゐてはお母さんや妻のことを感づかれやしないか――」と稲妻のやうな閃きが正夫さんの胸をかすめると心殘りだが思ひ切つてその場から血路を開きながら遁いたのです。

×　×

二人の落ち込んだ背丈よりも深い地獄の穴には敵味方の流れ弾がところきらはず落ちてきます、チエ子さんは夢中でお母さんのからだにのしかかつて

「お母さんを守つて下さい――」

と力一ぱい抱しめて神さまにこう祈るのでした、小一時間もたつたでせうか、激しい銃聲がピタリとやんだと思ふと慌たゞしい跫音が近づいてきました、逃げおくれた日本人を血まなこになつて捜してゐるのです、チエ子さんは太い槍の柄で引ッくり返されたり蹴られたりしましたが死んだ眞似をして賊のする儘にまかしてゐました、又賊が近づく氣配がして闇の中にギラリと光つたものは槍の穂先です、息をころして細目でみてゐたチエ子さんが

「はッー」

と思ふ瞬間左の手首に近くザクリと差し込んできました、恐ろしさの餘りわれを忘れて夢中で槍を掴んでしまひました。さあ大變だ――

驚いた賊は穴の周りできりつと身構へました、しかしなんと幸運でせう、その時又もやはげしい銃聲が起つていづこともなく賊は逃れてゆきました、そして血にそまつたチエ子さんの右手は赤い房のついた槍の穂先をしつかりと握つてゐたのです。

×　×

すつかり觀念してしまつたチエ子さんの心は不思議なほど落ちついてゐましたがどうしてお母さんを救ひ出すかで一杯でした、僅かの隙をみて穴を抜けだしたチエ子さんは自警團のところにつくと[illegible]ふれてしまひました。

×　×

氣のついた時は滿鐵病院のベットに寝かされ、右手に貫通銃創をうけてゐました。

「お母さんはどうしました――お母さんに逢はせて下さい――」

うわ言のやうに叫びつゞけたチエ子さんは幾日かたつてお母さんの死をきかされた時はどんなに悲しみ落膽したことでせう、心やさしいわが子と嫁が命を投げ出して守つてくれたけれど、年老たお母さんは穴に落ち込むときにはもう賊の槍でつかれて悲しい最期を遂げてゐました。孝行な二人の身代りになつてお母さんは死んでいつたのでせう。そして正夫さんが穴を守つて戰つたことは知らないうちに賊の襲入を喰ひとめて多くの人々の命を救つてゐたのです、孝行の徳は尊いものです、二人の孝行な決死の行ひは今撫順で評判となつてゐます。

連載漫畫 ボンヤリ　セイ坊

第十五回　こどもの考へもの

この電車はどちらへゆくのか

ポイントの手前で電車がとまりました、サアこの電車はこれからどちらのレールを通つてゆくのでせう？わかつた方はハガキで來る十六日までに大連市東公園町滿洲日報社「滿日日曜附録係」あてお答へ下さい、いつもの様に二十名にご褒美をあげます

第十三回の答　足が反對

いつもながら皆さんはなかなか考へ上手ですね、第十三回の考へものは足と身體が反對についてゐました、今度は籤を引いた結果左の人々へご褒美を差あげます、大連市内の方にはハガキを出しますからそれをもつて本社まで取りにおいで下さい

×　×

なほご褒美の中にある森永のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱は必ずお菓子屋さんにある支那事變の「慰問兵士を勞はりませう」と書いた箱にお入れ下さい

當籤者

▲撫順市伊知地町川谷繁夫▲奉天彌生町有福正人▲撫順山城町吉野芳子▲蘇家屯芝田助則▲營口店河本千晴▲長春吉野町井手賢一▲營口北本街三辻慈江▲奉天彌生町清水正▲奉天滿鐵醫院内鴨川龍藏▲大連市土佐町岡本キヨ子▲大連市日出町小林ムツ子▲大連市東公園町平野丈夫▲大連市逢坂町江口てい▲大連市櫻花臺島崎道夫▲大連市柳町奥野尚子▲大連市伏見町片山喬子▲大連市伏見町大木ミツ子▲大連市西公園町中原節子▲大連市連鎖街長首敏治▲大連市聖徳街中村彰一

ケフノツグワ

ケフハ ミナサン、キレイナ キモノヲ キタ ゴムノ オニンギヨウサン ヲ クレイヨン デ ヌツテ クダサイ ソシテ オメメ ヤ オクチ ヤ オハナ ヲ ツケテ クダサイ

字の讀めぬ大人　アメリカに三百八十萬人

今年の四月の調べによりますと、アメリカの人口のうち、十歳以上のものは九千八百七十二萬三千三十五人ですが、このうち、すこしも字をよむことが出來ない人が四百二十八萬三千五十三人もゐるさうです、しかも、この文字をよむことの出來ない人のうち二十歳以下のものはたつた四十二萬五百三十八人で、あと三百八十六萬二千二百十五人はりつぱな大人ばかりです、アメリカは文明國だといつてゐばつてゐますが、また字の讀めない人がこんなにゐるのです、それに、この字のよめない人はほとんど本當のアメリカ人で、外國から行つてゐる人やあいのこは非常に學問があつて、字のよめぬ人は大へん少いそうです

手工　簡單に出來て　きれいなカミの袋

けふは圖の様な可愛くて綺麗な袋を畫用紙で拵へませう、先づ幅四十八糎、高さ二十四糎の畫用紙を用意します、そして圖のやうに寸法をとつて鋏で切ります、點線のところは皆中の方に折り曲げます、そして底の折り曲げた一糎のところにノリをつけて左側の方を中央に折りこのノリのついた底の部に貼りつけます、それから右側も同じ様にして中央に折りノリで綺麗に貼ります、次に袋ひになる上部を圖の様に折ります、そして最後に皆さんの好きな繪をクレイヨンで上手に書いて下さい、それで袋ができ上りました。

私達が暮すのに大切な鐵の話

世界中でも名高い鞍山にある製鐵所の紙上見學

日曜附録のために「鞍山の製鐵所を見てきなさい」といふ命令をうけて記者は或る日の夜急行列車に乗り込みました、この頃の夜汽車は大へんすいてゐて話相手の人もないのでたゞぼんやりと「鐵」のことについて考へてみました、私の乗つてゐる汽車は鐵でつくつた機関車にひかれて鐵のレールの上を走つてゐる、クッションのバネも鐵なら客車だつて殆ど鐵で出來てゐる――こう考へてゆきますと瓦も瓦もさうだし皆さんの住むお家だつて鐵筋コンクリートでなければ釘が澤山打つてある、電車、馬車、人力車、はさみ、庖丁何一つ鐵を使はないものはない、ご本だつて鐵の網でさぢてあるし、下駄の裏にも金具がついてゐるでせう、さうなると鐵をつかはないものを思ひ出すのはなかなかむつかしいことです、たとへ木ばかりで石ばかりで出來たものがあつたとしてもそれをこしらへるまでには、カンナにかけたり、ノミでたたいたりみんな鐵のお世話になつてゐるではありませんか、ズッと大昔、石器時代といつて鐵のあることを知らなかつたころには石の斧や石の刀でずゐ分不自由な生活をしてゐました、今日の世界から鐵をとつてご覧なさい、さうすると文化も文明もみんなこの「鐵」のためだといふことがハッキリわかります

大連から北に凡そ七時間(三〇〇キロ)汽車にゆられて鞍山驛につきました、怪物のやうに大きな熔鑛爐がドッシリと停車場の西側にま近く聳えてゐます、この附近の山から出る鑛石は貧鑛といつてせいぜい鐵を四〇パーセントくらゐしかもつてゐないので、いろいろ苦心に苦心を重ねて研究したすゑ、こゝにしかない還元焙燒法といふ方法で鐵をつくることになつて世界の人々をアッと言はせました鞍山製鐵所は今から二十五年前日本人が鑛區を發見して大正五年に日支合辦事業として初めて出來たもので、まだ漸く二十年にしかなりませんが大正十一年この還元焙燒法となつてからは七億噸からの鞍山貧鑛が一ぺんに立派な富鑛になつたも同様で原鑛の八割までも外國から買はなければならない鐵の少い日本にとつて非常な力頼みとなりました、そればかりでなくこの大規模な製鐵事業が一から十まで日本人の力で出來あがつて死藏されてゐた寶を世に出してゐることは世界にほこるべき大きなてがらであります

さて皆さんはピアノをひいてボーンと音のする金の糸を知つてゐるでせう、このピアノ・ワイヤが殆ど純粹の鐵に近いもので、普通一般に鐵といふものにはいろいろな混りものがあります、大きくわけて可鍛鐵(鋼鐵)と銑鐵となります、庖丁や鉈などの硬い鋼鐵には炭素が多くて鋼、鉈などの銑鐵には少いのです、これからこの二つの鐵はどうして製造されるかをお話してみませう

山から掘出した鑛石をお餅のやうに小さく碎いて還元焙燒爐でマッ赤に焼くと磁鐵鑛になりますこれをボール・ミルといふ機械にかけて碎いたのち電氣磁力選鑛機といふのにかけると磁鐵鑛が集まります、これに石炭などの燃料を混ぜて一しよに燃やすと恰度よく固まつて六〇パーセント位の立派な富鑛が出來あがるのです、こんな面倒なしなくても鐵を半分以上も含んでゐる外國の富鑛は鑛石そのまゝ熔鑛爐に入れると、早速鐵が出來るわけですが、鞍山で前にお話した様な仕事をするのは結局鑛石が悪いからです

さあこれから熔鑛爐です、鞍山には三百キロトン、三百五十キロトン、五百キロトン(一晝夜に鐵の出來る能力)と三つの熔鑛爐があつて年に四十萬トンの銑鐵が造られてゐます、燃料はすべてコークスでこれに強い風を送つて攝氏千二百度の高熱にすると爐の底に銑鐵が溜ります、一トンの鐵をとるのに一トンのコークスがいりますので石炭の豊富な撫順をお隣りに控へた鞍山の製鐵所は大變よいわけです、どこに造らうかと永い間迷つてゐた昭和製鋼所もいよいよ鞍山にきまりさうですが、これが出來れば東洋一の鐵の都となるでせう、熔鑛爐から出てきた銑鐵は三尺餘りの太い樑型に鑄込んで鑄物やさんに買はれて行きます

内地には有名な八幡製鐵所を初め釜石、輪西、淺野、東洋などの製鐵所がありますが原料鑛石は殆ど南支那と南洋から來ますから自分のところで鐵鑛がとれて自分のところで鐵が出來るのは鞍山ばかりです、日本で一年中に使ふ鐵は百六十萬トンですが、日本では鞍山から三十四萬トン、八幡から六十四萬トン、その他から四十萬トン出來るだけで、あとの不足二十萬トンは外國から買つてゐるのです

寫眞の説明

(1)ダイナマイトで岩をわる物すごい發破作業
(2)鞍山自慢の還元焙燒爐――手前にうづ高くつまれてゐるのは山から掘出した鑛石
(3)見るからに大仕掛けな第一第二熔鑛爐、これはいづれも一日に三百五十キロトンの銑鐵をつくります
(4)出銑作業――(3)の寫眞の熔鑛爐の下から出てくるまつ赤にとけた銑鐵を鑄型に流し込む仕事です
(5)山と積まれた銑鐵
(6)骸炭工場――熔鑛爐の燃料コークスをつくるところ、一日に千キロトンをつくる
(7)ドロドロに焼けた銑鐵を幾トンも入れて運ぶ大きなバケツ

「滿蒙建國の黎明」は三上於菟吉、直木三十五兩氏の原作により溝口監督のメガホン、中山技師のキヤメラの下に新興キネマ中野英治プロ、入江たか子プロが合同して撮影に當り、百六十日の日數を費して滿洲、支那、日本の三ケ國にわたる大ロケーションを行ひ、滿洲人二千餘、蒙古人一千餘のエキストラを使用して完成された映畫史上に特筆さるべき巨篇である、なほ滿洲ロケーションに際しては關東軍若干部隊を始め、鄭安遊擊隊一個中隊二百五十騎、同歩兵二個小隊約二百名及び溫都爾王府顧問薄守次氏の手兵二百名が應援出演をした程であるが、この映畫の主なる配役左の如し

……キヤスト……

彩鳳姫　入江たか子
伊東眞兒　中野英治
大村憲太郎　松本泰輔
黃良憲　瀬良章太郎
小笠原博讓　高島登
李石常　櫛田敬治
チヤーリー張　菅井一郎
秋華　桂珠子
春芳　山縣直代

梗概

大清國の光緒十三年、突如捲き起つた革命の嵐に、幼帝豐宗氏は遜位を強請され、愛親覺羅努爾哈赤以來十二代連綿として絶えざりし大清朝も全く崩壞し、豐宗氏の妹彩鳳姫は、日本の志士小笠原博讓に伴はれて日本に亡命した、その後彩鳳姫は彩子と名づけられ、信州の高原に成人したが、彼女の脇には小笠原の人格に傾倒してゐる東大法科生伊東眞兒と豪快な少壯士官大村憲太郎の二人が附添つてゐた、大學を出た眞兒は上海の亞細亞局通信課長として赴任することになつたが出發に先だち彩子、大村と共に將來固く手を握り合ふべく誓つた

……☆……

時恰も滿洲にあつて虎視眈々清朝復興の機を覗つてゐた蒙古青年黨は雌伏十年、こゝに機熟し、彩鳳姫を推戴すべく使者李石常を日本に送つた、これに對して小笠原は事を平和裡に解決するこそ日本の欲するところだと諭つたが、兄への思慕と東洋の樂土建設の願望に惱んだ彩鳳姫は終に李石常に伴はれて上海に渡つた、そして國際都市上海の社交界に華と謳はれるやうになつた、彼女は第一回目の仕事として奉天派の頭目龍光淵元帥の暗殺を圖つたが、南方政府の間諜チヤーリー張によつて妨げられ、男裝して日本に逃れ、再度機を狙つて滿洲に向ふことゝなつた、その間建國の大望のためには死をも怖れぬ姫ではあつたが、唯一の胸の底を離れぬものは、幼馴染の伊東眞兒の面影であつた、姫は滿洲到着後も屢々チヤーリー張のために狙はれたが、偶然にも奉天軍々政顧問となつてゐた大村にその都度救ひ出された

……☆……

その頃上海にゐた眞兒は姫が奉天で何事か計畫してゐる事を知り急遽北上した、二人は奉天で再び固く手を握り合つた、二人は一度逢つて互に力強き何物かを感じ、二度逢つて互の心を知り、三度逢つて強い愛を感じてゐた、互に愛を誓つた直後、姫は大望の前には誓ひを葬られねばならなかつた、同志たる青年黨のために紅隊の武力と財產を得る犧牲となつて蒙古王族黃良憲と結婚しなければならなかつた、これを知つた眞兒は怒つて、蒙古に入り、鐵木眞將軍と名乗り滿洲鐵軍と稱する馬賊の頭目となつて蒙古一帶を怪鷲の如く荒し廻つた。

……☆……

恰度姫の結婚の行列は奉天を發して滿洲鐵軍の勢力範圍の地域を通り黃良憲のゐる巴林王府へと向つて行つた、一行には青年黨の李石常と、チヤーリー張の手先が姫の侍女として秋華と名乘つて加つてをり、出發以來絶えず暗鬪が行はれたが、終に李は張のために倒され姫の行列は奉天軍のために危く全滅せんとした、その時突然大軍を率ゐて姫を救ひ出したものは外ならぬ鐵木眞將軍――伊東眞兒であつた、彼は姫を憎みつゝも危急を知つては救はずに居られなかつたのだ、彼は奉天軍を蹴散らすと共に張と秋華を倒して又姿を消した姫は黃良憲の王府に無事に到着することが出來たが、彼は奉天派の意向を怖れて姫を迎へた怒りに人質として麻春芳を奉天に送つた姫は黃の意氣地なさに好感を持てなかつた

……☆……

時に九月十八日の深夜、奉天軍の柳條溝滿鐵道爆破を導火線として滿洲事變の火蓋は切られた、日本軍は破竹の勢ひで奉天軍を擊破して行く……大村の通知でこの事變を知つた眞兒は武裝滿洲鐵軍を率ゐて巴林に姿を現はした「蒙古王族よ起て、今や全滿蒙は唸りを立て、動いてゐる！」この強い叫びを聞いた姫は直に狼火に點火した、全蒙古軍は一齊に狼火をあげて應へ、奉天軍の背後を衝くべく行動を開始した、そして今までの醜者黃良憲も自ら一兵卒として滿蒙の自由の爲に同志の後を追つた、其熱誠を知つて眞兒は黃に全軍の指揮を委れた、姫は眞兒に從らんとしたが、眞兒は滿蒙の元首となるべき人は豐宗氏だと諭り、大村の護衛の下に姫を飛行機で天津へ……

……全滿蒙の唸りは益々大きく強くなつて來た、かくて輝かしく歷史の一頁を彩る滿蒙建國の黎明は着々と進んで行つた。

寫眞說明

(1)入江たか子の彩鳳姫
(2)中野英治の伊東眞兒と桂珠子の秋華
(3)中野英治の伊東眞兒と入江たか子の彩鳳姫
(4)入江たか子の彩鳳姫と瀬良章太郎の黃良憲
(5)中野英治の伊東眞兒(上)、入江たか子の彩鳳姫(中)と桂珠子の秋華(下)
(6)山縣直代の春芳(右)桂珠子の秋華(中)菅井一郎のチヤーリー張(左)
(7)中野英治の伊東眞兒と入江たか子の彩鳳姫

三人の浪人者

魚見崎一尾

……二三日、目立つて秋冷が感じられる。今しも、芝明神の大鳥井をくゞつたのは、三十を大分過ぎた堂々たる骨格ではあるが、見る影もなく、所謂尾羽打ち枯らした一人の浪人者である。

「加藤家二十四將の隨一」を父に持つた加藤覲之助も、かうその日の食にも窮するやうでは話せない。これと云ふのも狸親父家康奴が……いや、そんなことよりも、なんとかこの空腹の始末から先につけたいものだわい」

加藤覲之助はかう呟きながら、ぎよろ／＼あたりを睨め廻した「おや、いゝ匂がすると思つたら、おでんだな。あれは大阪では關東煮とか云つたつけ」

彼の足は自然に、そのおでんの屋臺見世の方に近寄つて行つた。

そこでは、町方の子供が大勢集つて……こんにやく……だとか豆腐だとかをうまさうに喰べてゐるのだつた。

よく見ると「一串一文」と書いてある。覲之助は今更の如く袂を探つたが、もとより、出て來たものは……たゞもくさばかりだつた。

「御同役、あれを御覽じられよ。何處の素浪人かは存ぜぬが、もの欲しさうな顔をしてゐるでは御座らぬかな」

「左樣々々、飼主に見放された奴は、世にも哀れなもので御座るのう」

覲之助が何氣なく傍らを見ると、立派な身なりの旗本らしい武士が二人、自分に嘲笑をあびせかけてゐたので、

「己ッ！」

と、怒りは心頭に發した「……何をぬかしやがるんだ。拙者の樣子が可笑しかつたら、四の五の云はないで、一躍ばかり抜いて行きやがれ」

そして、魚の腹部のやうに閃く大刀を、頭上高く振り上げた。

太刀筋はなか／＼天晴れなものである。

「こいつは不可ない、強さうだぞ」

「御同役、どうしやう？」

「もし萬ケ一にも我々の身體に、間違ひでもあつたとしたら……」

「それ、節ち、主に對して不忠——」

「いつそこの場は……」

「三十六計に決めやうではないか」

驚いた二人の旗本は、尤もらしい理窟をつけると、年長の方が懐中から、一兩と幾らかの小錢まで取出した。

「よろしいか」

「心得てござる」

二人は氣合をあはせると、くるりと後を振り向いて、たたたた……と逃げ出したのである。

「アハハハ……」

あたりに散らばつたその金錢を覲之助は拾ひながら哄笑した「馬鹿な奴ぢや。だが、これで空腹も塞げると云ふもの。……さうぢや久方ぶりに大宗根のとこへでも行つてやれ」

さて、彼氏の口の端に登つた大宗根峰次郎と云ふ浪人は、やはりこれと同じ日の同じ時刻に、家財と云つては何一つない座敷の中央で、目玉を剥いて坐つてゐた。たつた今、執念く請求に來た米屋の小僧を、たゞでさへ大きなその兩眼を、くわツと見開いて、睨み歸したところなのである。

「これ、お絹。もう出てもいいぞ！」

彼は押入に向つて聲をかけた。中から恐る／＼這ひ出して來たのは妻のお絹である。

と、再び玄關に當つて人の氣配がした。

「あれ？」

お絹は無意識的にまたも身を縮めた。

「シッ、シッ、靜かに——」

周章て手で制した峰次郎は、しぶ／＼座を立つたのであるが、暫くすると惠比須顔で引返して來て

「女房、喜べ、金策が出來たぞ！然も大枚十兩ぢや！」

と、叫んだ。

「まア、何でございますつて？」

思はず女房も膝を寄せて來た。

良人の手には十枚の小判が、ずらりと奉書の上に並んで、内氣相に微笑してゐた。それは峰次郎の兄で、下谷に住む醫師了庵が、寄越したものなのである。尤も無心を云ふことは云つたのであるが、度々のことではあるし、全然當てにしてゐなかつたのに、もうこれきりだぞ、と斷つて、わざ／＼下男に屆けさせて呉れたのだつた。

「さア、お祝ひぢや。酒肴の用意をして呉れ。拙者は加藤と日向に招待狀を書くとしよう」

峰次郎は愉快さうに體をゆすぶつた——……だけどお絹、今日は小判を一枚も壊さないで欲しいのう。拙者にチト思惑がある程に」

「ハイ」

と、答へた彼女は、いそ／＼と臺所にもぐり込んだ。

「大屋根居るか」

「峰次郎は在宅か」

この時、かう云ひながら這入つて來たのは、覲之助といま一人の武士である。彼もお多聞にもれない浪人者と見えて、素袷一枚に大刀をぶち込んでゐた。羽織を着てゐないどころか、下駄は鼻緒までチビてゐた。何處で覲之助と出逢つたのか知らないが、やはり峰次郎が招待狀を發しようとしたうちの一人——日向孫太郎なのである。

「よう、これはよくこそ——」

料紙や硯が不要になつた主人は心から滿足さうな聲を出した。

そこで、この常日頃仲のいゝ三人の浪人者は、狹い一間に大胡坐をかくと、お絹の心盡しの御馳走に、盃の華を亂し初めたのである。一渡り酒が廻つたと見て取ると峰次郎は十枚の小判をずらりと膳に並べて。

「各各方、御覽下され、拙者の兄はなか／＼名醫で御座らうがな？」

と、云ひながら、それを二人に披露したのだつた。添書には「金缺病に特效あり、但し亂用すべからず」と、ものゝ見事に書いてある。云はずと知れた醫師了庵の筆である。

「アハハハ、成程」

覲之助は哄笑した。

「よき御令兄を持たれてお仕合せ……」

孫太郎も苦笑した。

やがて、夜になつたのに氣が付くと、一座の者は主人の音頭で、千秋樂を唄ひながら、銚子、皿、盃、辛鹽などを、順々に手繰りにして、引き下げはじめたのである。

「小判も一先づお控へ下され」

と、云ふ覲之助の言葉に、峰次郎はそれを掻き集めて、例の達筆をふるつた奉書に包まうとしたが

「おや、九枚しかない！」

と、思はず叫んだ。

恐縮なのは座にゐた二人である。立つて見たり、坐つて見たりしたが、見えなくなつた小判は、どこからも出て來ないのだつた。

「いや、小判十枚と申せしは拙者の誤り、さる方へ支拂ひ致し九枚なりしを失念致し……」

捨てても置けないので峰次郎は、かう事もなげに云つて見たが、一座の空氣は少しも輕くならなかつた。

「浮世とは申せ、拙者は今夜この場にて、身を果てやうとは思ひもかけず……なれど拙者、幸に小判一枚所持仕る」

不意にかう大聲を出したのは孫太郎である「……いや／＼、金子の出所は怪しうは御座らぬ。拙者の所持致す德乘の小柄を、一兩二歩にて研屋に賣り申した。なれど折が惡う御座つたわ。云ひ解く術の無きこそ無念……」

そして、そろ／＼前をくつろげ初めたのである。

「浪人なりと云へど、小判一枚所持致すまじきものでも御座らぬ。先づお待ち下され」

孫太郎の右手を押へた峰次郎は、あきれ顔らしく云ひ續けた「……現に拙者ですら十枚、いや、九枚を所持してる位では御座らぬか」

「かたじけなし……なれど、ちよつと一枚所持致す事こそ因果…」

につこり笑つた孫太郎は、輕く右の手を拂ひ除けると、靜かに小刀を抜き放つた。

先程から覲之助は、この場の有樣に、他人事ならず氣をもんでゐたが、焦つたい程いい考へが浮んで來なかつた。もと／＼紛失した小判一枚、孫太郎の懷中から出た小判一枚、それが解決されない以上、どうしたつて治まり樣はないんだけど——。

孫太郎は今や正に腹を切らんとした。とたん！覲之助の心に浮んだのは、芝明神の境内に於て、旗本武士からせしめた小判である。

「おや、小判が御座つた！小判一枚！」

覲之助は突立ち上ると、その小判を右手に振りかざして、いきなり叫んだ。いや、叫ばざるを得なかつた。

間一髪、孫太郎は危い所で生命拾ひをしたわけであるが、主人の峰次郎もほつとして、さつそく覲之助から小判を受ると、大急ぎでそれを片づけてしまつた。

「あの、小判が、お重箱のなかに……」

この時、近所に買物に行つてゐたお絹が、かう云ひながら顔を出した。

「やつ、何と申す？」

峰次郎は事の意外に驚いて、思はず啞然として了つたのだつた。

——以上は、慶安三年の秋、即ち由比正雪一味の謀叛が露見するより、ほんの少し前の江戸世相を片影的に示したものである。

朝　晝　晩

	朝	晝	晩
日	味噌汁（豆腐、ねぎ）　菠薐草花かつをかけ	トーストパン　林檎　紅茶	サハラのすきやき（サハラ、春菊、松茸、葱）　干茄餅　奈良漬
月	味噌汁（小松菜）　昆布佃煮　たくあん	鹽鮭　大根の一夜漬	御清汁（松茸豆腐）　鰆照燒
火	味ィ汁（蜆）　煮豆	野菜の煮附け（里芋、牛蒡、人參、がんもどき）　たくあん	ほうぼう、もやし、煮附け　白和へ（枝豆、コンニヤク、大根、人參豆腐）
水	味噌汁（大根、油揚げ）　おこし玉子　胡瓜のぬかづけ	秋刀魚の鹽燒　粉ふき芋	すき燒鍋（牛肉、麩、支那素麵、玉葱、もやし、春菊）　林檎の黄味酢和へ
木	味噌汁（さつまいも）　鯛のでんぶ　白菜柚子漬け	いり卵の花（うの花、油揚、もやし、麻の實、人參）	御清汁（ほうぼう、豆腐、春菊、だいく酢）　野菜のかき揚げ（さつまいも、人參、春菊、松茸）
金	味噌汁（小松菜）　海苔の佃煮	味淋ぼし　白菜の柚子漬け	鰊牛蒡、鳥の清汁　燒松茸の柚子酢
土	味噌汁（里芋）　らつきよう　たくあん	いとこ煮（小豆、里芋）　南瓜漬物	魚團子の揚物　御清汁（ハンペン、菠薐草）

うづら照燒

うづらを下拵へして二十分位むし、鍋に醬油二、味淋一の割合にした汁の中にむした汁を加へ、先のうづらをその汁の中で充分煮て炭火で一寸あぶり前の煮汁をてりにして一、二回つけてはやく。

鰆のすきやき

すきやき汁で葱を煮やわらかになつた處に鰆を入れて煮た後松茸春菊を入れ尚すきやき汁を加へて煮る、すきやき汁は昆布汁一、醬油二、味淋は醬油の四分の一。

千炸茄餅

（なすはさみあげ）茄子を皮をむいて縦二つ割としそれに更に一度縦に庖丁を入れ水につけてあくぬきにする豚肉のひいたのに葱のきざんだのとせうゆ少々をまぜそれを茄子の間にはさんで衣をつけてラードを溶かした中でからりとあげる、衣は粉子少々とメリケン粉、玉子、鹽少々加へてかきまぜて普通のてんぷらの衣のやうにしておく。

魚團子の揚物

魚のすりみに玉子の白味を割り込み粉子と鹽少々入れてかきまぜ團子にまるめてラードで揚げ、別に醬油、酢、砂糖、だし（甘酢位にして）をまぜて煮立てた中に粉子を少々加へてドロリとした處に前の團子を入れてまぜる。粉子は水溶きにする、ないときは片栗粉でよろしい。

白菜の柚子漬

白菜と柚子をまぜ鹽をふつて樽つぼ等に輕くおしをしてつけて二、三日後に食する（大連神明高等女學校五年生）

なんせんするーむ

忠實な下僕

「花子さん、今夜は僕、あなたにお暇乞ひに伺つたのです。實は僕、今夜突然歸鄕を決定したものですから」

「さう、それぢやお體に氣をつけてね」

「あ、有難う。そしてですね。僕はたとへあなたの愛を得ることが出來なかつたとしてもですね。常に常にあなたの忠實なしもべとして、何なりとあなたのお役に立ちたいと思つてゐます。どうぞ、必要な場合には、おつしやつて下さい。それでは、お名殘惜いですけれど、これでお別れします。さやうなら」

「ま、ちよつと待つて下さい」

呼び止められた彼氏、微妙な希望の色を浮べて立停つた。

「何なりと私のためにして下さるといふお言葉に甘へて、濟みませんが、戸外へ出たらこの手紙をポストへ入れて下さいませな」

拳闘家の安眠法

近頃日本でもひどく拳闘が盛んになつて皆さんも御存知でせうが、打倒されて一から十まで數へる間に起上れないと、これがノックアウトで、完全なる敗北です。

さて、ある拳闘選手が醫師を訪れて

「この頃どうも僕は不眠症に罹つたやうでなか／＼寢つけないのですが……」

「ははア、それはいかんですな。それなら藥よりも寧ろ自己暗示をおすゝめしたいです。不眠症といへば神經的なものですからな」

「で、自己暗示と云ひますと？」

「先づ仰向けに寢て手足を伸ばすです。それから一から十までをゆつくり數へるのですな」

さてはこの醫師、この拳闘選手がしば／＼ノックアウトされるのを知つてゐると見えるです。

消えぬ蠟燭

ある山奥から都會見物に來た親子があつた夜になつたので宿屋へ着くと、室へ案内した女中が電氣のスキッチをひねつた。ぱつと電燈がついた。電氣といふものを使用したことのない親子は吃驚して顔を見合せた。

「おい見たか見たか。點いたはいいが消すには容易ぢやあんめえ」

「なアに父さん、心配する事はねえさ」

と息子は頼もしげにいつた「俺は村一番の消防夫で、メダルまで貰つた事があるんだ。俺に委せておきねえ」

やがて寢床に這入ることになつたので、息子は一生懸命電燈を吹き消すために息を吹きかけた「おつそろしい蠟燭もあつたもんだ夜ぢうこんなに點いてゐたんぢや火事が起るにきまつてらア」

そこで息子は部屋にあつた土瓶を持出し、口に一杯水を含むと、夜もすがら電燈に霧をふきかけてまんじりともしなかつた。

1年前

十月九日 南支方面の排日惡化したゝめ待機中の佐世保所屬艦常磐は森少佐指揮の特別陸戰隊四百名を乘せ午前二時出動命令を受け上海に急航す

十月十日 雙十節を期して上海抗日救國會はわが同胞を襲ひ十數名を負傷せしめたが、急報によつて陸戰隊は裝甲車で急行し、暴民を四散せしめた▲吉林各縣長は張學良、張作相の打倒を協議し、若し彼等が歸來するが如き場合には自衞手段を執ると決議す

同十一日 午前十一時四十分大連伏見臺に新築中の羽衣女學校々舍崩壞し、三十數名が生埋めとなり、壓死しさながら生地獄を現出す▲錦州事件に關し我が陸軍當局は全く自衞上の應戰にして國際法上適法なりと聲明並に說明を發す

同十二日 天津駐屯軍竹内憲兵軍曹は中央停車場附近にて王樹棠の衞兵三十名のために包圍され、大暴行を受け、全治二週間を要する重傷を負つた、右に對し我が駐屯軍川本參謀は決死の覺悟を以て陳書場を携へて王樹棠と會見し嚴重抗議したところ、案外にも王は直に非違を陳謝し、圓滿解決を願ひ出でた▲蔣介石は國民政府記念週に於て若し日本と戰へば充分に勝算ありと演說す

同十三日 支那一帶の排日熱惡化以來英軍港は頗る緊張してゐたが俄然第三艦隊に待機命令下り俄に慌たゞしさを增した

同十四日 午後三時頃大連市内惠比須町土木課官舍に於て姙娠七ケ月の佐藤いそ（二三）が殺害さる、犯人逮捕されず▲聯盟理事會はいよ／＼ジュネーヴに於て開催されたが、十二ケ國代表出席し、佛代表議長となる日支兩國代表の大論戰は開始された

同十五日 黒龍江軍は平和裡に政權を張海鵬氏に讓り渡すこととなり、張海鵬軍は戰はずしてチチハルに入城す▲東北各省の連繫成つて宣統帝溥儀氏擁立の噂立つ

今週の歴史

十月九日…… 義貞北國を經略す（延元元年）

同　十日…… 日本銀行創立開業（明治十五年）　始めて東京に中學校を設く（明治三年）

同十一日…… 沙河の會戰（明治二十七年）　アントワープ陷落（大正三年）　全國の勞働事業調査を行ふ（大正十五年）

同十二日…… 俳人芭蕉歿す（元祿七年）　國會開設の詔勅降る（明治十四年）

同十三日…… 明治天皇東京遷都（明治元年）　戊申詔書降る（明治四十一年）　上海副領事清水亨氏自殺す（昭和五年）

同十四日…… 後白河法皇義仲に平家を討たしむ（壽永二年）　聖上東京物理學校へ五千圓を御下賜遊ばさる（昭和五年）

同十五日…… 南洲、月照と海に投ず（安政五年）　神根川堤防竣工式工費六千三百四十萬圓（昭和五年）